NTT docomo

SO-01B

取扱説明書

’10.10

ドコモ

W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式

このたびは、「SO-01B」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書およびその他のオプション機器に添付の取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「ドコモ・スマートフォン・ケア」までお問い合わせください。

SO-01Bはお客様の有能なパートナーです。大切にお取り扱いのうえ、末永くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DOCOMO and DOCOMO's roaming area.
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本FOMA端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様のFOMA端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報やFOMA端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用されるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認のうえご利用ください。

本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
・「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
　http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

本書は次のような方法で、知りたい機能や検索方法を探すことができます。

索引から　P.261

機能の名称や、調べたい項目のキーワード、サービス名で探します。

インデックスから　P.1

P.1 右端のインデックスを使って、本書をめくりながら探します。

P.3 で詳しく説明しています。

目次から　P.4

目的ごとに分類された目次から探します。

アプリケーション一覧から P.40

アプリケーションボタン（▦）をタップして表示されるアプリケーション一覧から探します。

❖注意

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

❖お知らせ

- この『SO-01B取扱説明書』の本文中においては、「SO-01B」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

操作説明文について

本書では、各キーの操作を◎、[メニュー]、[ホーム]、[戻る]、[◁ ▷]、[カメラ]を使って説明しています。
また、タッチパネルで表示されるアイコンや項目の選択操作を次のように表記して説明しています。

表　記	操作内容
ホーム画面で[メニュー]を押し、[設定]をタップする	ホーム画面で[メニュー]（メニュー）キーを押して、画面に表示されている「設定」をタップする
[設定] ▶ [日付と時刻] ▶ [日付設定] をタップする	画面に表示されている「設定」をタップして、次に表示された画面で「日付と時刻」を、さらに表示された画面で「日付設定」を順にタップする
＋または－をタップして日付を合わせる	画面に表示されている＋または－をタップして日付を合わせる
フォルダのタイトルバーを長くタッチする	フォルダのタイトルバーの部分を長めに（1～2秒間）タッチした（触れた）ままにする

この取扱説明書の操作説明は、初期設定のホーム画面からの操作で説明しています。別のアプリケーションなどをホーム画面として設定している場合は、操作手順が説明と異なることがあります。
本書で掲載している画面はイメージであるため、実際の画面と異なる場合があります。

「ソフトウェアキーボードの文字入力」の記載ページを探すときを例として説明します。

- 「P.1　インデックス」→「文字入力」→「ソフトウェアキーボードの文字入力」の順に設定したい機能の説明ページを探します。
  章扉には詳しい目次も掲載されています。

※ 本文中のページとは内容が異なります。

目次

SO-01Bの主な機能

4インチディスプレイ　→P.29

- 大きなディスプレイを利用したタッチスクリーンで、見やすく、ダイナミックな表示と操作が可能になりました。

セキュリティ　→P.76

- 一定時間何も操作をしない状態が続くとき、他の人が使用できないように画面をロックすることができます（画面ロック）。

メール　→P.80、P.82

- ドコモのFOMA端末とメッセージ（SMS）のやり取りができます。
- ｉモード端末やパソコンなどとEメールのやり取りができます。

Facebook、Twitter、mixi　→P.90

- ネットワークサービスの強みを活用して、最新の情報をリアルタイムで取得することもできます。
- Timescapeや電話帳と連動させて、さらに多彩なコミュニケーションを実現します。

ウェブブラウザ　→P.98

- パソコン向けのインターネットホームページを見ることができます。

ワイヤレス通信　→P.102、P.160

- Wi-Fi機能を使ってネットワークに接続し、データを送受信できます。Bluetooth機能で音楽を聴くこともできます。

Timescape　→P.110

- すべての履歴を時系列で表示し、多彩なコミュニケーションを実現できます。
- 電話帳に登録した人の情報（電話番号、Eメールアドレス、オンラインサービスアカウント、写真など）を簡単な操作で検索できます。

音楽や動画の再生　→P.118

- Mediascapeを利用して簡単な操作で、音楽、静止画、動画の再生ができます。
- パソコンに保存したライブラリをコピーすることもできます。

カメラ機能　→P.142

- 顔検出、スマイル検出機能で取得した情報をTimescapeや電話帳と連動させることができます。

データの同期と転送　→P.156

- Google Syncを利用して、FOMA端末とネットワークサービスとの間でデータを同期させたり、転送したりすることができます。

ドコモマーケット　→P.170

- ドコモマーケットにアクセスして、FOMA端末で利用できるアプリケーションをダウンロードできます。

GPS　→P.188

- GPS機能とGoogleマップを利用して、現在地情報を入手できます。

文字入力機能　→P.204

- PO Box TouchによりQWERTYソフトウェアキーボードでの日本語入力が利用しやすくなりました。
- 予測変換もさらに効率よく日本語入力をサポートします。

国際ローミング　→P.224

- 日本国内でお使いのFOMA端末や電話番号が海外でもそのまま使えます（GSM・3Gエリアに対応）。音声電話、メッセージ（SMS）を利用できます。

豊富なネットワークサービス

- 留守番電話サービス（有料）※
- キャッチホン（有料）※
- 転送でんわサービス（無料）※
- 迷惑電話ストップサービス（無料）

※ お申し込みが必要です。

高速通信対応

- FOMAハイスピードエリア対応で、最大受信速度7.2Mbps、最大送信速度2.0Mbpsでデータの送受信を行います。
  - 最大7.2Mbps・最大2.0Mbpsとは、規格上の最大値であり、実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や通信環境により異なります。
    FOMAハイスピードエリア外やHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するときは、通信速度が遅くなる場合があります。
  - 本FOMA端末をパソコンなどに接続して行うデータ通信はできません。

SO-01Bのご利用にあたっての注意事項

- 本FOMA端末は、ｉモードのサイト（番組）への接続やｉアプリなどには対応しておりません。
- 本FOMA端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、動画の視聴などを行うと、大量のパケット通信が発生します。このため、「パケ・ホーダイ ダブル／パケ・ホーダイ シンプル」などのパケット定額サービスのご利用を強くおすすめします（なお、「パケ・ホーダイ ダブル／パケ・ホーダイ シンプル」ご契約の場合、短期間で上限額に達します）。
- 公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- 本FOMA端末では、マナーモードに設定中でも、着信音、操作音、各種通知音以外の音声（動画再生、音楽の再生、アラームなど）は消音されません。
- 画面ロック中、画面にオペレーター名が表示されます。
- お客様の電話番号（自局番号）は以下の手順で確認できます。
  ホーム画面で[田]を押し、［設定］▶［端末情報］▶［端末の状態］をタップする。
- ご利用のFOMA端末のソフトウェアバージョンは以下の手順で確認できます。
  ホーム画面で[田]を押し、［設定］▶［端末情報］をタップする。
- パソコンからインターネットを経由してアップデートファイルを取得し、パソコンとFOMA端末とを接続することでソフトウェアを更新することができます。詳細は、「パソコンに接続して更新する」（P.242）をご参照ください。
- FOMA端末の品質改善を行うため、ソフトウェア更新によってオペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。このため、常に最新のOSバージョンをご利用いただく必要があります。また、古いOSバージョンで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- 本端末とFOMAカード（緑色）の一部との組み合わせにてご利用の際、一部海外事業者ネットワークにおいて、音声通話およびパケット通信ができなくなる状態になることがあります。海外でご利用いただく際、FOMAカード（緑色）をご利用のお客様は、無料でFOMAカードを交換させていただきますので、最寄りのドコモショップへご来店ください。

- 紛失に備え、画面ロックを設定しFOMA端末のセキュリティを確保してください。詳細は「画面ロック」（P.76）をご参照ください。
- 万が一紛失した場合は、Google トーク、Gmail、Androidマーケットなどのgoogleサービスやfacebook、Twitter、mixiを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワード変更や認証の無効化を行ってください。
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしません。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■ 次の絵の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1. FOMA端末、電池パック、ACアダプタケーブル、FOMAカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。
また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

水濡れ禁止

濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびACアダプタケーブルは、NTTドコモが指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

⚠警告

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やACアダプタケーブル、FOMAカードを入れないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、ACアダプタケーブルの発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁止

microUSB接続端子やヘッドセット接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。
ショートによる火災や故障の原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
1. 電源プラグをコンセントから抜く。
2. FOMA端末の電源を切る。
3. 電池パックをFOMA端末から取り外す。
そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがや故障の原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
故障の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

FOMA端末をACアダプタケーブルに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
FOMA端末や電池パック・ACアダプタケーブルの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

2. FOMA端末の取り扱いについて

⚠警告

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。
視力障害の原因となります。また目がくらんだり、驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。
エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。
FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

禁止

FOMA端末内のFOMAカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、感電、故障の原因となります。

禁止

自動車などの運転手に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

⚠警告

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。

また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

FOMA端末のmicroUSB接続端子に充電などのためmicroUSBケーブル接続を行った場合は、操作はできませんが電源はオンになります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域ではmicroUSBケーブル接続を行わないようご注意ください。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。

また、イヤホンマイクをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に影響を与える可能性があります。

指示

屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

落雷、感電の原因となります。

⚠警告

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

⚠注意

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

禁止

着信音が鳴っているときや、FOMA端末でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。
難聴になる可能性があります。

指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。
安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

3. 電池パックの取り扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠警告

禁止

落下による変形や傷など外部からの衝撃により電池パックに異常が見られた場合は、直ちに使用をやめてください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

⚠注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを充電しないでください。
電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となります。

指示

電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で十分に洗い流してください。
皮膚に傷害を起こす原因となります。

4. ACアダプタケーブルの取り扱いについて

⚠警告

禁止

microUSBケーブルが傷んだら使用しないでください。
感電、発熱、火災の原因となります。

禁止

ACアダプタケーブルは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、FOMA端末、ACアダプタケーブルには触れないでください。
落雷、感電の原因となります。

禁止

コンセントにつながれた状態でmicroUSBプラグをショートさせないでください。また、microUSBプラグに手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、故障、感電、傷害の原因となります。

禁止

充電中は、ACアダプタケーブルを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

禁止

microUSBケーブルの上に重いものをのせたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でACアダプタケーブル、コンセントに触れないでください。
感電の原因となります。

⚠警告

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、海外で利用可能なACアダプタケーブルを使用してください。
ACアダプタケーブル：AC100V～240V
(家庭用交流コンセントのみに接続すること)

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

ACアダプタをコンセントから抜く場合は、microUSBケーブルを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
ケーブルを引っ張るとケーブルが傷つき、感電、火災の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。
感電、発煙、火災の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
感電の原因となります。

5. FOMAカードの取り扱いについて

⚠注意

FOMAカード（IC部分）を取り外す際は切断面にご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

6. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ **本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

⚠警告

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

⚠警告

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

7. 取り扱い上のご注意

■ 共通のお願い

- 水をかけないでください。
  FOMA端末、電池パック、ACアダプタケーブル、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
  - FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。取り扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

次ページへつづく

- 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。
  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり、充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
  多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続機器をmicroUSB接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- FOMA端末、試供品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。
- ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
  傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

■ FOMA端末についてのお願い

- 極端な高温、低温は避けてください。
  温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  故障、破損の原因となります。
- microUSB接続端子やヘッドセット接続端子を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
  故障、破損の原因となります。
- 使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
  素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常はmicroUSB接続端子キャップをはめた状態でご使用ください。
  ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- リアカバーを外したまま使用しないでください。
  電池パックが外れたり、故障、破損の原因となります。
- microSDカードの使用中はmicroSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。

- 磁気カードなどをFOMA端末に近づけないでください。
  キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作しないでください。
  タッチパネルが破損する原因となります。
- FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
  強い磁気を近づけると誤動作や故障の原因となる可能性があります。

■ 電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。
  使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。
  - 満充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管。
  - 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程度消費している状態）での保管。

  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
  保管に適した電池残量は、目安として残量が40パーセント程度の状態をおすすめします。

■ ACアダプタケーブルについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、ACアダプタケーブルが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、microUSBプラグを変形させないでください。
  故障の原因となります。

■ FOMAカードについてのお願い

- FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。
- 使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、FOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- 極端な高温・低温は避けてください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。
- FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  故障の原因となります。
- FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  故障の原因となります。
- FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
  故障の原因となります。

■ Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末では、ヘッドセット、ハンズフリー、オーディオを利用できます。また、オーディオではオーディオ／ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります。

- 周波数帯について
  FOMA端末のBluetooth機能／無線LAN機能が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

  2.4FH1/DS4/OF4 ■■ ■■ ■■

  2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
  FH/DS/OF：変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDMであることを示します。
  1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
  4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
  ■■ ■■ ■■：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

  利用可能なチャンネルは国により異なります。航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
- Bluetooth機器使用上の注意事項
  本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。
  1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
  3. その他、ご不明な点につきましては、取扱説明書裏面の「ドコモ・スマートフォン・ケア」までお問い合わせください。

■ 無線LAN（WLAN）についてのお願い

- 無線LANについて
  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 2.4GHz機器使用上の注意事項
  WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
  1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

次ページへつづく

2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、取扱説明書裏面の「ドコモ・スマートフォン・ケア」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. そのほか、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、取扱説明書裏面の「ドコモ・スマートフォン・ケア」までお問い合わせください。

■ 注意

- 改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。

  FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク〒」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。
  FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。
  技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。

  運転中は、携帯電話を保持して使用すると罰則の対象となります。
  やむを得ず電話を受ける場合は、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

付属品を確認する

本体付属品

- SO-01B本体（保証書、リアカバー SO13含む）

- 取扱説明書（本書）

- 電池パック SO04

- ACアダプタケーブル SO01（保証書含む）

＜AC アダプタ＞　＜microUSB ケーブル＞

- microSDHCカード（16GB）※（試供品）

※ お買い上げ時には、あらかじめFOMA端末に取り付けられています。

- マイク付ステレオヘッドセット（試供品）

＜ステレオイヤホン＞　＜マイク付イヤホン変換アダプタ＞

ご使用前の確認

各部の名称

① microUSB接続端子
② ヘッドセット接続端子
③ 電源キー／画面ロックキー
④ GPSアンテナ部
⑤ ライトセンサー：画面の明るさの自動制御に使用されます。
⑥ 受話口
⑦ スピーカー
⑧ 近接センサー：タッチスクリーンのオンとオフを切り替えて、通話中に顔がタッチスクリーンに触れても誤動作が発生しないようにします。
⑨ 通知LED
⑩ タッチスクリーン
⑪ 送話口
⑫ バックキー
⑬ ホームキー
⑭ メニューキー
⑮ カメラレンズ
⑯ 音量キー／ズームキー
⑰ カメラ照明（ムービー録画中ランプ）
⑱ カメラキー
⑲ ストラップホール
⑳ アンテナ部：アンテナは本体に内蔵されています。よりよい条件で通話をするために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

❖注意

- 各センサー上にシールなどを貼らないでください。

通知LEDについて

FOMA端末のステータスまたは着信や受信などの通知情報を表示します。

LEDの見かた

LEDの色と点滅	意　味
赤の点滅	残量10%以下（充電中も含む）
赤点滅後の消灯	電源ON時に電池残量が起動するに十分でないことを示す
緑の点灯	充電中、電池残量が90%以上であることを示す
緑の点滅	バックライト消灯中、不在着信／新着メッセージ（SMS）／新着Eメールがあることを示す
黄色の点灯	充電中、電池残量が10%-90%であることを示す

ハードウェアキー操作の基本

キー	名称	説明
田	メニュー	• 現在の画面またはアプリケーションで実行できるオプションメニューを開きます。 • 文字入力時に1秒以上押すと、ソフトウェアキーボードを表示／非表示できます。 • ホーム画面で、1秒以上押してキーボードを表示させ、任意のキーをタッチすると、Google検索が起動します。
□	ホーム	• ホーム画面に戻ります。 • 1秒以上押すと、最近使用したアプリケーションのウィンドウを開きます。
⇦	バック	• 直前の画面に戻ります。または、ダイアログボックス、オプションメニュー、通知パネルを閉じます。 • 画面キーボードを閉じます。

※ 本書では、各キーの操作を 田、□、⇦ を使って説明しています。

タッチスクリーンの使いかた

タッチスクリーン利用上のご注意

- タッチスクリーンは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けないでください。
- 次の場合はタッチスクリーンに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作
- 濡れた手での操作
- タッチパネルに水滴が付着している状態での操作

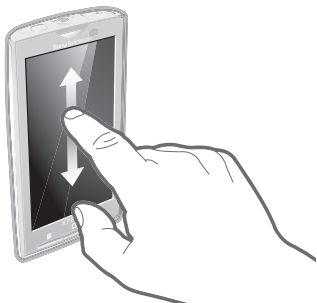
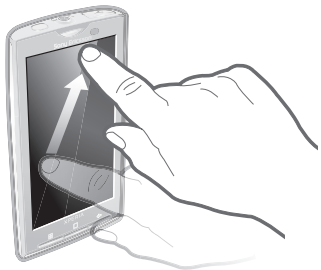
• タッチスクリーン上では次の操作ができます。
  - タップ：画面を軽く触れる
  - タッチ：画面を長く触れる
  - フリック：画面上を軽くなぞる
  - ドラッグ：画面上でタッチしたままなぞって指を離す

項目を開く／選択する

1　項目をタップする

画面をスクロールする

上下にスクロールできます。一部のウェブページでは左右のスクロールも可能です。

スクロールする

上下にドラッグしてスクロールします。

スクロールする方向にすばやく画面をフリックすると、高速にスクロールします。スクロールが止まるまで待つか、画面を軽くタップすると停止できます。

表示を拡大／縮小する

1 **[拡大アイコン]をタップして拡大、[縮小アイコン]をタップして縮小する**

❖**お知らせ**

- ズームコントロールのアイコンが表示されていない場合は、好きな方向に画面をドラッグするとズームコントロールを表示できる場合があります。
- 画面を2本の指で触れ、指の間隔を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）することで、一部の画面では拡大／縮小することができます。ピンチアウトすると拡大、ピンチインすると縮小します。

広い範囲を表示する

1 **表示領域が現在表示されている範囲外にも続いている場合は、画面を上下左右にドラッグして表示する**

画面の表示のしかたを変える

FOMA端末を横向き／縦向きにすると、自動的に横画面表示／縦画面表示に切り替わるように設定できます。

❖**お知らせ**

- 向かって左へ横向きにした場合に横画面表示へ切り替わります。右の場合、切り替わりませんのでご注意ください。
- ホーム画面、設定画面など、表示中の画面によっては、FOMA端末の向きを変えても横画面表示されない場合があります。

横画面表示に切り替わるように設定する

1 **ホーム画面で、[メニューキー]を押す**

2 **[設定]▶[サウンド&画面設定]をタップする**

3 **[画面の向き]にチェックを入れる**

リストからすばやく項目を選択する

電話帳など一部のリストでは、画面右横に五十音順、アルファベット順のインデックス文字が表示されます。インデックスの文字列に沿って指をドラッグすると、インデックス文字をスクロールできます。

インデックス文字に直接移動する

1 インデックス文字が付いているリストで、インデックス上の文字をタップする

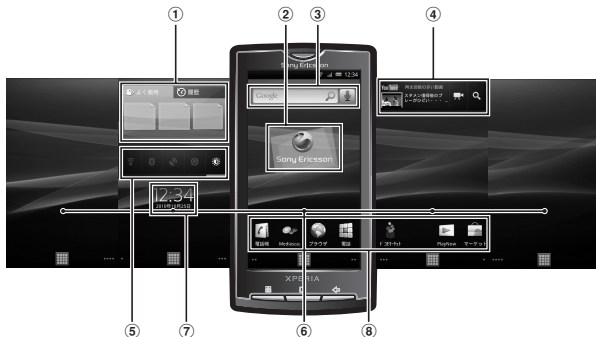
オプションにチェックを入れるまたはチェックを外す

チェックボックスまたはラジオボタンにチェックマークを入れたり、チェックマークを外すことにより、オプション設定のオン／オフを切り替えることができます。チェックボックスまたはラジオボタンをタップします。

チェックボックス
☑チェックを入れる　☑チェックを外す

ラジオボタン
◉チェックを入れる　◎チェックを外す

ホーム画面

ホーム画面は、FOMA端末操作上の初期画面です。ホーム画面ではアプリケーションのショートカットやウィジェットを追加・移動したり、壁紙を変えるなどカスタマイズできます。ホーム画面は左右2画面ずつ拡張が可能です。

① ウィジェット：Webパネル
② ウィジェット：Timescape™
③ ウィジェット：検索（クイック検索ボックス）（P.38）
④ ウィジェット：YouTube
⑤ ウィジェット：電源管理
⑥ 壁紙
⑦ ウィジェット：デジタル時計
⑧ ショートカット（アプリケーション）

ホーム画面をドラッグして切り替える

1 ホーム画面を指で左または右にドラッグする

- 壁紙の続きが、全5種類のホーム画面として表示されます。

ホーム画面のサムネイルを表示して切り替える

1 ホーム画面下部の左右に表示されている を長くタッチする

- 5つのホーム画面のサムネイルが表示されます。

2 サムネイル画面をタップする

- タップしたホーム画面に切り替わります。

❖お知らせ

- ホーム画面下部の左右に表示されている をタップして、左右のホーム画面に切り替えることができます。表示しているホーム画面により、 ／ ／ ／ と点の数が変わり、現在のホーム画面の位置を確認できます。

ホーム画面の壁紙を変更する

1 ホーム画面で、 を押す

2 ［壁紙］をタップする

3 ［Mediascape］／［ライブ壁紙］／［壁紙］をタップする

- ［Mediascape］をタップした場合は、壁紙にする画像を選択します。トリミング枠が表示されますので、壁紙に使用したい範囲に枠をドラッグしてトリミングし、［保存］をタップします。
- ［ライブ壁紙］をタップした場合は、コンテンツを選択し、［壁紙に設定］をタップします。ライブ壁紙のコンテンツは、ウェブサイトからダウンロードして追加することもできます。
- ［壁紙］をタップした場合は、壁紙にする画像を選択し、［壁紙設定］をタップします。

❖お知らせ

- ホーム画面上のアイコンがない部分で画面を長くタッチし、［壁紙］をタップしても変更することができます。

ホーム画面にショートカットを作成する

1 ホーム画面で、 （P.40）をタップする

2 アプリケーションのアイコンをホーム画面に表示されるまで長くタッチする

3 アイコンを置きたい場所で指を離す

❖お知らせ

- 次の操作で表示される「ホーム画面に追加」メニューから、アプリケーションのショートカットやアプリケーション以外のショートカットを作成できます。
  - ホーム画面で壁紙を長くタッチし、[ショートカット]をタップする
  - ホーム画面で[MENU]を押し、[追加]▶[ショートカット]をタップする

アイコンを別のホーム画面上へ移動する

1 ホーム画面で、アイコンをFOMA端末が振動して拡大表示されるまで長くタッチし続ける

2 アイコンを長くタッチしたまま左または右にドラッグしてホーム画面を切り替える

3 アイコンから指を離す

ホーム画面のアイコンを削除する

1 ホーム画面で、アイコンを画面下部に🗑が表示されるまで長くタッチし続ける

2 アイコンを🗑のところまでドラッグする

- アプリケーションアイコンが赤色にライトアップされます。

3 アイコンから指を離す

ホーム画面にフォルダを作成する

1 ホーム画面で、[MENU]を押す

2 [追加]▶[フォルダ]をタップする

3 使用するフォルダを選択する

- フォルダがホーム画面に表示されます。

フォルダに項目を追加する

1 ホーム画面で、アプリケーションアイコンをFOMA端末が振動してアイコンが拡大表示されるまで長くタッチする

2 アプリケーションアイコンをフォルダの上にドラッグする

3 アイコンから指を離す

フォルダの名前を変更する

1 フォルダをタップして開く

2 フォルダのタイトルバーをタッチする

- 「フォルダ名を変更」ダイアログボックスが開きます。

3 [フォルダ名]入力ボックスをタップしてフォルダ名を入力し、[OK]をタップする

- ☒をタップすると、フォルダを閉じます。

ホーム画面にウィジェットを追加する

1 **ホーム画面で を押す**

2 **［追加］▶［ウィジェット］をタップする**

- ウィジェットの一覧が表示されます。

Facebook	友達のコメントを表示
Latitude	友達の現在地を表示
Timescape™	最新のTimescapeタイルを表示
Webパネル	よく閲覧するウェブサイトと履歴を3件ずつ表示
YouTube	再生回数の多い動画やおすすめの動画などを表示
アナログ時計	アナログ時計を表示
カレンダー	カレンダーを表示
ステータススイッチ	機内モードのオン、Bluetooth機能のオン、GPS機能のオン、Wi-Fiのオン、スピーカーオン／バイブレータ／ミュートの切替、モバイルネットワーク設定の各設定ボタンを表示
デジタル時計	デジタル時計を表示
検索	クイック検索ボックスを表示
最近の通話履歴	通話履歴を表示
写真フレーム	撮影した写真をトリミングしてホーム画面に表示
電源管理	Wi-Fi機能のオン、Bluetooth機能のオン、GPS機能のオン、自動同期のオン、明るさ調整（切替）の各設定ボタンを表示

3 **項目を選択する**

❖**お知らせ**

- Androidマーケットからウィジェットのあるアプリケーションをインストールした場合、インストールしたウィジェットもウィジェット一覧に表示されます。

ステータスバー

ステータスバーは画面上部に表示されます。ステータスバーにはFOMA端末のステータスと通知情報が表示されます。ステータスバーの左側に通知アイコンが表示され、右側に本体のステータスアイコンが表示されます。

ステータスバー

ステータスアイコン

画面に表示されるステータスアイコンは次のとおりです。

	電波状態		Bluetooth機能有効
	圏外		Bluetoothデバイスに接続中
	国際ローミング中		FOMAカードロック中、またはFOMAカードが未挿入

	FOMAハイスピード通信可能		マナーモード（着信音量0）中、またはマイクがミュートに設定中
	GPRS使用可能		スピーカーフォンがオン
	3G使用可能		バイブレーション（着信音量0）に設定中
	FOMAハイスピード通信の送信およびダウンロード		アラーム設定中
	GPRSデータの送信およびダウンロード中		Wi-Fi接続中
	3Gデータの送信およびダウンロード中		データ同期中
	電池の状態		機内モード設定中
	充電中		GPS有効

通知アイコン

画面に表示される通知アイコンは次のとおりです。

	新着Eメールあり		通話保留中
	新着Gmailあり		電話転送オン
	新規メッセージ（SMS）あり		データをダウンロード中
	メッセージ（SMS）の配信に問題あり		ダウンロード完了
	新着インスタントメッセージあり		連絡先をBluetooth機能で送信中
	新着エリアメールあり		連絡先をBluetooth機能で受信中
	留守番電話あり		データをアップロード中
	カレンダーの予定あり		ソフトウェア更新通知あり、または更新中
	楽曲を再生中		その他の（表示されていない）通知あり
	ログイン／同期に問題あり		インストール完了（Android マーケットなどでアプリケーションをインストールする際）
	microSDカードがフル状態		アップデート通知（インストール済みマーケットアプリのアップデートが通知される際）
	USB接続中		VPN接続中
	エラーメッセージ		VPN未接続
	通話中		microSD カードが未挿入
	Bluetoothデバイスで通話中		アルバムアート取得中
	不在着信あり		Wi-Fiオープンネットワーク利用可能
	セットアップガイド未確認		

通知パネル

通知アイコンは通知パネルに表示されます。メッセージ、リマインダー、予定の通知などの通知を通知パネルから直接開くことができます。

通知パネルを開く

1 ステータスバーを下にドラッグする

❖**お知らせ**

- ホーム画面で［⊞］を押して、［通知］をタップしても開くことができます。

通知パネルを閉じる

1 ［⇦］を押す

通知パネル内の表示を消去する

1 通知パネルで、［通知を消去］をタップする

❖**お知らせ**

- 通知内容によっては通知を消去できない場合があります。

FOMA端末内やウェブページの情報を検索する

クイック検索ボックスに文字を入力すると、FOMA端末内やウェブ上の情報を検索することができます。

クイック検索ボックスで検索する

1 ホーム画面上のクイック検索ボックス（P.33）をタップする

- クイック検索ボックスとソフトウェアキーボードが表示されます。

2 検索する語句を入力する

- 文字の入力に従って、検索候補、FOMA端末内の検索結果、または以前に選択した検索結果のリストが表示されます。
- 文字の入力については、「文字入力」(P.203）をご参照ください。

3 検索項目をタップする

- 選択した項目が、電話帳の連絡先やブラウザなどに該当する場合は、該当するアプリケーションで検索項目を表示します。
- 目的の検索結果がない場合は、🔍をタップしてウェブページを検索できます。
- 検索語句を入力し直す場合は、[⇦]を押してクイック検索ボックスに戻ります。

❖**お知らせ**

- ホーム画面で[⊞]を押し、[検索]をタップしてもクイック検索ボックスを表示できます。

検索設定

クイック検索ボックスで使用するウェブ検索エンジンや、FOMA端末内での検索対象を設定できます。

1 ホーム画面で、[⊞]を押し、[設定]をタップする

2 [検索]をタップする

- 検索設定画面が表示され、次の設定ができます。

Google検索の設定	検索文字の入力時にクイック検索ボックスの下に検索候補を表示するかどうか、検索候補に以前の検索結果を反映させるかどうかなどを設定することができます。また、ブラウザでウェブ検索履歴設定のページを開くことができます。 • Googleアカウントが必要になります。Googleアカウントをお持ちでない場合は、「Googleアカウント」(P.50)をご参照ください。
検索対象	検索対象とするFOMA端末内のデータの種類(ブラウザ・アプリケーション・連絡先・音楽)にチェックを入れる/外すことで、検索範囲を変更できます。
検索ショートカットをクリアする	クイック検索ボックスの下に表示されるリストのうち、以前に選択した検索結果を表示しないようにできます。

アプリケーション画面

アプリケーション画面から、FOMA端末に搭載されているアプリケーションにアクセスできます。

アプリケーション画面を開く

1 ホーム画面で、▦をタップする

アプリケーション画面を閉じる

1 □をタップする

- [⇦]を押してもアプリケーション画面を閉じることができます。

アプリケーションの概要

アプリケーション画面に表示されるアプリケーションは次のとおりです。

アイコン	アプリケーション	説　明
	Evernote	個人用オンラインファイル管理アプリケーション
	Eメール	Eメールの送受信（複数のアカウントを使用可）
	Facebook	Facebook へのログイン
	Gmail	Eメールアプリケーション
	Latitude	特定の友人と位置情報を共有して利用するコミュニケーションツール
	Mediascape	ミュージック、写真、ムービーなどのメディアファイルの閲覧や使用
	Moxierのタスク	ToDo 項目の管理
	Moxier カレンダー	カレンダーアプリケーション
	Moxierメール	Eメールアプリケーション
	Moxier同期	同期アプリケーション
	Moxier連絡先	連絡先管理アプリケーション

アイコン	アプリケーション	説　明
	OfficeSuite	テキストドキュメントの閲覧、表示
	PlayNow	各種お得情報の閲覧
	Quadrapop	落ち物ゲーム
	Timescape™	毎日のすべての通信および通話のメディアを管理
	TrackID™	音楽情報確認サービス
	VoiceSearch	音声による検索
	YouTube	世界中のムービーを共有し、表示
	mora touch	音楽ダウンロードサイトmora touch
	アラーム	アラームの設定
	エリアメール	緊急速報「エリアメール」の受信と、受信したエリアメールの確認ができるアプリケーション
	カメラ	写真の撮影、ムービーの録画
	カレンダー	予定の管理
	セットアップガイド	セットアップガイドを表示
	トーク	Google トークでのチャット
	ナビ	Googleマップを表示

アイコン	アプリケーション	説　明
	バックアップと復元	本体内データのmicroSDカードへのバックアップ／復元
	ブラウザ	ウェブサイトおよびWAPサイトの閲覧（WMLは除く）、ファイルのダウンロード
	プレイス	Googleマップ上に登録された各種情報を利用したアプリケーション
	マップ	現在地の確認、他の場所の検索、経路の計算
	マーケット	新しいアプリケーションのダウンロード・購入
	メッセージ	メッセージ（SMS）の送受信
	定型文	文字入力時に引用できる定型文の管理
	羅針盤	電子コンパス・モーションセンサー・GPSを利用した多機能アプリケーション
	設定	FOMA端末の各種設定
	電卓	加算、減算、乗算、除算などの基本的な計算
	電話	電話の発信／受信、通話の切り替えの設定
	電話帳	友人や同僚の連絡先の管理

次ページへつづく

アイコン	アプリケーション	説　明
	ドコモマーケット	アプリも動画も探せるドコモマーケットにアクセスすることができます。

❖お知らせ

- アプリケーションによっては、名称が名前の最後まで表示されない場合があります。

最近使用したアプリケーション

最近使用したアプリケーションを表示してアクセスできます。

最近使用したアプリケーションのウィンドウを開く

1 **［□］を1秒以上押す**

- 最近使用したアプリケーションが一覧で表示されます。

FOMAカードについて

FOMAカードとは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードのことです。FOMAカードがFOMA端末に取り付けられていないと、FOMA端末の一部（電話機能など）を操作することができません。

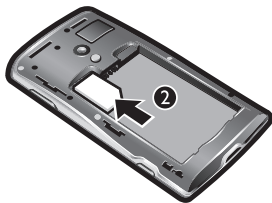
FOMAカードを挿入または取り出す前に、必ずFOMA端末の電源をオフにして、ACアダプタケーブルも取り付けないでください。

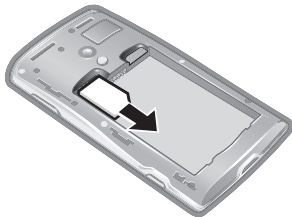
■ **FOMAカードの暗証番号について**

FOMAカードには、PIN1コードとPIN2コードという2つの暗証番号があります。ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P.76

FOMAカードを取り付ける

1 **リアカバーのミゾに親指の爪を入れ、矢印（❶）の方向へ持ち上げてリアカバーを取り外す**

2 電池パックを取り出して、FOMAカードの金色の端子部分を下に向けてホルダーに差し込む

FOMAカードを取り外す

1 リアカバーを外し、電池パックを取り出してFOMAカードを指の先で押さえながら、手前にすべり出すように取り出す

microSDカードについて

microSDカードは、互換性のある他の機器でも使用できます。

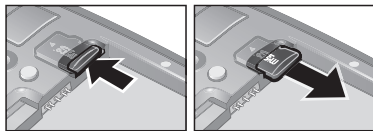
- microSDカードを取り付けていない場合、カメラ機能、音楽・動画の再生やダウンロードをご利用になれません。
- 本FOMA端末では市販の2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカードに対応しています（2010年9月現在）。
- 対応のmicroSDカードは、各microSDメーカーへお問い合わせください。

microSDカードを取り付ける

1 リアカバーのミゾに親指の爪を入れ、矢印（❶）の方向へ持ち上げてリアカバーを取り外す

2 **電池パックを取り出してmicroSDカードの金色の端子部分を下に向けてホルダーに差し込む**

microSDカードを取り出す

1 **リアカバーを外し、電池パックを取り出して、microSDカードをいったん奥まで押し込み、ロックを外してから、microSDカードを取り出す**

電池パックを充電する

お買い上げ時は、FOMA端末の電池は十分に充電された状態ではありません。

充電時間（目安）

電池パックが空の状態から充電したときの時間です。低温時に充電すると、充電時間は長くなります。

ACアダプタケーブル S001（付属品）	約140分

十分に充電したときの使用時間（目安）

使用環境や電池パックの状態によって使用時間は異なります。詳しくは、P.244をご参照ください。

連続待受時間	FOMA／3G	静止時（自動）：約300時間 移動時（自動）：約190時間 移動時（3G固定）： 約200時間
	GSM	約230時間（静止時）
連続通話時間	FOMA／3G	約290分
	GSM	約270分

電池パックの寿命について

SO-01B専用の電池パック SO04をご利用ください。

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 環境保全のため、不要になった電池はNTT ドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

Li-ion 00

充電について

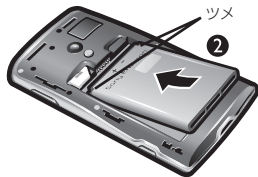
- 付属のACアダプタの対応電圧はAC100から240Vです。海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 充電には付属のACアダプタケーブルをお使いください。
- 充電を開始すると、FOMA 端末の通知 LEDが赤色に点滅または黄色／緑色に点灯し、充電が完了すると消灯します。なお、充電状態は電池アイコンで確認するか、ホーム画面で［⊞］を押し、［設定］▶［端末情報］▶［端末の状態］をタップして、「電池残量」で確認できます。
- 電源オフ時に充電を開始すると、操作はできませんがFOMA端末の電源はオンになります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域では充電を行わないでください。

長時間（数日間）充電はおやめください

- 充電したままFOMA端末を長時間おくと、充電が終わった後FOMA端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際には短い時間しか使えないことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、FOMA端末を一度ACアダプタケーブルから外してもう一度セットして充電し直してください。

電池パックを取り付ける

1 リアカバーのミゾに親指の爪を入れ、矢印（❶）の方向へ持ち上げてリアカバーを取り外す

2 電池パックは、「Sony Ericsson」の記載があるラベル面を上にしてFOMA端末と電池パックのツメを合わせるように矢印（❷）の方向へ挿入する

3 リアカバーの向きを確認して、本体に合わせるように装着し（❸）、ツメ部分を1つずつしっかりと押して閉じる（❹）

電池パックを取り外す

1 リアカバーのミゾに親指の爪を入れ、矢印（❶）の方向へ持ち上げてリアカバーを取り外す

2 FOMA端末のくぼみに指の爪を入れ電池パックを矢印（❷）の方向に持ち上げて取り外す

❖お知らせ

- 電池パックの取り付け／取り外しは、FOMA端末の電源を切ってから行ってください。

ACアダプタを使って充電する

1 microUSBケーブルのmicroUSBプラグの刻印面を上にして、FOMA端末のmicroUSB接続端子に水平に差し込む

2 microUSBケーブルのUSBプラグの刻印面を上にしてACアダプタのUSB接続端子に水平に差し込み、ACアダプタのプラグを電源コンセントに差し込む

3 充電が終わったら、microUSBケーブルのmicroUSBプラグをFOMA端末から取り外す

4 ACアダプタを電源コンセントから取り外す

❖注意

- FOMA端末のmicroUSB接続端子に充電などのためmicroUSBケーブル接続を行った場合は、操作はできませんが電源はオンになります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域ではmicroUSBケーブル接続を行わないようご注意ください。

パソコンを使って充電する

1 microUSBケーブルのmicroUSBプラグの刻印面を上にして、FOMA端末のmicroUSB接続端子に水平に差し込む

2 microUSBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBポートに差し込む

3 充電が終わったら、microUSBケーブルのmicroUSBプラグをFOMA端末から取り外す

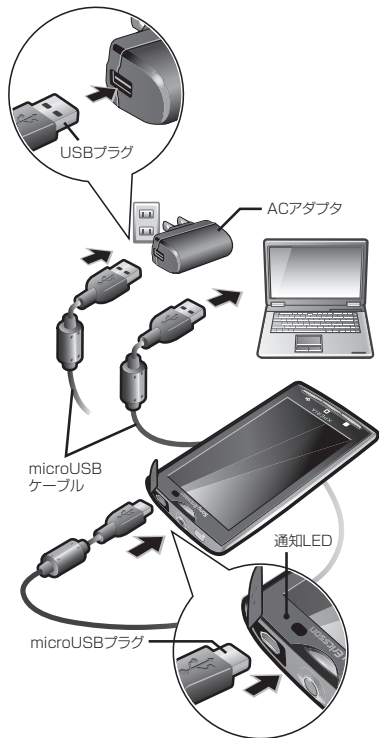
4 microUSBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBポートから取り外す

❖注意

- FOMA端末のmicroUSB接続端子に充電などのためmicroUSBケーブル接続を行った場合は、操作はできませんが電源はオンになります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域ではmicroUSBケーブル接続を行わないようご注意ください。

❖お知らせ

- 接続方向をよくご確認の上、正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。

次ページへつづく

電源を入れる／切る

セットアップガイド

FOMA端末の電源を初めて入れたときは、FOMA端末で使用する言語や日時の設定変更を行います。初回以降に電源を入れたときには、表示されませんが、アプリケーション画面で「セットアップガイド」をタップして確認し直すことができます。また、使用言語や日時の設定は、設定し直すことができます。

1 Ⓘを1秒以上押す
- 言語を選択する画面が表示されます。

2 ［日本語（日本)］▶［次へ］をタップする

3 注意事項を確認して、［次へ］をタップする
- 「ようこそ　この簡単ガイドを使って携帯電話の使用方法を確認してください」と表示され、主な機能の使いかたと初期設定を確認できます。

4 ［次へ］をタップする
- ［変更］をタップして「日付と時刻」の変更ができます。→P.52

5 ［次へ］をタップする
- ［表示］をタップして、キーとキーボードの使いかたを確認できます。

6 ［次へ］をタップする

- ［表示］をタップして、アプリケーションの「Timescape」「Mediascape」の使いかたを確認できます。

7 ［次へ］をタップする

- 「SIMの連絡先」のインポート、「ワイヤレスネットワーク」「Googleアカウント」「Timescape」の設定を行います。
- ［インポート］▶［OK］をタップして、連絡先をインポートできます。

8 ［次へ］▶［完了］をタップする

ホーム画面が表示されます。

❖お知らせ

- オンラインサービスの設定は、データ接続可能な状態であること（3G/GPRS）が必要です。→P.36
- 初期設定画面で各設定項目をスキップしても、必要に応じて後から設定することができます。

電源を入れる

1 を1秒以上押す

2 キーロックを解除する

- ホーム画面が表示されます。

❖お知らせ

- PINロックをかけていた場合は、電源を入れるとPINコード入力画面が表示されます。PINコードを入力して、［OK］をタップします。PINの入力ミスを訂正するには、をタップします。

電源を切る

1 を1秒以上押す

- 携帯電話オプションメニューが表示されます。

2 ［電源を切る］をタップする

3 ［OK］をタップする

画面のバックライトをオンにする

FOMA端末では、誤動作の防止と省電力のため、設定した時間が経過すると、画面を消灯してキーロックがかかります。バックライトを点灯させてキーロックを解除すると、消灯する前の画面が表示されます。

1 、どちらかのボタンを押す

- 着信時もアクティブになります。

❖お知らせ

- バックライトの消灯とキーロックまでの時間を設定できます。詳細は、「画面のバックライトが消灯するまでの時間を設定する」（P.55）をご参照ください。
- バックライト点灯中にすぐにキーロックしたい場合は、を押します。

- 画面ロック解除パターンを設定している場合、画面ロックを解除する前にパターンの入力を求められます。画面ロック解除パターンを作成する方法とロックを解除する方法については、「画面ロック」(P.76)をご参照ください。

キーロックを解除する

1 にタッチして、を に向かって重なるまでドラッグする

キーロック

❖**お知らせ**

- キーロック解除画面は、電源を入れたとき、または/を押してバックライトを点灯させたときに表示されます。
- キーロックを無効にする設定はありません。
- にタッチするまでは、右側には が表示されています。にタッチして左側へドラッグすると、キーロックや画面ロックを解除せずに着信音のオン/オフを切り替えることができます。

Googleアカウント

GoogleアカウントをFOMA端末に設定し、Gmail、Google トーク、Googleカレンダー、AndroidマーケットなどのGoogleサービスを利用できます。
なお、FOMA端末には複数のGoogleアカウントを設定することができます。

FOMA端末にGoogleアカウントを設定する

1 ホーム画面でを押し、[設定] ▶ [アカウントと同期] ▶ [アカウントを追加] ▶ [Google] をタップする

2 登録ウィザードの説明に従ってGoogleアカウントを作成する

- すでにアカウントを持っている場合は、ログインします。

❖**お知らせ**

- Googleアカウントを設定しない場合でもFOMA端末をお使いいただくことはできますが、Googleトーク、Gmail、AndroidマーケットなどのGoogleサービスがご利用になれません。
- サインインするためにはGoogleアカウントおよびパスワードが必要です。パスワードをお忘れになった場合は、「Googleパスワードを再取得する」(P.51)を参照してパスワードを再取得してください。

- Googleアカウントを削除するには、FOMA端末の「データの初期化」を行います。「データの初期化」については、「FOMA端末をリセットする」(P.78)をご参照ください。
- Googleアカウントでログインする前に、データ接続可能な状態であること（3G／GPRS）を確認してください。データ接続状態を知るには、「ステータスアイコン」（P.36）をご参照ください。

Googleパスワードを再取得する

1 パソコンでブラウザを起動し、http://www.google.co.jp を開く

2 ウェブ上のページ右上側の［ログイン］をクリックする

3 ページ右側にある［アカウントにアクセスできない場合］をクリックする

4 ［Googleアカウント：アカウントのログインに関する問題］の中から［パスワードを忘れた］を選択する

5 パスワードアシスタンスの手順に従いパスワードを再取得する

FOMA端末の設定

設定メニューを表示する

1 ホーム画面で、［MENU］を押す

2 ［設定］をタップする

■ 設定メニュー

無線とネットワーク	機内モード（P.78） Wi-Fi／Wi-Fi設定（P.102） Bluetooth／Bluetooth設定（P.160） VPN設定（P.106） モバイルネットワーク（P.55、P.227）
通話設定	ネットワークサービス設定（P.216） ネットワークオペレーター（P.230）
サウンド&画面設定	音の設定（P.53） 画面設定（P.31、P.54）
現在地情報とセキュリティ	ワイヤレスネットワーク（P.189） GPS機能（P.189） ロック解除パターン設定（P.76） SIMカードロック設定（P.75）
アプリケーション	提供元不明のアプリ（P.171） アプリケーションの管理（P.159、P.171） 実行中のサービス 開発（P.55）
アカウントと同期	バックグラウンドデータ、自動同期（P.156） Google（P.50） Facebook（P.90） Moxierメール（P.173）

プライバシー	現在地情報の使用 データの初期化（P.78）
SDカードと端末容量	SDカードのマウント解除 SDカードをフォーマット（P.158） 端末内部メモリ／SDカード容量
検索	検索設定（P.39）
言語とキーボード	地域／言語を選択（P.55） 文字入力設定（P.209）
ユーザー補助	ダウンロードしたユーザー補助アプリを使用可能にするかどうかの設定を行います。ユーザー補助アプリは、Androidマーケットなどからダウンロードできます。
テキスト読み上げ	サンプル再生や音声データのインストール、読み上げ速度や読み上げ言語を設定します。
日付と時刻	日付設定（P.52） 時刻設定（P.52） タイムゾーンの選択（P.52）
端末情報	ソフトウェアの更新（P.241）のほか、電話番号やネットワーク種別の確認、電池残量、ネットワーク名、使用アプリケーションごとの電池使用時間割合など、FOMA端末の状態を見ることができます。法的情報やソフトウェアバージョンを見ることもできます。

日付と時刻の設定

FOMA端末の日付と時刻を変更できます。
日付、タイムゾーン、時刻を手動で設定する場合は、「自動」時刻設定（ネットワーク自動設定）のチェックをタップして、解除する必要があります。

日付を設定する

1 設定メニュー画面で、［日付と時刻］▶［日付設定］をタップする

2 ＋または－をタップして日付を合わせる

3 ［設定］をタップする

❖**お知らせ**

- 海外通信事業者によっては時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定（P.53）してください。

時刻を設定する

1 設定メニュー画面で、［日付と時刻］▶［時刻設定］をタップする

2 ＋または－をタップして時間と分を合わせる

- 「24時間表示」のチェックを外している場合は、午前・午後を切り替えることができます。[午前] をタップすると [午後] に変わります(その逆も同じ)。

3 [設定] をタップする

❖**お知らせ**

- ネットワークから自動で設定する場合は、手順1で [日付と時刻] をタップした後に、「自動」にチェックを入れておきます。

タイムゾーンを設定する

1 設定メニュー画面で、[日付と時刻] ▶ [タイムゾーンの選択] をタップする

2 設定する項目をタップする

時間形式を設定するには

1 設定メニュー画面で、[日付と時刻] ▶ [24時間表示] をタップする

2 チェックを入れて24時間表示/チェックを外して12時間表示を切り替える

日付形式を設定する

1 設定メニュー画面で、[日付と時刻] ▶ [日付形式] をタップする

2 設定する項目をタップする

着信音の設定

着信音を設定する

1 設定メニュー画面で、[サウンド&画面設定] ▶ [着信音] をタップする

2 着信音を選択し、[OK] をタップする

- Media Go (P.163) から転送したり、インターネットからダウンロードした「.wav」、「.m4a」または他の形式の音声ファイルを着信音として設定できます。→P.125

❖**お知らせ**

- お買い上げ時に登録されている着信音以外の着信音を設定する場合は、Mediascape (P.125) から設定します。

タッチ操作音を有効にする

1 設定メニュー画面で、[サウンド&画面設定] をタップする

2 [タッチ操作音] [選択時の操作音] にチェックを入れる

- チェックを外すと、タッチやタップしたときに操作音が鳴らないようになります。

❖**お知らせ**

- ソフトウェアキーボードのキー操作音の設定は、ホーム画面で[メニュー]を押し、[設定] ▶ [言語とキーボード] をタップして、ソフトウェアキーボードの種類を選択してから設定します。

通知音を選択するには

1 設定メニュー画面で、[サウンド&画面設定] ▶ [通知音] をタップする

2 通知音を選択し、[OK] をタップする

バイブレータを設定する

1 設定メニュー画面で、[サウンド&画面設定] をタップする

2 [バイブレーション] にチェックを入れる

音量を調節する

着信音、通知音、ミュージックやムービーなどのメディア再生音量は、「サウンド&画面設定」から調節できます。

着信音の音量を音量キーで調節する

1 ホーム画面で の上下を押す

- 音量の調節バーが表示され、音を大きくまたは小さくできます。

❖お知らせ

- お買い上げ時は、着信音量を調節すると通知音量も同じ音量に調節されます。着信音と通知音を個別に調節するには、ホーム画面で を押し、[設定] ▶ [サウンド&画面設定] ▶ [着信音量] をタップして、「通知音にも着信音量を適用」のチェックを外します。着信音・通知音それぞれの音量調節のスライダが表示され、スライダを左右にドラッグして個別に音量を設定できます。

メディア再生音量を音量キーで調整する

1 ミュージックまたはムービー再生時に、 の上下を押す

マナーモードに設定する

1 を1秒以上押す

- 携帯電話オプションメニューが表示されます。

2 [マナーモード] をタップする

❖お知らせ

- 本FOMA端末では、マナーモードに設定中でも、着信音、操作音、各種通知音以外の音声（動画再生、音楽の再生、アラームなど）は消音されません。

画面設定

画面の明るさを調節する

1 設定メニュー画面で、[サウンド&画面設定] ▶ [画面の明るさ] をタップする

2 スライダを左右にドラッグする

- 画面の明るさを下げるにはスライダを左にドラッグ、上げるにはスライダを右にドラッグします。

3 ［OK］をタップする

❖お知らせ
- 電池残量が少なくなると、調節した設定によらず画面が暗くなります。

画面のバックライトが消灯するまでの時間を設定する

1 設定メニュー画面で、［サウンド&画面設定］▶［バックライト消灯］をタップする

2 画面がオフになるまでの時間を選択する

❖お知らせ
- 画面をすぐオフにするには、Ⓞを押します。

充電中に画面のバックライトをオンにしておく

1 設定メニュー画面で、［アプリケーション］▶［開発］をタップする

2 ［スリープモードにしない］にチェックを入れる

使用言語

FOMA端末で使用する言語を選択できます。

使用する言語を変更する

1 設定メニュー画面で、［言語とキーボード］▶［地域／言語を選択］をタップする

2 言語を選択する

❖お知らせ
- 間違った言語を選択して表示内容が読めなくなった場合は、http://www.sonyericsson.co.jp/so-01b/faq.htmlのヘルプをご参照ください。

ネットワークの接続設定

本FOMA端末は、2G/3Gネットワーク接続を、使用可能な状態に応じて自動的に切り替えます。

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイントは、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。
spモード、mopera Uのアクセスポイントはあらかじめ登録されています。お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモードが設定されています。

利用中のアクセスポイントを確認する

1 **ホーム画面で［MENU］を押し、［設定］をタップする**

2 **［無線とネットワーク］▶［モバイルネットワーク］▶［アクセスポイント名］をタップする**

- 利用可能なアクセスポイント（APN）が表示されます。

❖お知らせ

- 本FOMA端末のお買い上げと同時に、spモードをご契約いただいた場合は、「spモード」に設定されています。
- ソフトウェアを更新して、spモードをご契約いただいた場合は、spモードの設定が必要になります。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 使用できる接続が複数ある場合は、右側ラジオボタンにチェックの付いたものが、現在使用されているネットワーク接続を示します。

アクセスポイントを追加で設定する

1 **ホーム画面で［MENU］を押し、［設定］▶［無線とネットワーク］▶［モバイルネットワーク］▶［アクセスポイント名］をタップする**

2 **［MENU］を押す**

3 **［新しいAPN］をタップする**

4 **［名前］をタップし、作成するネットワークプロファイルの名前を入力する**

5 **［APN］をタップし、アクセスポイント名を入力する**

6 **通信事業者によって要求されているその他すべての情報をタップして入力する**

7 **［MENU］を押し、［保存］をタップする**

❖お知らせ

- APN設定の際に、MCC/MNCをデフォルト設定値（440/10）以外に変更すると、APN画面上に表示されなくなりますので、変更しないでください。APN画面上に表示されなくなった場合には、［初期設定にリセット］もしくは［新しいAPN］にて、再度APNの設定を行ってください。
- 半角英字（英語モード）にて予測変換を利用する際は、確定時に自動的にスペースが入力される場合があります。手動でスペースを削除する必要があります。

アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 **ホーム画面で［MENU］を押し、［設定］▶［無線とネットワーク］▶［モバイルネットワーク］をタップする**

2 **［アクセスポイント名］をタップする**

3 **⊞を押し、[初期設定にリセット]をタップする**

spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、ｉモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

mopera U

mopera UはNTTドコモのISPです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。

mopera Uを設定する

1 **ホーム画面で⊞を押し、[設定]▶[無線とネットワーク]▶[モバイルネットワーク]をタップする**

2 **[アクセスポイント名]をタップする**

3 **[mopera U（スマートフォン定額）]／[mopera U設定]のラジオボタンにチェックを入れる**

- ホーム画面に戻ってブラウザを開くと、インターネットへの快適なアクセスを楽しめます。

❖お知らせ

- 「mopera U設定」はmopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面、および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。
- 「mopera U（スマートフォン定額）」をご利用の場合、「パケ・ホーダイ ダブル／パケ・ホーダイ シンプル」のご契約が必要です。mopera U（スマートフォン定額）の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

電話機能

電話をかける／受ける

電話をかける

1 ホーム画面で、［電話］をタップする

2 電話番号を入力し、［発信］をタップする

- 電話番号の入力を間違えた場合は、電話番号表示欄の右にある ⌫ をタップして消すことができます。

ポーズ（,）を入力する

ご自宅の留守番電話、チケットの予約、銀行の残高照会などのサービスに利用します。

1 ホーム画面で、［電話］をタップする

2 電話番号を入力し、カンマ（,）記号が表示されるまでアスタリスク（＊）のキーを長くタッチする

緊急電話をかける

FOMA端末が電波の届く範囲内にあるときは、緊急電話番号の110番（警察）、119番（消防と救急）、118番（海上保安庁）を入力して電話をかけることができます。

1 ホーム画面で、［電話］をタップする

2 緊急電話番号を入力し、［発信］をタップする

- 電話番号の入力を間違えた場合は、電話番号表示欄の右にある ⌫ をタップして消すことができます。

❖注意

- 日本国内では、FOMAカードを取り付けていない場合、緊急通報110番／119番／118番に発信できません。

FOMAカードがロック中に緊急電話をかける

1 ［緊急通報］をタップする

2 緊急電話番号を入力し、［発信］をタップする

- 電話番号の入力を間違えた場合は、電話番号表示欄の右にある ⌫ をタップして消すことができます。

❖注意

- 日本国内では、PINコードの入力画面またはPINコードロック（PUKロック）中には、緊急通報110番／119番／118番に発信できません。

電話を終了する

1 ［通話を終了］をタップする

国際電話をかける（WORLD CALL）

WORLD CALLについての詳細は、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

1 ホーム画面で、［電話］をタップする

2 **プラス（+）記号が表示されるまで、数字［0］のキーを長くタッチする**

- 日本から国際電話をかけるときに「+」を国際電話アクセス番号に置き換えて発信しています。

3 **国番号▶地域番号（市外局番）▶相手先電話番号の順に入力し、［発信］をタップする**

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

電話を受ける

1 **着信時に にタッチして へドラッグする**

- 画面ロック中、またはキーロックされている場合も、アイコンが表示され、同様の操作で応答できます。

❖注意

- 着信時に ⓪ を押すと、着信音を消音にすることができます。
- マイクの付いていない一般的なヘッドフォンを使用している場合、FOMA端末のマイク（送話口）を使用して通話する必要があります。

着信を拒否する

1 **着信時に にタッチして へドラッグする**

❖お知らせ

- 画面ロック中、またはキーロックされている場合も、アイコンが表示され、同様の操作で拒否することができます。

通話音量を調節する

1 **通話中に を押して調節する**

通話中にスピーカーをオンにする

1 **通話中に［スピーカー］をタップする**

通話中にマイクをオフにする

1 **通話中に［ミュート］をタップする**

着信音を聞こえないようにする

1 **着信時に を押す**

通話中オプション

通話中に通話オプションで、通話を保留にしたりマイクを消音にしたりすることができます。

保留	通話中に[田]を押して、[保留]をタップします。保留の解除は、保留中に[田]を押して、[保留解除]をタップします。 • 保留を設定するには、「キャッチホン」の契約が必要です。(P.218)
連絡先	通話中に電話帳の連絡先リストを表示します。
スピーカー	スピーカーフォンのオン／オフを設定します。 • スピーカーフォンがオンになっているときは、ステータスバーにスピーカーフォンアイコンが表示されます。
ミュート	通話中のマイクの消音のオン／オフを設定します。 • マイクがオフになっているときは、ステータスバーに消音アイコンが表示されます。
ダイヤルキー	追加したい電話番号を入力して電話をかけることができます。 • 最初の通話は自動的に保留中になります。 • 通話を追加するには、「キャッチホン」の契約が必要です。(P.218)
通話を終了	通話を終了します。

❖注意

• 聴力を損わないために、スピーカーフォンがオンになっている状態でFOMA端末を耳に当てないでください。

通話履歴

通話履歴では、不在着信（）、音声着信（）、およびダイヤル発信（）が種別アイコンとともに表示されます。

不在着信を表示する

不在着信がある場合は、がステータスバーに表示されます。

1 ステータスバーを下側にドラッグする

2 [不在着信] をタップする

通話履歴から電話をかける

1 ホーム画面で、[電話] ▶ [通話履歴] をタップする

2 電話番号の横にある をタップする

通話履歴の電話番号を電話帳に登録する

1 ホーム画面で、[電話]▶[通話履歴]をタップする

2 電話番号を長くタッチして、[連絡先に追加]をタップする

- 電話番号にタップして表示されるメニューからでも[連絡先に追加]を選択できます。

3 電話番号を追加する連絡先、または[連絡先を新規登録]をタップする

4 連絡先の情報を入力して[完了]をタップする

通話履歴を削除する

1 ホーム画面で、[電話]▶[通話履歴]をタップする

2 [⊞]を押して、[通話履歴を全件消去]をタップする

❖**お知らせ**

- 通話履歴の一覧で、削除したい履歴を長くタッチして、[通話履歴から削除]をタップすると、1件のみ削除できます。

電話帳

電話帳では、電話番号、Eメールアドレス、インターネット上の各種サービスのアカウントなど連絡先に関わるすべての情報を入力できます。連絡先を表示して、その連絡先にすばやくアクセスできます。

電話帳を開く

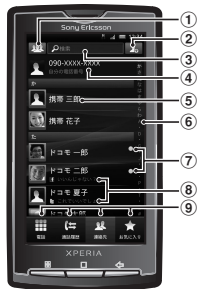
1 ホーム画面で、[電話帳]をタップする

- ホーム画面で、[電話]▶[連絡先]をタップしても電話帳を開くことができます。

❖**お知らせ**

- 初めて電話帳を開いたときは、セットアップウィザードが表示されます。セットアップウィザードでは、FOMAカード、microSDカード、またGoogle Syncでネットワーク上に保存した電話帳を読み込むことができます。[電話帳を開く]をタップすると、電話帳をご利用になれます。

電話帳画面

電話帳画面では、連絡先の各種情報が表示されます。連絡先に写真を追加したり、Facebook、Twitterの更新情報を表示したりすることもできます。写真やリンク先のステータスは、連絡先のリストに直接表示されます。

① 表示する連絡先の条件を設定
② 新しい連絡先の追加キー
③ 連絡先検索フィールド
④ 自分の電話番号（マイセルフ）
⑤ 電話帳に登録された名前
⑥ 名前を五十音順、アルファベット順などで検索するバー
⑦ Google トーク（チャット）Online状況（P.92）
⑧ Facebook、Twitterの更新情報
⑨ 画面切替（電話／通話履歴／連絡先／お気に入り）

電話帳を管理する

連絡先を追加する

1 **ホーム画面で、［電話帳］をタップする**

2 **[田]を押し、［連絡先を新規登録］をタップする**

3 **［本体連絡先］／［(Googleアカウント)］をタップする**

- Google アカウントを設定していない場合は、手順3の保存先選択画面が表示されず、手順4へ進みます。

4 **名前を入力する**

5 **追加情報を選択、入力する**

- 追加情報として、電話番号、Eメールアドレス、着信音のほか、［フィールドを追加］をタップして項目を増やすことができます。

6 **［完了］をタップする**

❖お知らせ

- 電話帳画面（P.64）の②（[アイコン]）をタップしても連絡先を新規登録できます。
- 「留守番電話に自動転送する」を利用するには、留守番電話サービスの契約が必要です。詳細については「留守番電話サービス」（P.216）をご参照ください。

• 「ふりがな（姓／名）」を登録した場合、連絡先のリストには「ふりがな」の五十音順、アルファベット順に従って表示されます。

連絡先のショートカットを利用する

連絡先のリスト画面で写真（画像）部分をタップすると、電話番号やメールなどのショートカットが表示され、ショートカットをタップして電話をかけたり、メールを作成して送信したりできます。

	登録した電話番号に電話をかけます。
	連絡先の「情報」フィルター（P.68）画面が表示されます。
	メッセージ（SMS）を作成して送信します。
	Eメールアプリを選択してEメールを作成して送信します。

※ その他、登録したGoogle トークアカウントや位置情報などを利用することができます。

❖お知らせ

• 連絡先のリスト画面で写真（画像）部分以外をタップすると、ショートカットは表示されず、「情報」フィルター（P.68）画面が表示されます。
• E メールのショートカットは、選択している連絡先にEメールアドレスが登録されていて、自分のEメールアカウントを設定している場合に表示されます。

連絡先を検索する

1 ホーム画面で、［電話帳］をタップする

2 検索する名前や読みを検索フィールドに入力する

• 入力した文字で始まる連絡先が表示されます。

❖お知らせ

• 電話帳画面（P.64）の①（ ）をタップすると、「電話番号のある連絡先のみ」「オンラインの連絡先のみ」のフィルターにより表示を切り替えることができます。また、アカウントやグループごとに連絡先の表示／非表示を切り替えることができます。

連絡先の情報項目を追加する

1 ホーム画面で、［電話帳］をタップする

2 編集する連絡先の名前をタップする

• 連絡先の「情報」フィルター（P.68）画面が表示されます。
• 連絡先の画像（写真）部分をタップした場合は、連絡先のショートカットが表示されます。 をタップして「情報」フィルター画面を表示してください。

3 ［編集］をタップする

• 編集画面で （フィールドを追加）をタップすると、入力できる情報項目を追加できます。

4 必要な情報項目をタップして編集し、［完了］をタップする

連絡先をリンクする

複数の連絡先として登録された連絡先を1つにリンクさせることができます。

1 **ホーム画面で、[電話帳]をタップする**

2 **リンクさせる連絡先を長くタッチし、[連絡先のリンク]をタップする**
- リンクする候補が表示されます。

3 **リンクさせる連絡先をタップする**

4 **[OK]をタップする**

❖お知らせ
- 連絡先のリンクを解除するには、連絡先の編集画面で[田]を押し、[リンク解除]をタップします。

連絡先を削除する

1 **ホーム画面で、[電話帳]をタップする**

2 **[田]を押し、[連絡先を削除]をタップする**

3 **削除する連絡先にチェックを入れる**
- すべての連絡先を削除するには[すべてマーク]をタップします。

4 **[削除]▶[OK]をタップする**

❖お知らせ
- 電話帳画面で削除する連絡先に長くタッチして、[連絡先を削除]をタップしても削除できます。

連絡先に電話をかける

1 **ホーム画面で、[電話帳]をタップする**

2 **電話をかけたい連絡先の名前をタップする**

3 **電話番号をタップする**

自局電話番号を確認して情報を編集する

1 **ホーム画面で、[電話帳]をタップする**

2 **リスト最上部の[XXX-XXXX-XXXX](自分の電話番号)をタップする**

3 **[編集]をタップする**
- 「マイセルフ」の編集画面が表示されます。

4 **必要な情報を入力する**
- 編集画面で[+](フィールドを追加)をタップすると、入力できる情報項目を追加できます。

5 **編集したら、[完了]をタップする**

❖お知らせ
- 「マイセルフ」には、複数の電話番号、メールアドレスなどを登録できます。登録した電話番号やメールアドレスからの履歴は、Timescapeに表示されます。

連絡先をBluetooth経由で送信する

登録した連絡先やマイセルフの情報をBluetooth機能を利用して送信できます。

• Bluetooth機能について→P.160

1 **ホーム画面で、［電話帳］をタップする**

2 **［XXX-XXXX-XXXX］（自分の電話番号）または連絡先をタップする**

3 **［⊞］を押し、［連絡先を送信］をタップする**

4 **［Bluetooth］▶［ONにする］をタップする**

- Bluetooth機能がオンになり、送信先の機器を検索します。
- すでにBluetooth機能がオンになっている場合は、手順4は表示されず、手順5へ進みます。

5 **リストから送信先の機器を選択する**

連絡先をEメールで送信する

登録した連絡先やマイセルフの情報をEメールに添付して送信できます。

1 **ホーム画面で、［電話帳］をタップする**

2 **［XXX-XXXX-XXXX］（自分の電話番号）または連絡先をタップする**

3 **［⊞］を押し、［連絡先を送信］をタップする**

4 **［Eメール］／［Gmail］／［Moxierメール］をタップする**

- それぞれのEメール作成画面でEメールを作成し、送信します。
- 「Eメール」はEメールアカウントを設定している場合に表示されます。「Gmail」「Moxierメール」は、アカウントを設定していない場合は、設定ウィザードが表示され、設定後にEメールを作成、送信できます。

お気に入り

連絡先にお気に入りのマークを付けることができます。お気に入りリストを使用すると、マークを付けた連絡先にすばやくアクセスできます。

連絡先をお気に入り登録する

1 ホーム画面で、[電話帳]をタップする

2 マークを付ける連絡先を長くタッチする

3 [お気に入りに追加]をタップする

❖**お知らせ**

- 電話帳画面で ★ をタッチして、お気に入りに登録した連絡先を表示できます。

写真とウェブコンテンツを連絡先にリンクする

連絡先に設定した写真と同じ顔が検出された端末内の画像が自動的に連絡先にリンクされます。
また、オンラインサービスのFacebookなどとリンク設定を行った連絡先は、そのサービスの情報を表示することができます。

連絡先に写真を追加する

1 ホーム画面で、[電話帳]をタップする

2 連絡先をタップする

3 [編集]をタップする

4 をタップする

5 [カメラロール]/[カメラ]/[初期設定画像]をタップする

- 「カメラロール」を選択すると、保存した写真を選択して登録します。
- 「カメラ」を選択すると、写真を撮影して登録します。
- 「初期設定画像」を選択すると、イメージ画像を選択して登録します。
- 追加した写真や画像は名前の横に表示されます。

6 [完了]をタップして確認する

連絡先情報フィルター

連絡先詳細画面を表示しているときに、画面下に表示されるフィルターを左右にフリックさせて次の情報を表示することができます。

フィルター	表　示
情報	連絡先電話番号および住所
通話履歴	連絡先の通話履歴
メッセージ	連絡先とのメッセージ(SMS)
Eメール	FOMA端末で送受信した連絡先とのEメール
マイフォト	連絡先の顔写真が含まれる写真
Twitter	連絡先のTwitterステータス更新履歴 • TimescapeでTwitterアカウントを設定した場合に表示されます。

フィルター	表　示
Facebook	連絡先のFacebookステータス更新履歴 • TimescapeでFacebookアカウントを設定した場合に表示されます。

TimescapeおよびT連絡先にFacebook、Twitterの更新情報が表示されるように設定する

1 **ホーム画面で、[電話帳] をタップする**

2 **[⊞] を押し、[設定] ▶ [TimescapeTM設定] をタップする**

3 **[Facebook] ／ [Twitter] をタップする**

4 **アカウント情報を入力して、[ログイン] をタップする**

❖お知らせ

- mixiの更新情報は連絡先に表示することはできないため、電話帳からは設定することができません。Timescapeにmixiの更新情報を表示する方法は、「Timescapeを設定する」（P.110）をご参照ください。

連絡先のエクスポート／インポート

microSDカードやFOMAカードへ連絡先をエクスポート／インポートすることができます。エクスポートした情報は、別の電話に転送する場合などに役立ちます。

❖お知らせ

- オンラインの同期サービスでも連絡先をエクスポートできます。詳細については、「データの転送と移動」（P.157）をご参照ください。
- 本FOMA端末からFOMAカードへエクスポートした連絡先は他の携帯電話にインポートするときに、電話番号の種別である「携帯：/M」「仕事：/W」「自宅：/H」、それらに該当しない場合は「/O」と名前の後ろに表示される場合があります。

すべての連絡先をmicroSDカードにエクスポートする

1 **ホーム画面で、[電話帳] をタップする**

2 **[⊞] を押し、[連絡先をエクスポート] ▶ [メモリーカード] (microSDカード) をタップする**

3 **[OK] をタップする**

microSDカードから連絡先をインポートする

1 **ホーム画面で、［電話帳］をタップする**

2 **［⊞］を押し、［連絡先をインポート］▶［メモリーカード］（microSDカード）をタップする**

3 **［本体連絡先］／［(Googleアカウント)］をタップする**

- Google アカウントを設定していない場合は、手順3のインポート先選択画面が表示されず、手順4へ進みます。

4 **インポートしたいvCardファイルを選択する**

- ファイルが1件しかない場合は、vCardファイル選択画面は表示されず、すぐにインポートが開始されます。
- ファイルの中に複数の連絡先が入っている場合は、すべて一度にインポートされます。
- vCardファイルが2件以上存在する場合は、［1件］／［複数件］／［全件］をタップして選択できます。

5 **［OK］をタップする**

❖**注意**

- 連絡先によっては、データの一部がインポートまたはエクスポートされない場合があります。

名前と電話番号をFOMAカードにエクスポートする

1 **ホーム画面で、［電話帳］をタップする**

2 **［⊞］を押し、［連絡先をエクスポート］▶［SIMカード］をタップする**

3 **コピーする連絡先にチェックを入れる**

- すべての連絡先にチェックを入れる場合は、［すべてマーク］をタップします。

4 **［エクスポート］をタップする**

5 **［連絡先を追加］または［連絡先を上書き］を選択する**

❖**注意**

- ［すべての連絡先を上書き］を選択した場合、既存のFOMAカード情報が上書きされます。
- 連絡先をFOMAカードにコピーすると、FOMAカードのメモリ容量が限られているため、名前と1つ目の電話番号のみが保存されます。

FOMAカードから連絡先をインポートする

1 **ホーム画面で、［電話帳］をタップする**

2 **［⊞］を押し、［連絡先をインポート］▶［SIMカード］をタップする**

3 ［本体連絡先］／［(Googleアカウント)］をタップする

- Google アカウントを設定していない場合は、手順3のインポート先選択画面は表示されず、手順4へ進みます。

4 1件インポートする場合は、インポートする連絡先をタップする

- すべての連絡先をインポートする場合は、［メニュー］を押して、［すべてインポート］をタップします。
- インポートした際に、同じ名前の連絡先がすでに存在していても、別々の連絡先としてインポートされます。

❖お知らせ

- インポート可能な情報は、名前と1つ目の電話番号のみです。

あんしん設定

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。FOMA端末をロックするためのコードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

■ 各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは取扱説明書裏面の「ドコモ・スマートフォン・ケア」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とFOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、取扱説明書裏面の「ドコモ・スマートフォン・ケア」までご相談ください。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ・スマートフォン・ケアでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」※の「docomoID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

※「My docomo」については、取扱説明書裏表紙の裏面をご覧ください。

PIN1コード／PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号があります。これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P.76

PIN1コードは、第三者によるFOMA端末の無断使用を防ぐため、FOMAカードを取り付ける、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号です。

※ 本FOMA端末ではPIN2コードは利用できません。

- 別のFOMA端末で利用していたFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1／PIN2コードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PIN1／PIN2コードの入力を3回連続して間違えると、PIN1／PIN2コードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

PINロック解除コード（PUKコード）

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、FOMAカードがロックされます。その場合は、ドコモショップにお問い合わせください。

FOMAカードの保護

FOMAカードにPIN（暗証番号）を設定して、不正使用から保護できます。

FOMAカードのPINを有効にする

電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定します。

1 **ホーム画面で ⊞ を押し、［設定］をタップする**

2 **［現在地情報とセキュリティ］▶［SIMカードロック設定］▶［SIMカードをロック］をタップする**

3 **FOMAカードのPINコードを入力して、［OK］をタップする**

電源を入れたときにPINコードを入力する

1 **PINコードの入力画面で、FOMAカードのPINコードを入力する**

2 **[OK] をタップする**

PINコードを変更する

- FOMAカードのPINが有効に設定されているときのみ変更できます。

1 **ホーム画面で [メニューキー] を押し、[設定] をタップする**

2 **[現在地情報とセキュリティ] ▶ [SIMカードロック設定] ▶ [SIM PINの変更] をタップする**

3 **現在のFOMAカードのPINコードを入力して、[OK] をタップする**

4 **新しいFOMAカードのPINコードを入力して、[OK] をタップする**

5 **もう一度新しいFOMAカードのPINコードを入力して、[OK] をタップする**

FOMAカードのPUKロックを解除する

1 **PUKコードの入力画面でPUKコードを入力して、[OK] をタップする**

2 **新しいFOMAカードのPINコードを入力して、[OK] をタップする**

3 **もう一度新しいFOMAカードのPINコードを入力して、[OK] をタップする**

画面ロック

画面をロックしたり、FOMA端末の電源を入れたりスリープモードから復帰したりするたびに画面のロック解除パターンを使用することによって、データを保護できます。

- キーロック（P.49）を使用するとロック解除パターンの設定を行わずにFOMA端末の誤動作防止と省電力を行えます。

画面のロック解除パターンを作成する

1 **ホーム画面で [メニューキー] を押し、[設定] をタップする**

2 **[現在地情報とセキュリティ] ▶ [ロック解除パターン設定] をタップする**

3 画面の指示に従ってロック解除パターンを作成する

4 パターンを忘れた場合の秘密の質問および答えを設定する

画面のロック解除パターンを変更する

1 ホーム画面で［田］を押し、［設定］をタップする

2 ［現在地情報とセキュリティ］▶［パターンの変更］をタップする

- ロック解除パターンの入力を5回続けて失敗した場合は、30秒待ってから再試行してください。

3 画面の指示に従ってロック解除パターンを変更する

4 パターンを忘れた場合の秘密の質問および答えを設定する

画面をロックする

1 ⓞを押す

画面のロックを解除する

1 ［□］またはⓞを押して、FOMA端末をアクティブにする

2 キーロックを解除して、画面のロック解除パターンを入力する

❖**お知らせ**

- 画面ロックを解除しなくても、キーロック解除後の画面ロックの解除画面で緊急通報を行うことができます。→P.60

ロック解除パターンを忘れた場合

画面ロック解除パターンを5回続けて間違えると、「パターンが正しくありません」と表示され、［やり直す］をタップして再試行するか、［次へ］をタップして、画面ロック解除パターン作成時に設定した「秘密の質問」へ答えて画面ロックを解除できます。
「やり直す」を選択した場合、画面ロック解除パターンの入力画面に戻ります。右下の［パターンを忘れた場合］をタップすると、「秘密の質問」へ答えるか、Googleアカウントとパスワードを入力して解除することもできます。

❖**お知らせ**

- Googleアカウントは複数のアカウントを設定できますので、Googleアカウントとパスワードを入力して画面ロックを解除するには、そのいずれかのアカウントを入力して解除できます。

画面ロックがかからないようにする

一度設定した画面ロックをかからない設定に戻します。

1 ホーム画面で、［田］を押し、［設定］をタップする

2 ［現在地情報とセキュリティ］▶［パターン入力が必要］をタップする

3 現在のパターンを入力する

機内モード

電話、インターネット接続（メールの送受信含む）など、電波を発する機能をすべて無効にします。電話やメールの着信などを気にしないでFOMA端末を操作したいときに便利です。

機内モードをオンにする

1 ホーム画面で[MENU]を押し、[設定]をタップする

2 [無線とネットワーク]をタップする

3 [機内モード]にチェックを入れる

- [機内モード]のチェックを外すと、機内モードはオフになります。

❖**お知らせ**

- [電源]を1秒以上押して、携帯電話オプションメニューで[機内モード]をタップしてもON／OFFを切り替えることができます。
- 機内モードがONの場合でもWi-FiをONにすることができます。航空機内や病院など電波の使用を禁止された区域ではWi-Fiを使用しないよう注意してください。

FOMA端末をリセットする

FOMA端末をリセットすると、ダウンロードしたアプリケーションを含むすべてのデータ、およびGoogleアカウントが削除され、FOMA端末は初期状態(お買い上げ時の状態)に戻ります。必ずFOMA端末の重要なデータをバックアップしてから、FOMA端末をリセットしてください。
初期設定については、「セットアップガイド」(P.48)をご参照ください。

1 ホーム画面で[MENU]を押し、[設定]をタップする

2 [プライバシー]▶[データの初期化]▶[携帯電話をリセット]をタップする

- 必要に応じて画面のロック解除パターンを入力する

3 [すべて消去]をタップする

[すべて消去]をタップするとFOMA端末は自動的に再起動します。

❖**注意**

- FOMA端末の再起動またはリセット中は、そのままお待ちください。再起動またはリセット中に電池パックを取り外すと、FOMA端末が故障するおそれがあります。

メッセージの送受信

メッセージ（SMS）

他の端末へ全角最大70文字(半角英数字のみの場合は160文字) まで、テキストメッセージを送受信できます。

メッセージ（SMS）を送信する

1 ホーム画面で、▦をタップし、[メッセージ] をタップする

2 「新しいメッセージ」をタップする

3 [宛先を追加] をタップし、相手の電話番号を入力する

- 前方一致する連絡先が表示されます。

4 [メッセージを作成] 欄をタップして、メール本文を入力する

- 入力した文字数が制限文字数に近づくと、テキストボックスの左上にカウンタが表示され、あと何文字入力できるかがわかります。

5 [送信] をタップする

❖お知らせ

- テキストの入力については、「文字入力」(P.203)をご参照ください。
- 送信レポートを受け取って、いつメッセージ(SMS)が受信されたかを知るには、メッセージ一覧で[MENU]を押して［設定］をタップし、[配信確認レポート]のチェックボックスにチェックを入れます。
- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。利用可能な国・海外通信事業者については『ご利用ガイドブック（国際サービス編)』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合、「+」※、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます（受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力してください)。
  ※「+」は、宛先入力画面で☻／☻をタップして「半角記号」の一覧を表示して入力します。

メッセージ（SMS）を受信して読む

1 ホーム画面で、▦をタップし、[メッセージ] をタップする

2 読みたい相手先のリストから受信メッセージを選択する

❖お知らせ

- メッセージ（SMS）を受信すると、✉がステータスバーに表示されます。メールを読むには、ステータスバーを下にドラッグします。

メッセージを削除する

1 ホーム画面で、▦をタップし、[メッセージ] をタップする

2 削除するメッセージを選択する

3 **[囲]を押し、[メッセージを削除]をタップする**

- 手順2で削除するメッセージを長くタッチして、[メッセージを削除]をタップしても削除できます。

メッセージの電話番号を電話帳に保存する

1 **ホーム画面で、▦をタップし、[メッセージ]をタップする**

2 **保存するメッセージを選択する**

3 **[囲]を押し、[宛先を編集]をタップする**

4 **電話番号を追加する連絡先をタップする**

5 **発信画面で、[アイコン]をタップし、[連絡先を新規登録]をタップする**

6 **[本体連絡先]／[(Googleアカウント)]をタップする**

- Googleアカウントを設定していない場合は、手順6は表示されず、登録が完了します。

メッセージ（SMS）を設定する

1 **ホーム画面で、▦をタップし、[メッセージ]をタップする**

2 **[囲]を押し、[設定]をタップする**

- 次の設定ができます。

配信確認レポート	チェックを入れると、送信するメッセージの受取確認を毎回要求できます。
通知	チェックを入れると、ステータスバーでメッセージの受信を通知します。
通知音	通知設定を行っている場合、受信時に選択した着信音で通知します。
通知バイブレーション	通知設定を行っている場合に、チェックを入れると、受信時に振動でもお知らせします。
SIMメッセージ	FOMAカードに保存したメッセージを管理します。
プッシュ設定	プロバイダからメッセージの設定を送信します。

すべてのメッセージを削除する

1 **ホーム画面で、▦をタップし、[メッセージ]をタップする**

2 **[囲]を押し、[複数を削除]をタップする**

3 **[すべてマーク]▶[削除]をタップする**

- [すべてマーク]をタップした後、個別のメッセージをタップしてチェックを外すことができます。[すべてマーク解除]をタップすると、すべてのメッセージのチェックを外すことができます。

Eメール

- mopera Uメールや一般のプロバイダが提供するEメールアカウントを設定して、Eメールを利用することができます。

Eメールを設定する

Eメールセットアップウィザードで設定をしたアカウントのEメールは、Timescapeでも表示することができます。

お買い上げ時のEメールの初期設定

1 **ホーム画面で、▦をタップし、[Eメール]をタップする**

2 **Eメールアドレスとパスワードを入力する**

3 **[次へ]をタップする**

4 **メールアカウントの登録画面で「アカウントの名前」と「あなたの名前」を入力する**

- Eメール設定を完了できない場合は、[手動セットアップ]をタップし、アカウント設定を手動で入力してください。

5 **[完了]をタップする**

❖**お知らせ**

- 設定を手動で入力する必要がある場合は、Eメールサービスプロバイダに正しいEメールアカウント設定を問い合わせてください。

Eメールを送受信する

Eメールを作成して送信する

1 **ホーム画面で、▦をタップし、[Eメール]をタップする**

2 **[⊞]を押し、[作成]をタップする**

3 **相手のEメールアドレスを入力する**

- Cc または Bcc を追加するには、[⊞]を押して、[Cc／Bccを追加]をタップします。
- アルファベットまたは名前を入力すると、電話帳に登録されている連絡先に前方一致するメールアドレスの候補を表示します。
- 複数の宛先にEメールを送信する場合は、カンマで区切って次のEメールアドレスを入力してください。
- 受信したメールの送信者名は、送信側で設定している名前が表示されます。

4 **件名を入力する**

5 **メール本文を入力する**

6 ファイルを添付する場合は、[メニュー]を押して、[添付ファイルを追加]をタップし、次の操作でファイルを添付する

画像	保存した画像ファイルの一覧から選択します。
写真撮影	カメラを起動して撮影したフォトを添付します。
ムービー	保存したムービーファイルの一覧から選択します。
ムービー撮影	カメラを起動して録画したムービーを添付します。
オーディオ	**音楽トラックを選択**：保存された音楽トラックを選択します。 **音声レコーダー**：音声メッセージを録音して添付します。

- この操作方法で添付可能なファイル種別は最大5MBの画像／ムービー／オーディオとなります。

7 ［送信］をタップする

❖**お知らせ**

- 本体内部メモリの残量が少なくなるとメモリが少ない旨が表示され、メールの送信ができなくなります。保存しているメールを削除するなどして本体メモリの容量を空けてください。
- ［下書き保存］をタップすると、メッセージを下書きとして保存します。また、メール作成中に他の画面に遷移すると、自動的に下書き保存します。
- Eメールの送受信には、画面に表示される文字や画像以外に通信が必要なデータが含まれており、その部分も課金の対象となります。
- Eメールは、パソコンからのメールとして扱われます。受信する端末で「PCからの受信拒否」の設定を行っていると、メールを送受信できません。
- 送信トレイにある送信に失敗したメールの添付ファイルを削除すると、添付したmicroSDカード内の元ファイル自体も削除される場合があります。

Eメールを受信して読む

1 ホーム画面で、[アプリ]をタップし、［Eメール］をタップする

- 複数のEメールアカウントを持っている場合は、受信するEメールのアカウントを選択します。

2 受信ボックスを更新するには、[メニュー]を押して［更新］をタップする

3 メールをタップする

❖**お知らせ**

- Eメールアカウントの設定で「メール着信通知」を設定していた場合、新しいメールの受信をお知らせする[アイコン]がステータスバーに表示されるようになります。ステータスバーを下にドラッグして受信したEメールを確認できます。
- Eメールチェック頻度を「自動確認しない」以外に設定すると、従量制データ通信を利用の場合は、新着メールを確認するたびに料金がかかる場合があります。
- 受信したEメールのアドレスをタップすると、電話帳に登録したり、すでに登録した連絡先の場合は連絡先の内容を表示したりすることができます。
- 本体内部メモリの残量が少なくなるとメモリが少ない旨が表示され、メールの受信ができなくなります。保存しているメールを削除するなどして本体メモリの容量を空けてください。

Eメールメッセージの添付ファイルを保存する

1 ホーム画面で、▦をタップし、[Eメール]をタップする

- 複数のEメールアカウントを持っている場合は、受信するEメールのアカウントを選択します。

2 メールをタップする

- メール文面下部に添付ファイルのリストが表示されます。

3 保存したいファイルの[保存]をタップする

- 添付ファイル（最大5MB）が、microSDカードに保存されます。
- [開く]をタップして添付ファイルを表示させることもできます。

Eメールを返信する

1 ホーム画面で、▦をタップし、[Eメール]をタップする

- 複数のEメールアカウントを持っている場合は、受信するEメールのアカウントを選択します。

2 メールをタップする

3 [返信]または[全員に返信]をタップする

4 テキストを入力し、[送信]をタップする

Eメールを転送する

1 ホーム画面で、▦をタップし、[Eメール]をタップする

- 複数のEメールアカウントを持っている場合は、受信するEメールのアカウントを選択します。

2 メールを長くタッチして、[転送]をタップする

- 引用したテキストと添付ファイルを含むメールが表示されます。引用したテキストまたは添付ファイルを削除するには、☒をタップします。

3 相手のEメールアドレスを入力する

4 テキストを入力し、[送信]をタップする

Eメールを削除する

1 ホーム画面で、▦をタップし、[Eメール]をタップする

- 複数のEメールアカウントを持っている場合は、受信するEメールのアカウントを選択してください。

2 メールを長くタッチして、[削除]をタップする

❖お知らせ

- 送信中のメールは削除できません。

Eメールアカウント

Eメールアカウントの設定を変更する

1 **ホーム画面で、▦をタップし、[Eメール]をタップする**

2 **[⊞]を押し、[アカウント]をタップする**

3 **設定を変更したいアカウントを長くタッチして、[アカウントの設定]をタップする**

4 **変更したい設定項目を選択して変更する**

- 「アカウント名」、「名前」を設定できます。
- 新着メールの自動確認の有無や自動確認の間隔を設定するには「Eメールチェック頻度」をタップします。
- このアカウントを通常のEメールとして使用する場合は、[優先アカウントにする]のチェックボックスにチェックを入れます。
- 新着Eメールの通知をステータスバーに表示したい場合は、[メール着信通知]のチェックボックスにチェックを入れます。
- その他、「着信音を選択」「バイブレーション」をタップして着信時の動作を設定できます。また「受信設定」「送信設定」をタップして、サーバーの設定を変更できます。

❖お知らせ

- Eメールチェック頻度を「自動確認しない」以外に設定すると、従量制データ通信をご利用の場合は、新着メールを確認するたびに料金がかかる場合があります。

別のEメールアカウントを設定する

1 **ホーム画面で、▦をタップし、[Eメール]をタップする**

2 **[⊞]を押し、[アカウント]をタップする**

3 **[⊞]を押し、[アカウントを追加]をタップする**

4 **Eメールアドレスとパスワードを入力する**

- 必要に応じて、「いつもこのアカウントでメールを送信」のチェックボックスにチェックを入れます。
- Eメール設定が完了できない場合は、[手動セットアップ]をタップし、設定を完了します。

5 **送信メールに表示されるアカウントの名前を入力して、[完了]をタップする**

Eメールアカウントを削除する

1 **ホーム画面で、▦をタップし、[Eメール]をタップする**

2 **[▦]を押し、[アカウント]をタップする**

3 **削除するアカウントを長くタッチして、[アカウントを削除]▶[OK]をタップする**

mopera Uメールを利用する

mopera Uをご利用いただいているお客様（設定方法は「mopera Uを設定する」(P.57)をご参照ください）は、mopera Uメールのご利用が可能です。
mopera UメールはPOPメール、IMAPメール両方の利用が可能です。メールBOXは50Mバイト利用可能です。ウェブメールでも利用が可能です。

■ POPメールの場合

1 **ホーム画面で、▦をタップし、[Eメール]をタップする**

2 **[次へ]をタップする**
- すでにEメールアカウントを設定している場合は、受信トレイが表示されますので、[▦]を押して[アカウント]をタップしてアカウント一覧を表示し、[▦]を押して[アカウントを追加]をタップします。

3 **mopera Uメールアドレスとmopera Uのパスワードを入力し、[手動セットアップ]をタップする**

4 **メールアカウントのタイプから[POP3]をタップする**

5 **mopera Uの[ユーザー名][パスワード]を正しく入力し、POP3サーバーには[mail.mopera.net]を入力して、入力内容を確認する**

6 **セキュリティの種類を選択する**
- しない場合は手順8へ進みます。

7 **セキュリティの選択画面で、使用するセキュリティのラジオボタンにチェックを入れる**

8 **入力内容を確認して、[次へ]をタップする**

9 **SMTPサーバーには[mail.mopera.net]を入力し、mopera Uの[ユーザー名][パスワード]の入力内容を確認する**

10 **[次へ]をタップする**

11 **オプションの設定画面で、Eメールチェックの頻度などを設定し、[次へ]をタップする**

12 メールアカウントの登録画面で、送信メールに表示される名前を入力し［完了］をタップする

- メーラーが表示され、設定したメールが利用可能になります。

Gmailを利用する

Googleアカウントをお持ちの場合は、FOMA端末でGmailを使用してEメールの送受信を利用できます。Googleアカウントをお持ちでない場合は、「FOMA端末にGoogleアカウントを設定する」（P.50）をご参照ください。

❖注意

- Gmailは、Timescapeには表示されません。

Gmailを更新する

1 ホーム画面で、▦をタップし、［Gmail］をタップする

2 受信トレイで［⊞］を押し、［更新］をタップする

- FOMA端末のGmailアプリケーションとGmailアカウントを同期させ、受信トレイを更新します。

GmailでEメールの作成と送信

Eメールを作成して送信する

1 ホーム画面で、▦をタップし、［Gmail］をタップする

- お買い上げ時、Gmailで表示される画面は受信通信リスト(以下、受信トレイ)です。受信したEメールはすべて受信トレイに配信されます。

2 受信トレイで［⊞］を押し、［新規作成］をタップする

3 ［To］欄に宛先のEメールアドレスを入力する

- アルファベットまたは名前を入力すると、電話帳に登録されている連絡先に前方一致するメールアドレスの候補を表示します。

❖お知らせ

- 連絡先から宛先を設定する場合は、ホーム画面で［電話帳］をタップして連絡先の宛先を選択してから、メールを作成してください。
- 複数の宛先にEメールを送信する場合は、カンマで区切って入力してください。
- CCまたはBCCでEメールを送信したい場合、［⊞］を押して［Cc/Bccを追加］をタップします。
- メモリ容量に空きがある限り、送信する宛先の数に制限はありません。

4 Eメールのタイトルを入力し、メール本文を入力する

- Eメールに画像を添付したい場合、[メニュー]を押し［添付］をタップして、添付したい画像をタップします。

5 Eメールの作成が終了したら、［送信］をタップする

❖お知らせ

- メッセージの作成中に［下書き保存］をタップすると、下書きとして保存できます。下書きとして保存したEメールを確認するときは、受信トレイで[メニュー]を押して［ラベル一覧］▶［下書き］をタップします。
- Gmailは、パソコンからのメールとして扱われます。受信する端末側で「PCからの受信拒否」の設定を行っていると、メールを送信できません。
- 送信するEメールに署名を追加することができます。受信トレイで[メニュー]を押し、［設定］▶［署名］をタップして、テキストボックスに署名を入力し、［OK］をタップします。

Eメールの受信と表示

通知設定によって、新着Eメールを受信したときに着信音を鳴らしたり、バイブレータで通知を受けたりすることができます。

❖お知らせ

- 通知設定の詳細については、「新着Eメール通知の設定」（P.90）をご参照ください。

Eメールを表示する

Eメールの内容を確認するには次のいずれかを実行します。

- ステータスバーを下へドラッグして通知パネルを開きます。新着Eメールをタップして受信トレイを表示します。
- 受信トレイで未読Eメールをタップするか、未読Eメールの通信リストをタップして内容を表示します。

❖お知らせ

- Eメールの内容を表示しているときに、メールアドレスの左の○をタップすると、電話帳に登録したり、すでに登録した連絡先の場合は連絡先の内容を表示したりすることができます。
- Eメールの送信者がGoogle トークメンバーの場合、そのメンバーのステータス（オンライン、取り込み中など）が色付きのアイコンで名前の左に表示されます。詳細については、「Google トーク（チャット）」（P.92）をご参照ください。
- 受信したメッセージの添付ファイルは、画像のみダウンロードしてmicroSDカードへ保存できます。ただし、「.bmp」ファイルは保存できません。microSDカードを取り付けていない場合、保存はできません。
- 受信したメールの送信者名は、送信側で設定している名前が表示されます。

Eメールを検索する

特定のEメールを、送信者、タイトル、ラベル、詳細検索で検索することができます。詳細検索のオプションは、Gmailのウェブサイトをご参照ください。

1 受信トレイで［MENU］を押し、［検索］をタップする

2 検索ボックスにキーワードを入力し、［確定］をタップするか、または画面上の［検索］アイコンをタップする

Eメールを返信／転送する

1 スレッドをスクロールしてメールの最後まで移動する

2 ［返信］／［全員に返信］／［転送］をタップする

- ［返信］または［全員に返信］を選択した場合は、返信メッセージを入力します。
- ［転送］を選択した場合は、転送したい転送先のアドレスを指定します。

3 ［送信］をタップする

通信リストとEメールの管理

通信リストの操作

受信トレイの通信リストを長くタッチすると、次の操作ができます。

- ［開く］をタップすると、メッセージを表示します。
- ［アーカイブ］をタップすると、Eメールメッセージをアーカイブとして保存し、受信トレイに表示されなくなります。アーカイブ済みのメッセージを表示するには、受信トレイで［MENU］を押して［ラベル一覧］▶［すべてのメール］をタップします。
- ［ミュート］をタップすると、通信リスト全体をミュートにします。ミュートにすると、表示されているメッセージが受信リストに表示されなくなります。あまり重要ではなく、以降の履歴も受信リストに表示の必要がないものは、ミュートにしておくと便利です。表示させるためには、［MENU］を押して、［ラベル一覧］▶［すべてのメール］をタップしてください。
- ［未読にする］／［既読にする］をタップすると、メールの状態を切り替えます。
- ［削除］にタッチすると、E メールメッセージを削除します。
- ［スターを付ける］または［スターをはずす］をタップすると、通信リストのスターを追加したり削除したりできます。
- ［ラベルを変更］をタップすると、通信リストのラベルを追加したり変更したりできます。ラベルにより、受信リストで現在そのEメールがどのフォルダに入っているかを確認できます。

- ［迷惑メールを報告］をタップすると、タップしたメールを受信トレイから削除して迷惑メールとして報告できます。タップした後に画面上部に確認メッセージが表示され、［取消］をタップすると、報告を取り消し、メールが受信トレイに戻ります。

❖**お知らせ**

- Eメールの内容を表示している画面下部に表示される「アーカイブ」「ラベル」「削除」をタップしても、同様に操作できます。
- まとめてアーカイブなどの処理をあまり行わない場合（画面左にチェックマークを付けていない複数の通信がある場合）、［田］を押し、［設定］にタッチして［バッチ操作］のチェックを入れないようにすることで通信リストのチェックマークを非表示にできます。
- 本FOMA端末でラベルを作成することはできません。Gmailウェブサイトで作成してください。
- 受信トレイの通信リストを長くタッチして［迷惑メールを報告］にタッチすると、通信をスパムとして報告します。

新着Eメール通知の設定

1 **通信リストで［田］を押し、［設定］をタップする**

2 **次のいずれかを実行する**

- ［メール着信通知］を選択すると、新着メッセージを受信したときにステータスバーに通知されます。
- 着信音で通知を受けたい場合は、［着信音を選択］をタップします。着信音メニューでは新着メッセージのみに着信音を設定します。着信音を選択するとサンプルが短く再生されます。新着メッセージ受信時に着信音を鳴らしたくない場合は、［サイレント］をタップします。着信音の選択を確定するには［OK］をタップします。
- 新着メッセージ受信時にバイブレータで通知を受けたい場合は、［バイブレーション］にチェックを入れます。

オンラインサービスアカウントの設定

GoogleアカウントやFacebookなどのオンラインサービスでアカウントの登録・ログインを行うと、オンラインサービス上の友人などが公開しているプロフィール情報を電話帳に同期（登録・更新）させることができます。

❖**お知らせ**

- Facebook アカウントをまだお持ちでない場合は、http://www.facebook.com のウェブサイトでアカウントを新規作成することができます。

オンラインサービスのアカウントを設定する

1 **ホーム画面で、[田]を押し、[設定]をタップする**

2 **[アカウントと同期]▶[アカウントを追加]をタップし、オンラインサービスを選択する**

3 **画面の指示に従ってログイン情報などを入力して設定を行う**

❖お知らせ

- Facebookの更新情報を電話帳に表示するためには、「設定メニュー」の[アカウントと同期]から「Facebook」アプリにアカウントを登録・ログインしてください。
- Facebook、Twitter、mixiの更新情報をTimescapeに表示するためには、Timescapeからの登録・ログインが必要です。→P.110
- Timescapeに登録したFacebook、Twitterの更新情報は、電話帳にも表示することができます。

オンラインサービスのアカウントを削除する

1 **ホーム画面で、[田]を押し、[設定]をタップする**

2 **[アカウントと同期]をタップし、オンラインサービスを選択する**

3 **[アカウントを削除]をタップする**

❖お知らせ

- Googleアカウントの削除については、「FOMA端末をリセットする」(P.78)をご参照ください。

オンラインサービス上の情報を同期する

Googleアカウントやfacebookなどのオンラインサービスでアカウントの登録・ログインを行うと、オンラインサービス上の友人などが公開しているプロフィール情報を電話帳に同期(登録・更新)させることができます。

1 **ホーム画面で、[田]を押し、[設定]をタップする**

2 **[アカウントと同期]をタップする**

3 **[バックグラウンドデータ]と[自動同期]にチェックを入れ、同期するサービスをタップする**

4 **[連絡先を同期]にチェックを入れる**

- [田]を押して、[今すぐ同期]をタップしても同期できます。

❖お知らせ

- 「バックグラウンドデータ」と「自動同期」にチェックを入れて、各サービスの「連絡先を同期」にチェックを入れたままにすると、定期的に自動で同期します。「自動同期」または「連絡先を同期」のチェックを外しておくと、手動により同期させることができます。

Google トーク（チャット）

Google トークを使用してチャットをすることができます。Google トークを使用するには、Googleアカウントを設定する必要があります。詳細については、「FOMA端末にGoogleアカウントを設定する」（P.50）をご参照ください。

サインインとオンラインチャット

Google トークにサインインする

すでにGoogleアカウントを設定している場合は、サインインなしでご利用になれます。

1 ホーム画面で、▦をタップし、［トーク］をタップする

2 ［次へ］▶［ログイン］をタップし、ユーザー名とパスワードを入力して↵をタップする

3 ［ログイン］をタップする

新しいメンバーを追加する

Googleアカウントを持っているメンバーを追加できます。

1 友だちリストで［⊞］を押し、［友だちを追加］をタップする

2 追加したいメンバーのGoogle トーク インスタントメッセージIDまたはGoogleアカウントを入力する

- インスタントメッセージIDを持ち、かつ連絡先に登録済みのメンバーを追加すると、一致した連絡先が画面に表示されます。

3 ［招待状を送信］をタップする

招待状を表示して承認する

1 友だちリストで［⊞］を押し、［招待］をタップする

- 送信済みのすべてのチャット招待状が、返信待ちの招待状画面にリスト表示されます。

2 返信待ちの招待状をタップして、［承諾］／［キャンセル］／［ブロック］をタップする

❖**お知らせ**

- 招待状を受信した相手が承認すると、返信待ちの招待状リストから該当する招待状が削除されます。

ステータスとステータスメッセージを変更する

1 名前の右端にあるステータスアイコンをタップし、メニューが開いたら設定したいステータスをタップする

2 **ステータスアイコンの左にあるテキストボックスをタップして、ステータスメッセージを入力する**

3 **ソフトウェアキーボードにある[確定]をタップする**

❖**お知らせ**

- FOMA端末またはウェブ上のGoogle トークで設定しているステータスは、Gmail、Googleマップ、チャット、メールなど、他のアプリケーションのメンバーに表示されます。
- チャット中にしばらく操作を行わないとステータスアイコンが時計マークの表示となる場合があります。チャットする双方で操作を開始すると時計マークは表示されなくなります。

チャットを開始する

1 **友だちリストの名前をタップする**

2 **メッセージを入力する**

- 絵文字を入力する場合、[MENU]を押し、[その他]▶[絵文字を挿入]をタップします。入力したい絵文字をタッチしてメッセージに挿入します。

3 **[送信]をタップする**

チャット中の会話を切り替える

複数のチャットを実行中のとき、会話を切り替えることができます。

1 **チャット画面か友だちリストで[MENU]を押し、[チャット相手の切替]をタップする**

2 **パネルが開いたらチャットしたいメンバーをタップする**

チャットを終了する

1 **友だちリストでチャット中のメンバーを長くタッチして、[チャット終了]をタップする**

- チャット画面で[MENU]を押し、[チャット終了]をタップします。

メンバーの管理

初期設定では、Googleアカウントを持つ友だちの中でも、メールやチャットの履歴が多いメンバーが優先的に友だちリストに表示されます。登録しているすべてのメンバーを表示させたい場合は、[MENU]を押して[全連絡先表示]をタップします。

❖**お知らせ**

- チャット履歴が多いメンバーのみの表示に戻したい場合は、[MENU]を押して[よく使う連絡先]をタップします。

メンバーをブロックする

メンバーをブロックして、ブロックしたメンバーから送信されるメッセージをブロックできます。ブロックすると友だちリストからも削除されます。

次ページへつづく

1 友だちリストでブロックしたいメンバーを指定する

- すべてのメンバーを表示するには を押し、［全連絡先表示］をタップします。

2 メンバーの名前に長くタッチして、［ユーザーをブロック］をタップする

- ブロックされたメンバーは友だちリストから削除され、ブロックした友だちリストに追加されます。

❖お知らせ

- ブロックを解除するには、友だちリストで を押し、［ブロック中］をタップします。ブロックした友だちリストで、ブロックを解除したいメンバーの名前をタップして［OK］をタップします。

メンバーをよく使う連絡先に追加する

1 友だちリストでメンバーの名前を長くタッチする

2 ［友だちを常に表示］をタップする

❖お知らせ

- よく使う連絡先から外すには、友だちリストで外したいメンバーの名前を長くタッチして、オプションメニューで［友だちを自動表示］をタップします。

メンバーの情報を表示する

1 友だちリストでメンバーの名前を長くタッチする

- すべてのメンバーを表示するには を押し、［全連絡先表示］をタップします。

2 ［連絡先を表示］をタップする

モバイルインジケーター

Google トークのチャットでメンバーが使用している端末の種別が確認できます。友だちリストでメンバーの名前の右側に表示される画像を確認します。
画像が表示されない場合、最終サインインがパソコン上で行われたことを示します。モバイルインジケーターをメンバーの端末に表示することもできます。

1 友だちリストで を押し、［その他］▶［設定］にタッチする

2 ［モバイルインジケーター］チェックボックスにチェックを入れる

3 を押す

- お客様の名前とともにモバイルインジケーターが他の人の友だちリストに表示され、お客様がAndroidを搭載した端末を使用していることを伝えます。

インスタントメッセージの設定

新着インスタントメッセージの通知方法を設定する

新着インスタントメッセージを受信するたびに着信音を鳴らしたり、バイブレータ、ステータスバーに通知アイコンを表示させたりすることができます。

1 友だちリストで[メニュー]を押し、［その他］▶［設定］をタップする

2 ［チャットの通知］にチェックを入れる

- 新着メッセージを受信したときにステータスバーに通知アイコンが表示されます。
- ［着信音を選択］をタップして着信音を選択すると、新着メッセージを受信したときに着信音で通知を受けることができます。着信音を鳴らしたくない場合は、［サイレント］をチェックします。
- ［バイブレーション］チェックボックスにチェックを入れると、新着メッセージを受信したときにバイブレータで通知を受けることができます。

自動でログインする

電源を入れたときにGoogle トークアカウントに自動でログインすることができます。

1 友だちリストで[メニュー]を押し、［その他］▶［設定］をタップする

2 ［自動ログイン］チェックボックスにチェックを入れる

- チェックを外した場合は、アイコンをタップしアプリを起動するまでは、ログインしません。

3 [戻る]を押して設定を保存する

ログアウト

Google トークからログアウトしたい場合、友だちリストで[メニュー]を押して、［その他］▶［ログアウト］をタップします。

緊急速報「エリアメール」

緊急速報「エリアメール」とは、気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- エリアメールはお申し込みが不要の無料サービスです。
- 次の場合はエリアメールを受信できません。
  - 音声電話中
  - 圏外時
  - 電源OFF時
  - 国際ローミング中
  - 機内モード中
  - ソフトウェア更新中
  - メッセージ（SMS）送受信中

- パケット通信を利用している場合は、エリアメールを受信できないことがあります。
- 受信できなかったエリアメールを再度受信することはできません。

緊急速報「エリアメール」を受信する

FOMA端末が圏内にあるときは、自動的にエリアメールが送られてきます。

1 エリアメールを自動的に受信する

2 エリアメールを受信すると、専用の着信音が鳴り通知LEDが点滅する

- 専用の着信音は10秒間鳴動します。
- 着信音および着信音量は変更することはできません。

3 エリアメールの本文が自動で表示される

受信したエリアメールを後で閲覧する

1 ホーム画面で▦をタップし、[エリアメール]をタップする

2 エリアメール一覧から、任意のエリアメールを選択する

- エリアメールの本文を閲覧することができます。

緊急速報「エリアメール」を設定する

1 ホーム画面で▦をタップし、[エリアメール]をタップする

2 [田]を押し、[設定]をタップする

エリアメール受信設定	エリアメールを受信するかどうかを設定します。
受信登録設定	緊急情報以外のエリアメールを受信するには、受信したい情報のエリアメール名とMessage IDを登録します。20件まで登録できます。
マナーモード中の鳴動	マナーモード中でも専用の着信音を鳴らすかどうかを設定します。
着信動作確認	緊急地震速報および災害･避難情報のエリアメール受信時の着信音を確認できます。

❖お知らせ

- ドコモUIMカードを挿入していないとエリアメールを設定することはできません。

ウェブブラウザ／Wi-Fi／VPN

ウェブブラウザ

Wi-Fi

VPN

ウェブブラウザを使用する

ウェブブラウザを開く

1 ホーム画面で、［ブラウザ］をタップする

ウェブページを移動する

1 ブラウザ画面で画面上部の検索ボックスをタップする

2 キーボードを使用してウェブページのアドレスまたは検索したい文字を入力する

- アドレスを1文字入力するごとに、一致するウェブページアドレスが画面に表示されます。アドレスをタップしてウェブページに直接移動するか、ウェブページアドレスの入力を続けます。
- 文字入力中に［確定］をタップすると、ページが移動しますのでご注意ください。

3 ［移動］をタップする

❖**お知らせ**

- FOMA端末を横向きにしても自動的に画面の向きが変わらないときは、ホーム画面で［メニュー］を押して、［設定］▶［サウンド&画面設定］で［画面の向き］のチェックボックスにチェックを入れます。

前のページに戻る

1 ［戻る］を押す

ウェブブラウザを終了する

1 開いているウィンドウをすべて閉じてウェブブラウザを終了するには、［ホーム］を押す

ウェブページを表示する

ウェブブラウザは、パソコンと同じようにウェブページを閲覧できる機能を提供します。

新しいブラウザウィンドウを開くには

最大で8つのブラウザウィンドウを開くことができます。複数のウィンドウを開くと、ウェブサイト間の切り替えが簡単になります。

1 新しいウィンドウを開くには、ウェブページの閲覧中に［メニュー］を押し、［新しいウィンドウ］をタップする

- 新しいブラウザウィンドウが開いて設定されているホームページを表示します。

ブラウザウィンドウ間を切り替える

1 ブラウザ画面から［MENU］を押し、［ウィンドウ］をタップする

2 表示したいブラウザウィンドウをタップする

- 新しいウェブページを開くには、[新しいウィンドウ]をタップします。

ブラウザウィンドウを閉じる

1 ブラウザ画面から［MENU］を押し、［ウィンドウ］をタップする

2 閉じるブラウザウィンドウで ✕ をタップする

ウェブページで拡大縮小するには

画面上の拡大／縮小したい場所をダブルタップします。また、画面上で好きな方向に指をドラッグし、ウェブページでズームコントロールをアクティブにします。

縮小	
拡大	
スケールとスクロールのアクティブ化	

❖お知らせ

- 画面をダブルタップして拡大／縮小することができます。
- 画面にフィットするように作られたウェブページは拡大縮小できません。

ウェブページでテキストを検索する

1 ウェブページ表示中に［MENU］を押し、［その他］▶［ページ内検索］をタップする

- 画面中央に検索バーが表示されます。

2 検索項目を入力する

- 文字を入力すると、一致する文字が緑色でハイライト表示されます。

前の一致項目に戻る	
次の一致項目に進む	

3 検索バーを閉じるには、✕ をタップする

ウェブページでテキストをコピーする

1 コピーするテキストがあるウェブページを開く

2 コピーするテキストを検索する

3 ウェブページ表示中に［MENU］を押し、［その他］▶［テキストを選択してコピー］をタップする

4 コピーするテキストの開始点に指を置き、コピーするテキストの終了点までドラッグする

- コピーされたテキストはピンクでハイライト表示されます。

5 画面から指を離す

次ページへつづく

6 テキストをEメールやメッセージに貼り付けるには、メッセージまたはEメールのテキストボックスを長くタッチして、オプションメニューの［貼り付け］をタップする

❖お知らせ
- 文字を選択できないウェブページもあります。

ページの自動調整

画面に合わせてウェブページの表示やサイズを自動調整します。

1 ブラウザ画面から［MENU］を押し、［その他］▶［設定］▶［ページの自動調整］にチェックを入れる

❖お知らせ
- ウェブページによっては自動調整が行われない場合があります。

ウェブブラウザの設定を調整する

1 ブラウザ画面から［MENU］を押し、［その他］▶［設定］をタップしてウェブブラウザの設定とオプションを設定する

ホームページを設定するには

1 ブラウザ画面から［MENU］を押し、［その他］▶［設定］をタップする

2 ［ホームページ設定］をタップし、ホームページに設定したいURLを入力して、［OK］をタップする

❖お知らせ
- 設定されたURLは、新しいブラウザウィンドウを開く際に表示されます。

リンクを操作する

ウェブページのリンクを操作する

1 リンクを操作するウェブページを開く

2 ウェブページを開くには、リンクをタップする
- 選択すると、リンクはオレンジのボックスで囲まれます。
- リンクを長くタッチすると［開く］［新しいウィンドウで開く］［リンクをブックマーク］［リンクを保存］［リンクを共有］［URLをコピー］のオプションメニューが表示されます。［リンクを共有］はEメール、Bluetooth機能、Gmailなどでリンクを共有します。
- ウェブブラウザでは一部の電話番号が認識されるため、電話番号に発信できます。電話番号への発信を行うには、電話番号をタップします。
- Basic認証またはSSL通信を必要とするWebサイトから［リンクを保存］でファイルをダウンロードする際、ダウンロードできない場合があります。

ブックマークと履歴を管理する

本FOMA端末では、履歴の確認や多数のブックマークの保存を行えます。

ウェブページをブックマークする

1 ブラウザ画面からブックマークするウェブページまで移動する

2 ⊞ を押し、［ブックマーク］をタップする
- ブックマーク画面が開きます。
- ブックマーク画面では、⊞ を押してサムネイル表示とリスト表示を切り替えることができます。
- ブックマーク画面がサムネイル表示の場合は、⊞ を押して［最後に表示したページをブックマークする］をタップすると、ブックマークに追加できます。
- ブックマーク画面がリスト表示の場合は、操作3へ進みます。

3 ［現在のページをブックマーク］をタップする

4 必要に応じて、ブックマークの名前を編集し、［OK］をタップする

❖お知らせ
- ブックマーク画面の［よく使用］タブ／［履歴］タブをタップし、各履歴の右端の ★ をタップすると、☆ に変わりブックマークに追加できます。

ブックマークを開く

1 ブラウザ画面から ⊞ を押し、［ブックマーク］をタップする

2 開くブックマークをタップする
- ブックマークを長くタッチすると［開く］［新しいウィンドウで開く］［編集］［ショートカットを作成］［リンクを共有］［URLをコピー］［削除］［ホームページとして設定］のオプションメニューが表示されます。［ショートカットを作成］はホーム画面にショートカットを作成します。［リンクを共有］はEメールでリンクを共有します。

ブックマークを編集する

1 ブラウザ画面から ⊞ を押し、［ブックマーク］をタップする

2 編集するブックマークを長くタッチする

3 ［編集］をタップする
- ブックマークの編集ダイアログボックスが表示されます。

4 変更を入力し、［OK］をタップする

履歴を確認する

1 履歴を確認するには、ブラウザ画面から［⊞］を押し、［ブックマーク］▶［履歴］タブをタップする

2 ［今日］、［昨日］など閲覧した時期をタップする

- ページを開くには、項目をタップします。
- よく閲覧するウェブページを確認するには、［よく使用］タブをタップします。

履歴を消去する

1 ブラウザ画面から［⊞］を押し、［ブックマーク］▶［履歴］タブをタップする

2 ［⊞］を押し、［履歴消去］をタップする

- 履歴を消去する際、「よく使用」のデータもすべて消去されます。

Wi-Fiについて

Wi-Fiを使用すると、FOMA端末で無線LANネットワークを通じてインターネットにアクセスできます。

- 無線LANネットワークが切断された場合には、自動的にGPRS/3Gネットワークでの接続に切り替わります。

Wi-Fiを使用する前に

Wi-Fiを使用するには、Wi-Fiをオンにしてから利用可能なWi-Fiネットワークを検索して接続します。

- Wi-Fi を使用してインターネットへ接続する場合、事前にWi-Fiネットワークへの接続を行ってください。

❖お知らせ

- Wi-Fi を使用するときには十分な電波強度が得られるようご注意ください。Wi-Fiネットワークの電波強度は、お使いのFOMA端末の位置によって異なります。Wi-Fiルーターの近くに移動すれば、電波強度が改善されることがあります。

Wi-Fiをオンにする

1 ホーム画面で［⊞］を押し、［設定］をタップする

2 ［無線とネットワーク］をタップする

3 ［Wi-Fi］チェックボックスにチェックを入れる

- 利用可能なWi-Fiネットワークがスキャンされます。

❖お知らせ

- Wi-Fi 接続が有効になるまで、数秒かかる場合があります。

Wi-Fiネットワークに接続する

1 ホーム画面で[田]を押し、[設定]をタップする

2 [無線とネットワーク]▶[Wi-Fi設定]をタップする

- 利用可能なWi-Fiネットワークが[Wi-Fiネットワーク]の下に表示されます。利用可能なネットワークは、オープンネットワークまたはセキュリティで保護されたネットワークである場合があります。これは、Wi-Fiネットワーク名の横にある[アイコン]または[アイコン]によって示されます。

3 Wi-Fiネットワークをタップし、このネットワークに接続する

- セキュリティで保護された Wi-Fi ネットワークに接続しようとすると、接続する前にそのWi-Fiネットワークのセキュリティキーの入力が求められます。ネットワークに接続すると、[アイコン]がステータスバーに表示されます。

❖お知らせ

- 次回接続時は、本体にセキュリティキーが記録されています。

別のWi-Fiネットワークに接続する

1 ホーム画面で[田]を押し、[設定]をタップする

2 [無線とネットワーク]▶[Wi-Fi設定]をタップする

- 検出されたWi-Fiネットワークが[Wi-Fiネットワーク]の下に表示されます。

3 別のWi-Fiネットワークをタップし、このネットワークに接続する

Wi-Fiネットワークのステータス

Wi-Fiネットワークに接続している場合、または近くにWi-Fiネットワークが存在する場合、これらのWi-Fiネットワークのステータスを表示できます。また、Wi-Fiネットワークが検出されたら通知するように本体を設定することも可能です。

Wi-Fiネットワークの通知を有効にする

1 Wi-Fiがオンになっていることを確認する

2 ホーム画面で[田]を押し、[設定]をタップする

3 ［無線とネットワーク］▶［Wi-Fi設定］をタップする

4 ［ネットワークの通知］をタップする

Wi-Fiネットワークを手動でスキャンする

1 ホーム画面で［田］を押し、［設定］をタップする

2 ［無線とネットワーク］▶［Wi-Fi設定］をタップする

3 ［田］を押す

4 ［スキャン］をタップする

- Wi-Fiネットワークのスキャンが開始され、Wi-Fiネットワークが［Wi-Fiネットワーク］の下に表示されるようになります。

5 一覧にあるWi-Fiネットワークをタップし、ネットワークに接続する

Wi-Fiの詳細設定

Wi-Fiネットワークを手動で追加する前にWi-Fi設定をオンにしておく必要があります。

Wi-Fiネットワークを手動で追加する

1 ホーム画面で［田］を押し、［設定］をタップする

2 ［無線とネットワーク］▶［Wi-Fi設定］をタップする

3 ［Wi-Fiネットワークを追加］をタップする

4 追加するWi-Fiネットワークの［ネットワークSSID］名を入力する

5 ［セキュリティ］フィールドをタップし、追加するWi-Fiネットワークのセキュリティタイプのラジオボタンにチェックを入れる

6 必要に応じて、追加するWi-Fiネットワークのセキュリティ情報を入力する

- 802.1x　Enterpriseを設定する場合は、ネットワーク管理者から情報を得る必要があります。

7 ［保存］をタップする

ステータスバーでWi-Fiネットワーク情報を確認する

1 ホーム画面で［田］を押し、［設定］をタップする

2 ［無線とネットワーク］▶［Wi-Fi設定］をタップする

3 現在接続中のWi-Fiネットワークをタップする

- ネットワーク情報の詳細が表示されます。

Wi-Fiのスリープ設定

Wi-Fiのスリープ設定を追加することで、画面がオフになったときに本体のWi-Fi機能がオフになるように設定できます。また、Wi-Fi機能を常にオンにするか、あるいは充電時には常にオンにするように設定することも可能です。

❖お知らせ

- Wi-Fiネットワークが切断された場合は、自動的にGPRS/3Gネットワークでの接続に切り替わります。

Wi-Fiのスリープ設定を追加する

1. **ホーム画面で[MENU]を押し、[設定]をタップする**
2. **[無線とネットワーク]▶[Wi-Fi設定]をタップする**
3. **[MENU]を押す**
4. **[詳細設定]をタップする**
5. **[Wi-Fiのスリープ設定]をタップする**
6. **使用する[Wi-Fiのスリープ設定]を選択する**

静的IPアドレスを使用する

静的IPアドレスを使用してWi-Fiネットワークに接続するように本体を設定できます。

静的IPアドレスを設定する

1. **ホーム画面で[MENU]を押し、[設定]をタップする**
2. **[無線とネットワーク]▶[Wi-Fi設定]をタップする**
3. **[MENU]を押す**
4. **[詳細設定]をタップする**
5. **[静的IPを使用する]チェックボックスにチェックを入れる**
6. **オプションをタップし、Wi-Fiネットワークに必要な情報を入力する**
   - オプションは[IPアドレス][ゲートウェイ][ネットマスク][DNS 1][DNS 2]です。
7. **[MENU]を押す**
8. **[保存]をタップする**

VPN（仮想プライベートネットワーク）に接続する

仮想プライベートネットワーク（Virtual Private Networks:VPN）は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。

本FOMA端末からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。詳しくは、http://www.sonyericsson.co.jp/so-01b/faq.htmlをご参照ください。

- 本FOMA端末は以下の種類のVPNに対応しています。
  - PPTP VPN
  - L2TP VPN
  - L2TP/IPSec PSK VPN
  - L2TP/IPSec CRT VPN

VPNの操作

VPNを追加する

1 ホーム画面で［田］を押し、［設定］をタップする

2 ［無線とネットワーク］▶［VPN設定］をタップする

3 ［VPNの追加］をタップする

4 追加するVPNの種類をタップする

5 画面が表示されたら、ネットワーク管理者の指示に従い、VPN設定の各項目を設定する

6 ［田］を押し、［保存］をタップする

- VPN設定画面のリストに、新たなVPNが追加されます。

VPNに接続する

1 ホーム画面で［田］を押し、［設定］をタップする

2 ［無線とネットワーク］▶［VPN設定］をタップする

- VPN設定画面に、追加したVPNがリスト表示されます。

3 接続するVPNをタップする

4 ダイアログボックスが表示されたら、必要な認証情報を入力し、［接続］をタップする

- VPNに接続すると、接続中を示す通知がステータスバーに表示されます。切断すると、VPN設定画面に戻るための通知が表示され、再接続できます。詳細は、「ステータスバー」（P.36）をご参照ください。

VPNを切断する

1 通知パネルを開き、VPN接続中を示す通知をタップする

- 接続中のVPNをタップすると切断されます。

Timescape

Timescapeについて

Sony Ericsson Timescape（以降は、Timescapeと略します）は、すべての履歴を時系列で表示することで、多彩なコミュニケーションを実現します。電話、メッセージ（SMS）、Eメール、Facebook、Twitter、mixiの更新など、すべての履歴が画面上に時系列で表示されます。1つの履歴を表示する前に、個別の履歴をタイル形式にして時系列で並べたプレビューを表示できます。また、インフィニットボタン（∞）を使用すると、電話帳に登録した連絡先に関するすべてのコミュニケーション情報を表示できます。（P.113）

❖お知らせ

- Eメールやソーシャルネットワークサービス（SNS）を設定することでTimescapeの利点を最大限に活用できます。
- MoxierメールやGmail、その他のEメールアプリケーションに設定したEメールアカウントのEメールは、Timescapeには表示されませんのでご注意ください。
- Facebook アカウントをまだお持ちでない場合は、http://www.facebook.com のウェブサイトでアカウントを新規作成することができます。
- Twitterアカウントをまだお持ちでない場合は、http://www.twitter.com のウェブサイトでアカウントを新規作成することができます。
- mixiアカウントをまだお持ちでない場合は、パソコンからmixi（http://mixi.jp）をご参照ください。
- 設定したFacebook、Twitter、mixiなどの更新内容は、Timescapeから確認することができます。

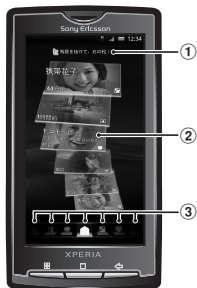
Timescapeを設定する

- Timescapeを初めて起動すると、セットアップウィザードにより必要な手順が表示されます。

1. **ホーム画面で、Timescapeウィジェットをタップする**
2. **タイルをタップする**
3. **必要に応じて、［サービスを設定］をタップし、Facebook／Twitter／mixiのアカウント情報を入力する**
4. **必要に応じて、［Eメールアカウントを設定］をタップし、Eメールアカウント情報を入力する**
5. **［完了］をタップする**

❖お知らせ

- セットアップウィザード完了後も、Timescapeの画面で[田]を押し、［設定］をタップして、いつでもTimescapeの設定を変更することができます。
- Facebook／Twitter／mixiの自動更新を設定すると、より速く情報の更新を確認できますが、電池の消耗が早くなります。自動更新の頻度を長くするか、自動更新を設定しないことで電池を節約することができます。

Timescapeのスタート画面

① Facebook／Twitterの最新のコメントを表示。タイルフィルターを使用して、どちらかのサービスに絞り込むことができます。
② Timescapeタイル（不在着信、受信SMS、受信Eメール、Facebook、Twitter、mixiの友人からの更新、最近再生した音楽ファイル、FOMA端末のカメラで撮影した写真や動画などの各種情報を時系列に沿って表示）
③ Timescapeタイルフィルター（フィルター項目をタップして、特定のタイプの情報に絞り込む）

Timescapeの操作の基本

Timescapeでタイルをスクロールする

1 タイルを上下にドラッグする

Timescapeでタイルをプレビューする

タイルを選択して、タイル上で内容を確認できます。メールなどタイルのプレビュー画面で表示しきれないテキストがある場合は、スクロール表示されます。

1 タイルをタップする

Timescapeでタイルを削除する

1 削除するタイルをタップする

2 削除するタイルを上下にドラッグする

- 画面下部に🗑が表示されます。

3 タイルを🗑までドラッグする

4 タイルを放す

5 ［OK］をタップする

イベントフィルターのアイコン

フィルターアイコン	表示するタイル
	すべてのタイル
または	不在着信のタイル
または	受信したSMSメッセージのタイル
または	受信したEメールのタイル
	撮影した写真やムービーのタイル
	再生した音楽のタイル
または	Twitterの更新情報タイル
または	Facebookの更新情報タイル
または	mixiの更新情報タイル

表示されたタイルにフィルターを適用する

1 Timescape画面で、フィルターアイコンをタップする

Timescapeでスタート画面を更新する

スタート画面を更新すると、インターネットに接続してTimescapeでアカウント設定済みのTwitter、Facebook、mixiの情報を更新します。

1 Timescape画面で［⊞］を押し、［更新］をタップする

- 「すべてのタイル」とアカウント設定済みのオンラインサービスのフィルターアイコンを選択したときに「更新」が表示されます。

TimescapeでFacebook、Twitterのステータスを更新する

1 Timescape画面で［⊞］を押し、［ステータス更新］をタップする

2 テキストを入力し、［続行］をタップする

3 ステータスを更新するサービスにチェックを入れて、［投稿］をタップする

Timescapeを活用する

タイルのアイコン

タイルの中に表示されるアイコンは、次の情報内容を示しています。

アイコン	情報内容
（白）または（背景色）	不在着信（背景色は未確認着信を示しています）。タイルをタップして着信相手に電話をかけることができます。

アイコン	情報内容
(白)または(背景色)	SMSメッセージ（背景色は未読メッセージを示しています）。タイルをタップしてメールを表示できます。
(白)または(背景色)	Eメール（背景色は未読メールを示しています）。タイルをタップしてメールを表示できます。
または（周囲に白い枠あり）	Twitter更新。タイルをタップして、Twitterの更新を表示できます。（アイコン上：既読、アイコン下：未読）
または（周囲に白い枠あり）	Facebook更新。タイルをタップして、Facebookの更新を表示できます。（アイコン上：既読、アイコン下：未読）
または（周囲に白い枠あり）	mixi更新。タイルをタップして、mixiの日記またはアルバムの更新を表示できます。（アイコン上：既読、アイコン下：未読）
	最近撮影した写真。アイコンをタップして写真を表示できます。
	最近撮影したムービー。アイコンをタップしてムービーを表示できます。
	最近再生した音楽。アイコンをタップしてアルバムを表示できます。

タイルの詳細情報を表示する

1 ホーム画面で、Timescapeウィジェットをタップする

2 タイルをタップする

Timescapeで不在着信に電話をかける

1 ／タイルをダブルタップする

2 ［発信］をタップする

TimescapeでSMSメッセージに返信する

1 ／タイルをダブルタップする

2 メール本文を入力する

3 ［送信］をタップする

TimescapeでEメールに返信する

1 ／タイルをダブルタップする

2 ［返信］または［全員に返信］をタップする

3 テキストを入力し、［送信］をタップする

Timescapeのインフィニットボタン

タイルをタップすると、右上隅にインフィニットボタンが表示されます。をタップすると、関連するコンテンツにアクセスできます。

タイルのアイコン	表示内容
／、／、／、、	電話帳に登録された連絡先の情報や連絡先に関するすべてのコミュニケーション情報
	そのタイルの写真に関連する写真
	そのタイルの音楽に関連するウェブまたはmicroSDカード内の音楽

Timescapeから電話帳の登録情報を表示する

1 ホーム画面で、Timescapeウィジェットをタップする

2 不在着信、SMS／Eメール、またはFacebook／Twitterの更新のタイルをタップする

3 をタップする

- 選択されている連絡先に関する種別ごとの履歴を表示します。

4 画面下部のフィルターをタップまたはフリックする

- 選択されたフィルターイベントに関する履歴を表示します。

最近撮影した写真やその他の関連付けされた写真を表示する

同じ日付または同じ場所で撮影した写真や、同じ連絡先の顔写真が含まれている写真を関連写真として表示させることができます。最大で5つの連絡先に関連した写真が表示されます。

1 ホーム画面で、Timescapeウィジェットをタップする

2 最近撮影した写真のタイルをタップし、をタップする

3 [同じ日付]、[同じ場所]、または連絡先名でフィルターを適用する

最近再生した音楽に関連付けされたmicroSDカード内の音楽やウェブコンテンツを表示する

1 ホーム画面で、Timescapeウィジェットをタップする

2 最近再生した音楽のタイルをタップする

3 をタップする

- アーティスト名で関連付けされたYouTubeのコンテンツが表示されます。

Timescapeの設定

Timescape設定画面を表示する

1 ホーム画面で、Timescapeウィジェットをタップする

2 [田]を押し、[設定] をタップする

• 次の操作が行えます。

自動更新	P.115
タイルをカスタマイズ	P.115
Spline™をカスタマイズ	P.115
サービスを設定	P.110
Eメールアカウントを設定	P.82

Timescapeの⌂フィルターに表示されるコンテンツ種別を変更する

1 ホーム画面で、Timescapeウィジェットをタップする

2 [田]を押し、[設定] ▶ [タイルをカスタマイズ] をタップする

3 必要なチェックボックスのチェックを入れ、[OK] をタップする

Timescapeに表示されるフィルターアイコンを変更する

1 ホーム画面で、Timescapeウィジェットをタップする

2 [田]を押し、[設定] ▶ [Spline™をカスタマイズ] をタップする

3 必要なチェックボックスにチェックを入れ、[OK] をタップする

Timescape起動時に自動更新するように設定する

Timescapeを起動したときに、アカウント設定済みのTwitter、Facebook、mixiの情報を自動的に更新するかどうかを設定できます。

1 ホーム画面で、Timescapeウィジェットをタップする

2 [田]を押し、[設定] をタップする

3 [自動更新] にチェックを入れる

Timescapeの背景色を変更

1 ホーム画面で、Timescapeウィジェットをタップする

2 [田]を押し、[テーマ] をタップする

3 設定するテーマをタップし、[テーマを設定] をタップする

音楽・写真・動画

Mediascapeについて

Sony Ericsson Mediascape（以降は、Mediascapeと略します）は、メディアコンテンツをミュージック、ムービー、フォトのカテゴリ別に閲覧・再生できます。また、オンラインコンテンツにアクセスすることもできます。たとえば、YouTubeで関連するコンテンツを検索することができます。

❖お知らせ

- Media Goを使って、microSDカードにメディアコンテンツを転送することができます。詳細については、「データの転送と移動」（P.157）をご参照ください。

Mediascapeを開く

1 ホーム画面で、［Mediascape］をタップする

2 再生したいデータにより、画面下に表示される／／をタップする

- 最初に各メディアカテゴリのホーム画面から開いたときは、コンテンツが表示されない場合があります。
- 画面上部の［次へ］をタップすると、microSDカード内のデータを見ることができます。

関連するメディアコンテンツの検索

Mediascapeでは、インフィニットボタンをタップすることで視聴中の音楽や写真に関連のあるメディアコンテンツを検索できます。

ミュージックコンテンツの場合、次の検索対象から特定のアーティストに関連するメディアコンテンツを検索できます。

- microSDカード
- YouTube

カメラで撮影した写真の場合は、次の条件でmicroSDカード内の写真を検索できます。ただし、ウェブ上のオンラインサービスの写真は検索対象には含まれません。

- 同日に撮影された写真
- 同じ場所で撮影された写真
- 同一人物を含む写真

関連するメディアコンテンツを検索する

1 をタップする

メディアコンテンツの詳細情報の表示

再生中の画面を長くタッチすると、音楽、写真、および動画コンテンツの詳細情報を表示できます。表示される情報は、再生および表示中のコンテンツの種類によって変わります。

メディアコンテンツの詳細情報を表示する

1 音楽、写真、または動画の再生画面で、情報タイルが表示されるまで、画面中央を長くタッチする

2 関連するメディアコンテンツを検索するには、∞をタップする（利用可能な場合）

3 情報タイルの外側をタップして、情報タイルを閉じる

マイク付ステレオヘッドセット（試供品）を使用する

1 マイク付ステレオヘッドセット（試供品）のステレオイヤホンとマイク付イヤホン変換アダプタを接続する

- ステレオイヤホンのプラグをマイク付イヤホン変換アダプタのステレオジャックに差し込みます。

2 マイク付ステレオヘッドセットの接続プラグをFOMA端末のヘッドセット接続端子に接続する

- 接続方向をよくご確認の上、正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。

❖**お知らせ**

- マイク付ステレオヘッドセット（試供品）使用中に着信すると、音楽は停止し、通話を終了すると再開します。
- マイクが付いていない普通のヘッドフォンを使用している場合は、ヘッドセット接続端子からヘッドフォンを外して電話に出る必要があります。

保護されたコンテンツの著作権

FOMA端末を利用して撮影または録音などしたものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法はお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

Mediascapeで音楽を聴く

Mediascapeを使用すると、音楽、オーディオブック、およびポッドキャストを視聴することができます。microSDカードとの間でコンテンツを転送するには、Media Goを使用します。詳細については、「データの転送と移動」(P.157)をご参照ください。

オーディオコンテンツを検索するには

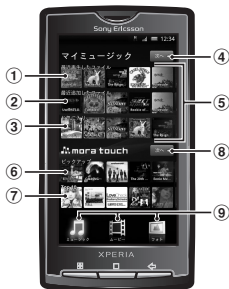
1 ホーム画面で、[Mediascape]をタップする

- ミュージックホーム画面が表示されない場合は、♫をタップします。
- 初めてミュージックホーム画面から開いたときは、コンテンツが表示されない場合があります。

2 画面上部の[次へ]をタップする

3 左右にフリック(P.30)してカテゴリごとのデータを検索する

ミュージックホーム画面

ミュージックホーム画面は、microSDカードに保存されているコンテンツが、「最近再生したファイル」などのカテゴリ別に表示されます。mora touchのアカウントを取得すると、画面下半分にmora touchのピックアップ／Top10（ランキング）のコンテンツが表示されます。

① **最近再生したファイル**
② **最近追加したファイル**
③ **お気に入り**
④ **microSD カードに保存されているコンテンツを表示する［次へ］キー**：カテゴリ別に閲覧できます。
⑤ **microSDカードに保存されているコンテンツ**
⑥ **ピックアップ**：mora touchのピックアップコンテンツ
⑦ **Top10**：mora touchのランキングコンテンツ
⑧ **［次へ］キー**：mora touchのトップ画面が表示されます。
⑨ **メディアカテゴリ（ミュージック／ムービー／フォト）の切り替え**

microSDカードに保存されたオーディオコンテンツを検索して再生する

ミュージックホーム画面で上部の［次へ］をタップすると、詳細なカテゴリ別にコンテンツを閲覧できます。

① **［ホーム］キー**：ミュージックホーム画面に戻ります。
② **検索フィールド**：キーボードが開きます（すべてのカテゴリに利用できるわけではありません）。
③ **コンテンツリスト**：選択したカテゴリに応じてコンテンツを表示します。
④ **［再生中］キー**：ミュージックプレーヤーの操作画面に移動します。楽曲の再生中または一時停止中に使用できます。
⑤ **アルファベットバー**：文字をタップすると、その文字で始まるコンテンツに移動します。
⑥ **カテゴリ**

❖**注意**

- 楽曲再生中にmicroSDカードのマウントを解除しないでください。

❖**お知らせ**

- 日本語で始まるアーティスト名、アルバム名、曲名の場合、「#」のカテゴリに分類されます。

■ ミュージックのカテゴリ

microSDに保存されたコンテンツは、次のカテゴリ別に閲覧できます。

カテゴリ	表示するミュージック
最近再生したファイル	この1週間の間に再生したmicroSDカード内のオーディオトラック
最近追加したファイル	この1週間の間に追加したmicroSDカード内のオーディオトラック
お気に入り	お気に入りに登録したmicroSDカード内のオーディオトラック
アーティスト	アーティストごとに一覧表示されるオーディオトラック
アルバム	アルバムごとに一覧表示されるオーディオトラック
トラック	曲名ごとに一覧表示されるオーディオトラック
ジャンル	ジャンルごとに一覧表示されるオーディオトラック
プレイリスト	microSDカード内のプレイリスト
ポッドキャスト	microSDカードの¥music¥podcastフォルダにある音楽ポッドキャスト
オーディオブック	「audiobook」、「audio book」、または「audiobooks」というジャンルメタデータが付いたオーディオトラック

ミュージックを再生する

1 ホーム画面で、[Mediascape]をタップする

- ミュージックホーム画面が表示されない場合は、♫をタップします。

2 画面上部の[次へ]をタップする

3 左または右にフリックして、カテゴリごとにアイテムを表示する

4 カテゴリに応じて、アーティスト、アルバム、トラック、ジャンル、プレイリスト、ポッドキャスト、またはオーディオブックをタップして、楽曲を閲覧する

5 楽曲をタップして、再生する

❖**お知らせ**

- ミュージックホーム画面で、「最近再生したファイル」、「最近追加したファイル」、および「お気に入り」のプレイリストのアルバムアートをタップしても、楽曲を再生することができます。

ミュージックプレーヤーについて

① **［ホーム］キー**：ミュージックホーム画面に移動します。
② **インフィニットボタン**：関連するウェブ上やmicroSDカード内のコンテンツを表示します。
③ **アルバムアート**：タップすると、現在のプレイリストが表示されます。
④ **［前へ］キー**：再生中の楽曲の先頭、もしくは現在のプレイリスト内の前のタイトルに戻ります。
⑤ **プログレスバー**：ドラッグまたはタップすると、指定位置から再生を再開します。
⑥ **現在のプレイリストの楽曲番号**
⑦ **［次へ］キー**：現在のプレイリスト内の次のタイトルに進みます。
⑧ **再生／一時停止キー**
⑨ ：音量を調節します。
⑩ **共有**（保護されていない場合）：利用可能な転送方法の1つを使用して、楽曲を送信します。
⑪ **お気に入り**：楽曲をお気に入りに登録します。
⑫ **シャッフル**：ランダムな順番で、現在のプレイリスト内の楽曲を再生します。
⑬ **繰り返し**：最終楽曲が終了した後に、現在のプレイリストを繰り返します。

ミュージックプレーヤーの操作

再生音量を調節する

1 ミュージックプレーヤー画面で の上下を押す

関連するコンテンツを検索する

1 ホーム画面で、［Mediascape］をタップする

- ミュージックホーム画面が表示されない場合は、をタップします。

2 画面上部の［次へ］をタップする

3 左または右にフリックして、アーティスト、アルバム、またはトラックのカテゴリを表示する

4 アイテムをタップする

5 をタップする

6 選択したアイテムに関連するコンテンツをYouTubeで検索するには［YouTube］、microSDカード内の関連コンテンツを一覧表示するには［SDカード］にフリックする

楽曲を変更する

1 ミュージックプレーヤーで、⏭／⏮をタップする

楽曲を一時停止する

1 ミュージックプレーヤーで、⏸をタップする

楽曲の再生位置を移動する

1 プログレスバーのマーカーを右または左にドラッグする

現在のプレイリストを表示する

1 ミュージックプレーヤーで、アルバムアートをタップする

楽曲をお気に入りに登録する

1 画面最下部のツールバーから、★をタップする

- この曲が「お気に入り」ミュージックカテゴリに表示されます。

楽曲をお気に入りから削除する

1 画面最下部のツールバーから、★をタップする

- 指定した曲が「お気に入り」ミュージックカテゴリから削除されます。

楽曲を共有する

ファイルをBluetooth機能やEメール添付により送信できます。

1 画面最下部のツールバーから、✉をタップする

2 使用可能な転送方法の1つを選択する

❖お知らせ

- 共有可能なファイル容量、ファイル種別には特に制限はありませんが、転送するアプリケーションにより制限される場合があります。またDRM管理コンテンツは共有することができません。

楽曲を削除する

1 ミュージックプレーヤーで楽曲を再生中に、［MENU］を押す

2 ［削除］をタップする

アルバムアートを取得する

1 ホーム画面で、[Mediascape]をタップする

- ミュージックホーム画面が表示されない場合は、♫をタップします。

2 [田]を押して、[アルバムアートを取得]をタップする

- アルバムアート取得に関する「メモ」が表示されます。

3 [OK]をタップする

4 [Wi-Fiのみ]／[モバイルネットワーク／Wi-Fiを優先]

- 項目にチェックを入れ、[情報]をタップすると、アルバムアートの取得方法を確認できます。

5 [OK]をタップする

- Mediascapeが、まだアルバムアートを取得していないすべてのアルバムのアルバムアートを検索します。

❖お知らせ

- ミュージックプレーヤーから[アルバムアートを取得]を選択すると、プレーヤーで表示中の楽曲のアルバムアートだけを検索することもできます。
- 楽曲によっては、アルバムアートを取得できない場合があります。
- 音楽ファイルに正しい情報が設定されていない場合などは、誤ったアルバムアートが取得される場合があります。
- 誤ったアルバムアートが取得されてしまった場合は、アルバムアート表示中に[田]を押し、[アルバムアートを削除]をタップして削除できます。

楽曲を着信音として使用する

1 ミュージックプレーヤーで楽曲を再生中に、[田]を押す

2 [着信音に設定]をタップする

オーディオライブラリを検索する

1 ホーム画面で、[Mediascape]をタップする

- ミュージックホーム画面が表示されない場合は、♫をタップします。

2 画面上部の[次へ]をタップする

3 左右にフリックして、カテゴリごとに項目を表示する

4 検索フィールドをタップする

- キーボードが表示されます。

5 検索する単語を入力する

- 選択したカテゴリ内の検索結果を表示できます。

6 結果を閲覧する、またはタップして再生する

ランダム再生

現在のプレイリストにある楽曲をランダムに再生することができます。

楽曲をランダムに再生する

1 ミュージックプレーヤーで、SHUFをタップする

2 ⏵をタップする

リピート再生

1曲を繰り返し再生したり、プレイリストをリピートして再生できます。

現在のプレイリストにある全楽曲をリピートする

1 がハイライト表示されるまで または をタップする

2 楽曲のタイトルまたは⏵をタップする

現在の楽曲をリピートするには

1 がハイライト表示されるまで または をタップする

2 楽曲のタイトルまたは⏵をタップする

プレイリスト

Mediascapeは、ミュージックホーム画面に「最近再生したファイル」などのプレイリストを自動的に作成します。Media Goを使用すると、ミュージックライブラリを管理したり、プレイリストを作成したりして、自分用のプレイリストを作成することもできます。自分用に作成するプレイリストはm3u形式で、FOMA端末内のmicroSDカードに保存されます。microUSBケーブルを使用してFOMA端末をパソコンに接続し、microSDカードをリムーバブルディスクとして使用する詳細については、「microUSBケーブルを使用する」(P.157)をご参照ください。

プレイリストをFOMA端末内にコピーする

1 パソコン上のMedia Goを起動する

2 microUSBケーブルを使用して、FOMA端末をパソコンに接続する

3 Media GoにFOMA端末のmicroSDカードを表示させる

- FOMA端末のmicroSDカードが表示されないときは、FOMA端末のステータスバーを下方向にドラッグして、[USB接続] ▶ [マウント] をタップしてください。

4 **パソコン上のプレイリストをMedia Goのライブラリからmicro SDカードにドラッグ＆ドロップする**

ポッドキャスト

ポッドキャストとは、ウェブから登録できるメディアコンテンツで、ラジオプログラム、テレビ番組、写真などがあります。Media Goのポッドキャスト機能を使用して、パソコンにコンテンツをダウンロードすることができます。さらにMedia Goを使用して、そのポッドキャストをFOMA端末のmicroSDカードにコピーできます。また、オーディオフィード、ビデオフィード、写真フィードを持つウェブページを検索して、FOMA端末本体に登録することもできます。コンテンツが更新されると、FOMA端末のステータスバーに通知が届きます。詳細については、「Media Go」（P.163）をご参照ください。

ポッドキャストを再生する

1 **ホーム画面で、［Mediascape］をタップする**

2 **ポッドキャストのタイプに応じてカテゴリを選択する**

- たとえば、オーディオポッドキャストを再生するときは、♫を選択します。

3 **画面上部の［次へ］をタップする**

4 **左右にフリックして、［ポッドキャスト］を表示する**

5 **再生または表示する項目をタップする**

Mediascapeで写真を再生する

Mediascapeを使って、画像とカメラで撮った写真やオンラインサービスに登録したウェブアルバムを閲覧・再生できます。また、Media Goを使ってFOMA端末のmicroSDカードにデータを転送したり、外部からデータを取り込んだりできます。詳細については、「microUSBケーブルを使用する」（P.157）をご参照ください。

写真を検索するには

microSDカードに保存した写真を検索します。

1 **ホーム画面で、［Mediascape］をタップする**

- 写真のホーム画面が表示されない場合は、をタップします。

2 **画面上部の［次へ］をタップする**

3 **左または右をフリックして写真をカテゴリ別に表示する**

オンラインサービスのアカウントを設定する

Mediascapeを使って、オンラインサービスのFacebookやPicasaで写真を共有できます。前もってFacebook、Picasaのアカウントを設定しておく必要があります。

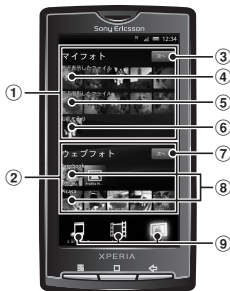
写真のオンラインサービスを有効にする

1. **ホーム画面で、[Mediascape]をタップする**
   - フォトホーム画面が表示されない場合は、 をタップします。
2. **を押す**
3. **[フォトホーム設定]をタップする**
4. **[サービスを表示]にチェックを入れる**
5. **[サービスアカウント]をタップし、使用するサービスのアカウントを設定する**

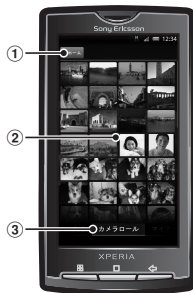
オンラインサービスを選択する

1. **ホーム画面で、[Mediascape]をタップする**
   - フォトホーム画面が表示されない場合は、 をタップします。
2. **を押す**
3. **[フォトホーム設定]をタップする**
4. **[サービスを選択]をタップして、サービスを1つまたは2つ選択する**

フォトホーム画面

オンラインサービスを表示する設定をしたフォトホーム画面では、microSDカードに保存されている写真が上部に表示され、オンラインのコンテンツが下部に表示されます。

① **microSDカードに保存されている写真**
② **オンラインのコンテンツ**
③ **microSD カードに保存されているコンテンツを表示する［次へ］キー**：カテゴリ別に閲覧できます。
④ **最近表示したファイル**
⑤ **最近撮影したファイル**
⑥ **お気に入り**
⑦ **オンラインサービスのウェブアルバムを表示する［次へ］キー**：ウェブアルバムに移動します。オンラインサービスを利用しない場合は、表示されません。
⑧ **オンラインのウェブアルバム**：オンラインのウェブアルバムを表示します。オンラインサービスを利用しない場合は、表示されません。
⑨ **メディアカテゴリ（ミュージック／ムービー／フォト）の切り替え**

microSDカードに保存された写真を検索して表示する

マイフォトの右の［次へ］をタップすると、カテゴリ別に写真を閲覧できます。

① **［ホーム］キー**：フォトホーム画面に戻ります。
② **コンテンツリスト**：選択したフォトカテゴリ別にコンテンツを表示します。
③ **フォトカテゴリ**

■ フォトカテゴリ

microSDカードに保存されたフォトは、次のカテゴリ別に閲覧できます。

カテゴリ	表示する写真
最近表示したファイル	1週間以内に表示した「カメラロール」および「マイアルバム」の写真
お気に入り	お気に入りとして登録した「カメラロール」および「マイアルバム」の写真

カテゴリ	表示する写真
カメラロール	microSDカードのDCIMフォルダにある撮影済みの写真
マイアルバム	microSDカードにあるすべての写真アルバムフォルダ
友達	電話帳にある連絡先の写真

写真を表示する

1 ホーム画面で、[Mediascape] をタップする

- フォトホーム画面が表示されない場合は、をタップします。

2 画面右上の [次へ] をタップする

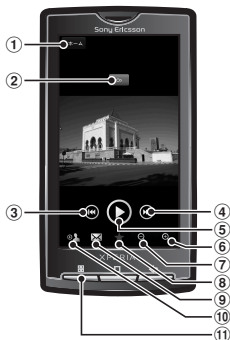
3 左または右をフリックして写真をカテゴリ別に表示する

4 カテゴリによって、写真のサムネイルまたは写真リストをタップする

- 次の写真または前の写真を見るには、それぞれ左右にフリックします。

❖お知らせ

- フォトホーム画面の [最近表示したファイル]、[最近撮影したファイル]、および [お気に入り] からも写真を表示できます。
- 保存されている写真の枚数により、画面にすべての写真を読み込むのに時間がかかる場合があります。
- オンラインのウェブアルバムは、写真の枚数およびデータ通信の条件により、画面にすべての写真を読み込むのに時間がかかる場合があります。

写真ビューアについて

① **[ホーム] キー**：フォトホーム画面に移動します。
② **インフィニットボタン**：microSDカード内の関連する写真を閲覧できます。
③ **[前へ] キー**：前の写真に移動します。
④ **「次へ」キー**：次の写真に移動します。
⑤ **[再生] キー**：スライドショーを開始します。
⑥ **ズームイン**
⑦ **ズームアウト**
⑧ **お気に入り**：写真をお気に入りとして登録します。
⑨ **共有**：利用できる転送方法で写真を送信します。
⑩ **用途**：写真を壁紙または連絡先の写真として使用します。
⑪ **[メニュー] キー**：追加の写真機能を表示します。

❖注意

- 写真ビューアでウェブアルバムを再生する場合は、③［前へ］、④［次へ］、⑥［ズームイン］、⑦［ズームアウト］の操作だけとなります。また、以降に説明する「関連する写真を表示する」から「オンラインウェブアルバムへ写真をアップロードする」までの操作は行えません。

関連する写真を表示する

1 ホーム画面で、［Mediascape］をタップする

- 写真のホーム画面が表示されない場合は、をタップします。

2 画面右上の［次へ］をタップする

3 左右にフリックして写真をカテゴリ別に表示する

4 写真ビューアで写真を表示する

5 をタップする

6 ［同じ日付］にフリックして同じ日に撮影した写真を表示、［同じ場所］で同じ場所で撮影した写真を表示、または名前タグを選択してmicroSDカードにある特定の人の写真をリスト表示する

写真ビューアの操作キーを表示する

1 写真ビューア表示中に画面をタップする

スライドショーを開始する

1 写真ビューアで をタップする

スライドショー設定を調整する

スライドショーの間隔、スライド切替の際の効果（トランジション）、繰り返しの有無、シャッフルの有無を設定できます。

1 写真ビューアで写真表示中に、を押す

2 ［スライドショー設定］をタップする

写真をお気に入りに登録する

1 写真ビューアで写真表示中に、画面下のツールバーで をタップする

- この写真が「お気に入り」カテゴリに表示されます。
- お気に入りから削除する場合は、をもう一度タップします。

写真を共有する

ファイルをオンラインサービスにアップロードしたり、Eメール添付により送信したりできます。

1 写真ビューアで写真表示中に、画面をタップして操作キーを表示する

2 画面下のツールバーで をタップする

3 利用できる転送方法を選択する

- 以降の操作は、選択した転送方法（アプリケーション）により異なります。

写真を削除する

1 写真ビューアで写真表示中に、[メニューキー]を押す

2 ［削除］▶［OK］をタップする

写真を壁紙に使用する

1 写真ビューアで写真表示中に、画面をタップして操作キーを表示する

2 画面下のツールバーで[アイコン]をタップする

3 ［壁紙に設定］をタップする

4 必要に応じて写真をトリミングして、［保存］をタップする

写真を電話帳に登録する

1 写真ビューアで写真表示中に、画面をタップして操作キーを表示する

2 画面下のツールバーで[アイコン]をタップする

3 ［連絡先の画像に設定］をタップする

4 必要に応じて写真をトリミングして、［保存］をタップする

5 設定する連絡先または新規の連絡先を選択する

写真をトリミングする

1 写真ビューアで写真表示中に、[メニューキー]を押す

2 ［トリミング］をタップする

3 トリミング枠を調整する

- トリミング枠を調整するには、トリミング枠の端を長くタッチします。トリミングの矢印が表示されたら、トリミング枠の中央に向かって、または外側に向かってドラッグしてサイズを変更します。
- サイズ変更時にトリミング枠のアスペクト比を維持する場合は、角にタッチしてドラッグします。
- トリミング枠を写真の別の部分に移動させるには、枠の内側を移動先にドラッグします。

4 ［保存］をタップする

オンラインウェブアルバムへ写真をアップロードする

1 写真ビューアで写真表示中に、画面をタップして操作キーを表示する

2 画面下部のツールバーで[アイコン]をタップする

3 **写真共有サービスを選択し、画面の指示に従って操作する**

❖**お知らせ**

- FacebookやPicasaへのアップロードが可能です。あらかじめオンラインサービスアカウントを設定しておく必要があります。詳細については、「オンラインサービスアカウントの設定」(P.90)をご参照ください。
- Picasaでアップロードする場合、本FOMA端末に設定したGoogleアカウントで行います。「オンラインサービスのアカウントを設定する」(P.128)で設定したPicasaのアカウントにはアップロードされません。

写真に写っている顔に名前を追加する

人物が写っている写真を撮影すると、最大5名の顔に自動的に顔認識タグを追加します。その後、写真に写っている人の連絡先を電話帳に登録すれば、その顔を名前とリンクできます。顔に名前をリンクすると、顔認識機能がその人の写真すべてに名前タグを追加します。写真表示中に写っている人の名前タグをタップし、∞をタップすると、その人が写っている写真すべてが表示されます。顔が認識されない場合は［+］タグが表示されます。このタグをタップして、電話帳の連絡先にリンクすることができます。

- 撮影写真によっては、顔認識ができない場合があります。

写真に写っている顔に名前を追加するために

1 **顔タグをリンクする人の連絡先を電話帳に作成しておく**

2 **写真を表示して［+］の顔タグをタップする**

3 **［名前を変更］をタップする**

4 **リンクする連絡先を選択する**

既存の顔タグの名前を変更する

1 **写真の顔タグをタップする**

2 **［名前を変更］をタップする**

3 **連絡先を選択して顔タグをリンクする**

顔タグをタップして連絡する

1 **名前のついた顔タグをタップする**

2 **［連絡先を表示］をタップする**

3 **電話番号／メッセージ／Eメールアドレスをタップする**

Mediascapeで動画を再生する

Mediascapeを使って、動画を検索して表示できます。Media Goを使ってパソコンとFOMA端末の間でデータを転送したり、外部からデータを取り込んだりできます。詳細については、「microUSBケーブルを使用する」（P.157）をご参照ください。

ムービーを検索するには

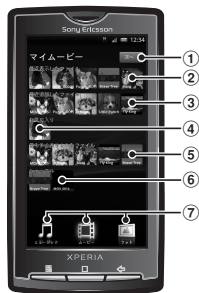
1 ホーム画面で、［Mediascape］をタップする

- 動画のホーム画面が表示されない場合は、をタップします。

2 画面上部で［次へ］をタップする

3 左または右をフリックしてムービーをカテゴリ別に表示する

動画のホーム画面

動画ホーム画面には、microSDカードに保存された動画が表示されます。

① **microSDカードに保存されているコンテンツを表示する［次へ］キー**：カテゴリ別に閲覧できます。
② **最近表示したファイル**
③ **最近追加したファイル**
④ **お気に入り**
⑤ **最も多く表示されたファイル**
⑥ **シャッフル**
⑦ **メディアカテゴリ（ミュージック／ムービー／フォト）の切り替え**

microSDカードに保存されたムービーを検索して再生する

マイムービーの右の［次へ］をタップすると、カテゴリ別にムービーを閲覧できます。

① **［ホーム］キー**：動画のホーム画面に戻ります。
② **検索フィールド**（使用できないカテゴリもあります）
③ **コンテンツリスト**：選択したカテゴリに基づいてコンテンツを表示します。
④ **アルファベットバー**：特定の文字で始まるコンテンツに移動します。
⑤ **ムービーのカテゴリ**

■ ムービーのカテゴリ

microSDカードに保存されたムービーは、次のカテゴリ別に閲覧できます。

カテゴリ	表示される動画
最近表示したファイル	1週間以内に表示した、microSDカードにある動画
最近追加したファイル	1週間以内にmicroSDカードに追加した動画
お気に入り	microSDカードにある、お気に入りとして登録した動画
ムービーロール	microSDカードのDCIMフォルダにある撮影済みの動画
ムービー	このカメラで撮影していない、ポッドキャストでない動画
ポッドキャスト	microSDカードの¥video¥podcastフォルダにある動画

ムービーを再生する

1 ホーム画面で、［Mediascape］をタップする

- 動画のホーム画面が表示されない場合は、をタップします。

2 画面右上の［次へ］をタップする

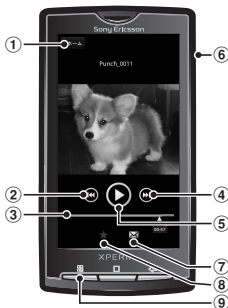
3 左または右をフリックしてカテゴリ別に表示する

4 動画をタップして再生する

次ページへつづく

❖お知らせ

- 画面を横向きにしても自動的に横画面にならない場合は、ホーム画面で[田]を押し、[設定]▶[サウンド&画面設定]をタップして、画面設定の[画面の向き]のチェックボックスにチェックを入れてください。
- 動画のホーム画面の[最近表示したファイル]、[最近追加したファイル]、[お気に入り]、[最も多く表示されたファイル]、および[シャッフル]からも動画を表示できます。
- 「QVGA」サイズで録画したムービーは、ムービープレーヤー画面で[田]を押し、[自動調整]／[元のサイズ]をタップして表示サイズを切り替えることができます。

ムービープレーヤーについて

① [ホーム]キー：動画のホーム画面に移動します。
② [前へ]キー：再生中のムービーの先頭または前のムービーに移動します。
③ プログレスバー：指定した位置から再生を行います。
④ [次へ]キー：次のムービーに移動します。
⑤ [再生／一時停止]キー
⑥ [音量キー]：音量を調節します。
⑦ 共有：利用できる転送方法でムービーを送信します。
⑧ お気に入り：ムービーをお気に入りとして登録します。
⑨ [メニュー]キー：ファイル情報を表示したり、ムービーを削除したりします。

ムービーをお気に入りに登録する

1 ムービープレーヤーの操作画面下部のツールバーで★をタップする

- ライブラリの閲覧時に、「お気に入り」動画カテゴリに動画が表示されます。
- お気に入りから削除する場合は、★をもう一度タップします。

ムービーを共有する

ムービーをYouTubeにアップロードしたり、Bluetooth機能やEメール添付により送信したりできます。

1 ムービープレーヤーの操作画面下部のツールバーで✉をタップする

2 利用できる転送方法を選択する

❖お知らせ

- 共有可能なファイル容量、ファイル種別には特に制限はありませんが、転送するアプリケーションにより制限される場合があります。またDRM管理コンテンツは共有することができません。

ムービーの音量を調整する

1 ムービープレーヤー画面で ◁ ▷ の上下を押す

ムービーを削除する

1 ムービープレーヤーで視聴中に 器 を押す

2 ［削除］をタップする

ムービーを検索する

1 ホーム画面で、［Mediascape］をタップする

- 動画のホーム画面が表示されない場合は、▣をタップします。

2 画面上部で［次へ］をタップする

3 左または右をフリックして項目をカテゴリ別に表示する

4 検索フィールドをタップする

- キーボードが表示されます。

5 単語またはフレーズを入力する

- 1 文字入力するごとに検索結果が表示されます。

6 検索結果を閲覧する、またはタップして視聴する

ムービーの再生位置を変える

1 プログレスバーのマーカーを右または左にドラッグする

YouTubeで動画を再生する

YouTubeは無料オンライン動画ストリーミングサービスで、動画の再生、検索、アップロードを行うことができます。

- 動画コンテンツのダウンロード・アップロードの際に、パケット通信料が発生する場合があります。

YouTube動画を再生する

1 ホーム画面で、▦をタップし、［YouTube］をタップする

- YouTubeの画面が表示され、動画が［再生回数の多い動画］、［話題の動画］、［新着動画］、［評価の高い動画］などに分類されて表示されます。
- 器 を押して、［カテゴリ］をタップし、カテゴリから動画を選択することもできます。

2 動画にタッチして再生する

- 動画を再生すると画面が自動的に横画面表示に切り替わります。
- 画面をタップすると、再生操作キーが表示され、再生画面下のインジケーターを左右にドラッグして、再生位置を変更できます。
- [戻る]を押すと再生を停止して、動画の一覧画面に戻ります。
- YouTube を終了するには、[ホーム] を押します。

YouTube動画を高画質で再生する

1 動画再生中に画面をタップし、再生操作キーを表示して HQ をタップする

❖**お知らせ**

- Wi-Fi 接続中の場合は、はじめから高画質で再生されます。
- YouTube の画面で [メニュー] を押し、[設定] をタップして [携帯で高画質動画を表示] のチェックボックスにチェックを入れると、3Gネットワークでもはじめから高画質で再生されます。

動画をキーワード検索して再生する

1 YouTubeの画面で、[メニュー]を押し、[検索] をタップする

2 検索キーワードを入力する

- ステータスバーの下に検索結果数が表示されます。

3 検索結果をスクロールして再生する動画をタップする

検索履歴の消去

1 YouTubeのトップ画面で、[メニュー]を押し、[設定] をタップする

2 [検索履歴を消去] ▶ [OK] をタップする

TrackID

TrackIDは、楽曲認識サービスです。スピーカーを通して聞こえている曲のタイトル、アーティスト名、アルバム名を検索することができます。TrackIDで良好な結果を得るために、静かな場所で使用してください。他の人に楽曲をすすめたりすることもできます。さらに、YouTubeで関連するコンテンツを検索し、表示することができます。TrackIDを使用できない場合は、「ウェブブラウザ／Wi-Fi／VPN」(P.97)をご参照ください。

TrackIDを起動する

1 ホーム画面で、▦をタップし、[TrackID] をタップする

楽曲情報を検索する

1 **TrackIDを起動し、FOMA端末を音源に向ける**

2 **［録音］をタップする**
- 結果画面に楽曲情報が表示されます。
- TrackIDの初期画面に戻るには、[戻る]を押す

TrackIDの結果を使用する

TrackIDによって楽曲が認識されたら、他の人に勧めたり、YouTubeでその楽曲に関連したコンテンツを検索したりすることができます。楽曲情報は、検索後に表示されますが、履歴リストにも記録されます。

TrackIDの結果を利用するために

- 録音した曲が認識されると楽曲情報が表示されます。楽曲情報画面の各キーをタップして、他の人に勧めたり、YouTubeで表示したりします。
- 履歴リストで目的の楽曲をタップしたり、［チャート］をタップして任意のチャートからも楽曲情報の画面を表示することができます。

カメラ

著作権・肖像権について
お客様がFOMA端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用になれませんので、ご注意ください。

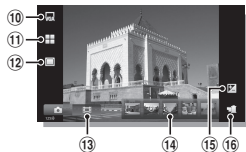
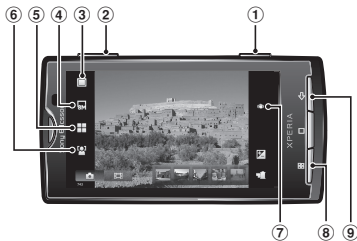
カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。
お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

カメラについて

画面をタップするか、カメラキー（📷）を使用して、写真の撮影やムービーの録画ができます。カメラは、横向きと縦向きのどちらでも撮影できます。写真やムービーは自動的にmicroSDカードに保存されます。

始める前に

- カメラを使用する前にmicroSDカードを挿入してください。本FOMA端末で撮影した写真または動画は、すべてmicroSDカードに保存されます。また、Media Goからのファイル転送中などmicroSDカードでデータを読み書きしている場合、写真を撮影することはできません。
- 本FOMA端末を利用して撮影または録音したものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法をお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。
- カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

ファインダーとカメラキー

① カメラキー（📷）。カメラの起動／写真の撮影／ムービーの録画
② ズームイン／アウト（◁ ▷）
③ 撮影モードの選択（写真）
④ 解像度の選択（写真）
⑤ シーンの選択（写真）
⑥ フォーカスモードの選択（写真）
⑦ 選択された設定を表示するステータスアイコン
⑧ アイコンを非表示、詳細設定
⑨ 1つ前の操作に戻る。カメラを終了する。
⑩ ムービーサイズの選択（ムービー）
⑪ シーンの選択（ムービー）
⑫ 撮影モードの選択（ムービー）
⑬ 写真とムービーの切り替え

⑭ 最近撮影した写真の表示または録画したムービーの再生
⑮ 露出レベル調整
⑯ 撮影した写真の表示または録画したムービーの再生

カメラを使用する

写真を撮影する

画面をタップして写真を撮る

1 を1秒以上押す

写真撮影が選択されていない場合は、をタップします。

2 ファインダーの撮影モードキーをタップする

3 をタップする

4 ファインダー内でピントを合わせる位置をタップする

- ピントが合うと、すぐに写真が撮影されます。写真は自動的にmicroSDカードに保存されます。

5 カメラを終了する場合は、を押す

カメラキー（）を使用して写真を撮る

1 を1秒以上押す

写真撮影が選択されていない場合は、をタップします。

2 オートフォーカスを使用するには、を半押しする

3 フォーカスフレームが緑色になったら、を止まるまでしっかり押す

- 写真は自動的にmicroSDカードに保存されます。
- フォーカスフレームが赤色になったら、オートフォーカスが失敗しています。を半押しし直してください。

4 カメラを終了する場合は、を押す

ズームを使用する

1 を押す

露出レベルを調整する

1 ファインダーで、をタップする

2 バーをタップまたはスライドして、レベルを調整する

最近撮影した写真を表示する

1 ファインダーの下部にあるバーで、4つまたは5つのサムネイルの1つをタップする

- ムービーには、[再生アイコン]が表示されます。

撮影したすべての写真を表示する

1 写真撮影が選択されていない場合は、[カメラアイコン]をタップする

2 [ギャラリーアイコン]をタップする

❖お知らせ

- カメラロールに保存された写真は、Mediascapeの「フォト」でも表示できます。

顔検出

顔検出を使用すると、中心から外れた位置の顔にピントを合わせることができます。カメラが最高5つまで顔を自動的に検出し、ピントを合わせる顔は黄色、その他の顔は白色のフレームで示します。カメラからの距離と、中心からの距離のバランスにより、最適な顔が判断され、自動的にピントが合わせられます。フレームをタップして、ピントを合わせる顔を選択することもできます。

顔検出を設定する

1 [カメラキー]を1秒以上押す

写真撮影が選択されていない場合は、[カメラアイコン]をタップします。

2 ファインダーのフォーカスモードキーをタップする

3 [顔検出アイコン]をタップする

顔検出を使用して写真を撮る

1 顔検出を設定し、カメラを被写体に向ける

検出した顔にフレームが表示されます。

2 ピントを合わせるフレームをタップするか、タップせずにピントを合わせる顔をカメラに選ばせる

3 [カメラキー]を半押しする

- ピントを合わせる顔のフレームが緑色に変わります。

4 写真を撮るには、[カメラキー]を止まるまでしっかり押す

- 写真は自動的にmicroSDカードに保存されます。

5 カメラを終了する場合は、[戻るキー]を押す

スマイル検出

スマイル検出を使用すると、笑った瞬間の顔を撮影できます。カメラが最高5つの顔を検出し、そのうち1つをスマイル検出とオートフォーカスの対象に選びます。選択した顔のフレームが黄色に変わります。選択した顔が笑うと、カメラが自動的に写真を撮影します。

スマイル検出を設定する

1 [カメラキー]を1秒以上押す

写真撮影が選択されていない場合は、[カメラアイコン]をタップします。

2 ファインダーの撮影モードキーをタップする

3 [スマイルアイコン]をタップする

スマイル検出を使用して写真を撮る

1 スマイル検出を設定し、カメラを被写体に向ける

- 検出した顔にフレームが表示されます（最高で5つ）。
- カメラがピントを合わせる顔を選択します。ピントを合わせる顔のフレームが黄色に変わります。

2 ピントを合わせる被写体が笑うと、カメラが自動的に写真を撮る

- 写真はmicroSDカードに保存されます。
- 笑顔を検出できなくても写真を撮るには、[カメラキー]を止まるまでしっかり押します。

3 カメラを終了する場合は、[戻るキー]を押す

撮影時の設定を変える

1 [カメラキー]を1秒以上押す

写真撮影が選択されていない場合は、[カメラアイコン]をタップします。

2 ファインダーで、4つの設定アイコンのいずれかをタップして、簡易設定にアクセスする

- [メニューキー]を押し、[詳細設定] をタップして、追加の設定を行うこともできます。設定後は、[戻るキー]を押して、ファインダーに戻ります。

3 選択した設定のオプションの1つをタップする

写真撮影設定

■ 簡易設定

設定項目	アイコン	説　明
撮影モード	写真の撮影方法を選択します。	
	標準	標準的な撮影モードです。
	シーン認識	カメラが最適なシーンを判断します。シーンが設定されると、シーンアイコンが表示されます。
	スマイル検出	スマイル検出を使用すると、笑った瞬間の顔を撮影できます。カメラが最高5つの顔を検出し、そのうち1つをスマイル検出とオートフォーカスの対象に選びます。選択した顔が笑うと、カメラが自動的に写真を撮影します。
	タッチ撮影	ファインダー内でピントを合わせる位置を指定したいときに使用します。ピントを合わせる位置にタッチします。画面にタッチするとすぐに写真が撮影されます。
解像度	写真撮影の前に、画像サイズと縦横比を選択します。解像度が高くなるほど、記録するためにより大きなメモリ容量が必要になります。	
	8MP 4:3	画像サイズ8メガピクセル、縦横比4:3。標準サイズの画面に表示したり、高解像度で印刷するのに適しています。
	6MP 16:9	画像サイズ6メガピクセル、縦横比16:9。高解像度、ワイドスクリーンフォーマット。フルHDより高解像度です。ワイドスクリーンの画面に表示するのに適しています。
	2MP 4:3	画像サイズ2メガピクセル、縦横比4:3。標準サイズの画面に表示するのに適しています。
	2MP 16:9	画像サイズ2メガピクセル、縦横比16:9。ワイドスクリーンの画面に表示するのに適しています。
シーン	プログラム済みのシーン設定を使用して、さまざまな状況に合わせてカメラを簡単に設定できます。最善の写真を撮影できるように、選択したシーンに最適な設定をカメラが判断します。	
	標準	カメラが自動的に設定を調整します。

設定項目	アイコン	説　明
シーン	ポートレート	人物の写真に使用します。肌色のトーンが少しソフトになるように設定を最適化します。
	風景	風景写真に使用します。遠くの被写体にピントを合わせます。
	夜景	夜間または暗い場所での撮影に使用します（照明なし）。露出時間が長くなるため、カメラがぶれないように構えるか、安定した平面に設置します。
	夜景ポートレート	夜間または暗い場所での人物撮影に使用します（照明ありまたはなし）。露出時間が長くなるため、カメラがぶれないように構えるか、安定した平面に設置します。
	ビーチ＆スノー	明るい場所での撮影で、写真の露出不足を避けるために使用します。
	スポーツ	動きの速い被写体の撮影に使用します。露出時間を短くして動きのぶれを最小限に抑えます。

設定項目	アイコン	説　明
シーン	パーティー	薄暗い室内での撮影に使用します。このシーンでは、室内の照明や、ろうそくの光を利用します。露出時間が長くなるため、カメラがぶれないように構えるか、安定した平面に設置します。
	ドキュメント	書類や絵の撮影に使用します。明暗のはっきりした写真になります。
フォーカスモード	ピントの合わせ方を設定します。撮影モードが標準のときに利用できます。	
	シングルAF	選択した被写体にカメラが自動的にピントを合わせます。ピントが合うと、フォーカスフレームが緑色に変わります。
	マルチAF	ファインダー内の複数箇所にカメラが自動的にピントを合わせます。ピントが合うと、フォーカスフレームが白色から緑色に変わります。
	マクロ	近距離撮影用のオートフォーカスです。

設定項目	アイコン	説　明
フォーカスモード	顔検出	カメラが最高5つまで人の顔を自動的に検出し、白色のフレームで示します。ピントを合わせる顔のフレームが緑色に変わります。カメラからの距離と、中心からの距離のバランスにより、最適な顔が判断され、自動的にピントが合わせられます。シーンタイプによっては、顔検出を使用できません。
	無限遠	離れた場所から撮影するときに使用します。遠く離れた被写体にピントを合わせます。カメラに近い被写体はぼけることがあります。

■ 詳細設定

詳細設定では、その他の設定が可能です。

設定項目	アイコン	説　明
照明	暗い場所や逆光があるときは、照明を使用して撮影します。	
	ON	照明が点灯します。
	OFF	照明は点灯しません。十分な明るさがなくても、照明なしの方が写真の品質が良くなることもあります。照明を使わずに良い写真を撮るには、手ブレを防ぐ必要があります。セルフタイマーを使用すると写真のぶれを防ぐことができます。
セルフタイマー	セルフタイマーを使用すると、本体を持たずに写真撮影ができます。自分の写真を撮影したり、全員が揃ったグループ写真を撮影したりするときに使用します。撮影時の手ブレを防ぐためにもセルフタイマーを使用できます。	
	ON（10秒）	が押されてから10秒後に写真が撮影されます。
	OFF	を押すと、すぐに写真が撮影されます。

設定項目	アイコン	説　明
測光	ファインダーの明るさを測定して、最適な露出のバランスを自動的に判断します。	
	中央	ファインダーの中央で測光して露出を調整します。
	平均	ファインダー全体の明るさに基づいて露出を調整します。
	スポット	ファインダー内の一点で測光して露出を調整します。
ホワイトバランス	ホワイトバランス設定は、周囲の光源に合わせて色合いを調整します。	
	自動	周囲の光源に合わせて自動的に色合いを調整します。
	電球	電球の下のような照明に合わせて色合いを調整します。
	蛍光灯	蛍光灯のような照明に合わせて色合いを調整します。
	太陽光	明るい戸外での撮影に合わせて色合いを調整します。
	曇天	曇り空に合わせて色合いを調整します。

設定項目	アイコン	説　明
手ブレ補正	写真撮影の際に、本体がぶれないように構えるのは困難です。手ブレ補正がわずかな手の動きを補正します。	
	ON	手ブレを軽減します。
	OFF	手ブレ補正を使用しません。
スマイルレベル	スマイル検出を使用して写真を撮影する前に、スマイル検出機能が反応する笑顔のタイプを設定します。	
	大笑い	大笑いしている顔を検出したときに写真を撮影します。
	普通の笑顔	普通の笑顔を検出したときに写真を撮影します。
	ほほ笑み	微笑み程度の笑顔でも写真が撮影されます。

次ページへつづく

設定項目	アイコン	説　明
ジオタグ	写真に詳細な撮影場所を示す位置情報のタグを付けることができます。	
	ON	ONに設定すると、位置情報が撮影した写真に付加されます。 **ワイヤレスネットワーク**：ワイヤレスネットワーク（3GPネットワーク、Wi-Fi）のアクセスポイントを利用して位置情報を取得します。正確性はGPSより劣ります。 **GPS機能**：GPS衛星を利用して位置情報を付加します。GPS衛星が見通せて位置測位が可能な場所で撮影してください。 • ジオタグを利用するには、あらかじめワイヤレスネットワーク、GPS機能を利用することに同意する設定をしておく必要があります。ホーム画面で を押し、［設定］▶［現在地情報とセキュリティ］をタップして、「ワイヤレスネットワークを使用」、「GPS機能を使用」のチェックボックスにチェックを入れます。 • 位置情報の取得方法は、「ワイヤレスネットワーク」と「GPS機能」のいずれか、または両方を使用することができます。 • 位置情報は、後で写真が撮影された場所を特定するために使用できます。本体で現在位置を検索している間、 が表示されます。
	OFF	OFFに設定すると、写真を撮影した場所を地図上で確認することはできません。
シャッター音	写真を撮影するときに鳴るシャッター音を選択します。	
設定リセット	すべての写真撮影設定をリセットし、お買い上げ時の設定に戻します。	

❖注意

- 設定によっては、他の設定と同時に使用できない場合があります。

ムービーを録画

画面をタップしてムービーを録画する

1 **(カメラキー)を1秒以上押す**
ムービーカメラが選択されていない場合は、(ムービー)をタップします。

2 **ファインダーの撮影モードキーをタップする**

3 **(タップ撮影)をタップする**

4 **画面をタップして、録画を開始する**
- ムービー録画中ランプが点灯します。

5 **画面をタップして、録画を停止する**
- ムービーは自動的にmicroSDカードに保存されます。

6 **カメラを終了する場合は、(戻る)を押す**

カメラキー（(カメラキー)）を使用してムービーを録画する

1 **(カメラキー)を1秒以上押す**
ムービーカメラが選択されていない場合は、(ムービー)をタップします。

2 **(カメラキー)を押して、録画を開始する**
- ムービー録画中ランプが点灯します。

3 **(カメラキー)を押して、録画を停止する**
- ムービーは自動的に microSD カードに保存されます。

4 **カメラを終了する場合は、(戻る)を押す**

ズームを使用する

1 **(音量キー)を押す**

露出レベルを調整する

1 **ファインダーで、(露出)をタップする**

2 **バーをタップまたはスライドして、レベルを調整する**

最近録画したムービーを表示する

1 **ファインダーの下部にあるバーで、5つのサムネイルの1つをタップする**
- ムービーには、(再生)が表示されます。

録画したすべてのムービーを表示する

1 **ムービーカメラが選択されていない場合は、(ムービー)をタップする**

2 **(ムービーロール)をタップする**

❖**お知らせ**
- ムービーロールに保存されたムービーは、Mediascapeの「ムービー」でも表示できます。

撮影時の設定を変える

1 (カメラキー)を1秒以上押す

ムービーカメラが選択されていない場合は、(ムービーアイコン)をタップします。

2 3つの設定アイコンのいずれかをタップして、簡易設定にアクセスする

- (メニューキー)を押し、[詳細設定] をタップして、追加の設定を行うこともできます。詳細設定では、設定したら、(戻るキー)を押して、ファインダーに戻ります。

3 選択した設定のオプションの1つをタップする

ムービーカメラ設定

■ 簡易設定

設　定	アイコン	説　明
ムービーサイズ	HD 720p	縦横比16:9のHD形式1280×720ピクセル
	フルワイドVGA	縦横比16:9のフルワイドVGA形式864×480ピクセル
	VGA	縦横比4:3のVGA形式640×480ピクセル
	QVGA	縦横比4:3のQVGA形式320×240ピクセル
シーン	プログラム済みのシーン設定を使用して、さまざまな状況に合わせてカメラを簡単に設定できます。最善のムービーを撮影できるように、選択したシーンに最適な設定をカメラが判断します。	
	標準	自動的に色合いや明るさを調整します。
	ポートレート	人物のムービーに使用します。肌色のトーンが少しソフトになるように設定を最適化します。
	風景	風景のムービーで使用します。カメラは遠くの被写体にピントを合わせます。

設　定	アイコン	説　明
シーン	夜景	設定すると感度が上がります。光量の少ない状況で使用します。動きの速い被写体を撮影すると、ぶれる場合があります。手でしっかり支えるか安定した平面で使用してください。
	ビーチ&スノー	明るい場所の撮影でムービーが露出不足にならないようにします。
	スポーツ	動きの速い被写体のムービー撮影で使用します。露出時間を短くして動きのぶれを最小限に抑えます。
	パーティー	薄暗い室内でのムービー撮影で使用します。このシーンでは、室内での逆光やキャンドルライトのみの状況に適しています。動きの速い被写体を撮影すると、ぶれる場合があります。手でしっかり支えて使用してください。
撮影モード	ムービーの撮影方法を選択できます。	
	標準	を押すと、すぐに撮影を開始します。
	タッチ撮影	画面にタッチすると、すぐに撮影を開始します。

■ 詳細設定

詳細設定では、その他のカメラ設定を行えます。

設　定	アイコン	説　明
照明	暗い場所や逆光があるときは、照明を使用してムービーを撮影します。	
	ON	照明が点灯します。
	OFF	照明は点灯しません。十分な明るさがなくても、照明なしできれいに撮影できる場合もあります。照明なしでムービーをきれいに撮影するには、カメラを安定させる必要があります。
セルフタイマー	セルフタイマーを使用すれば、本体を手で持たずにムービーを撮影できます。グループでムービーを撮影する場合に、全員がムービーに写ることができます。また、本体を手に持たずに固定できるので、ムービー録画時にカメラが動いてしまうのを避けることもできます。	
	ON（10秒）	を押してからムービーを録画するまでの間隔を10秒に設定します。
	OFF	を押すと、すぐに撮影を開始します。

次ページへつづく

設　定	アイコン	説　明
測光	ファインダーの明るさを測定して、最適な露出のバランスを自動的に判断します。	
	中央	ファインダーの中央で測光して露出を調整します。
	平均	ファインダー全体の明るさに基づいて露出を調整します。
	スポット	ファインダー内の一点で測光して露出を調整します。
ホワイトバランス	ホワイトバランス設定は、周囲の光源に合わせて色合いを調整します。	
	自動	周囲の光源に合わせて自動的に色合いを調整します。
	電球	電球の下のような照明に合わせて色合いを調整します。
	蛍光灯	蛍光灯のような照明に合わせて色合いを調整します。
	太陽光	明るい戸外での撮影に合わせて色合いを調整します。
	曇天	曇り空に合わせて色合いを調整します。

設　定	アイコン	説　明
手ブレ補正	ムービーを撮影するときに本体が動かないように持つのが難しい場合があります。手ブレ補正ではカメラの揺れを補正します。	
	ON	手ブレを軽減します。
	OFF	手ブレ補正を使用しません。
シャッター音	ムービーの録画を開始したときに聞こえる音を選択します。	
マイク	ムービーを撮影するときに周囲の音を録音するかどうかを選択します。	
設定リセット	すべてのムービーカメラ設定をリセットし、お買い上げ時の設定に戻します。	

❖注意

- 設定によっては、他の設定と同時に使用できない場合があります。

データの同期と転送

データの同期について

FOMA端末とネットワーク間の同期により、パソコンと同じ連絡先、メッセージ、カレンダーの予定を保存できます。また、Google Syncを使ってGmailや連絡先、カレンダーの予定を同期することができます。

Google Sync

アプリケーションのGoogle Syncを利用して、FOMA端末とGoogleサービスのGmail、カレンダー、連絡先などを同期することができます。FOMA端末およびパソコンのどちらからでも情報を表示、編集できます。

❖お知らせ

- Googleアカウントと同期するには、FOMA端末でアカウントを設定する必要があります。手動で同期するか、またはバックグラウンドデータを使用することで自動同期するようにFOMA端末を設定できます。Googleアカウントの設定については、「FOMA端末にGoogleアカウントを設定する」（P.50）をご参照ください。

Googleアカウントで自動同期を設定する

1 ホーム画面で[メニュー]を押し、[設定]▶[アカウントと同期]をタップする

2 [バックグラウンドデータ]のチェックボックスにチェックを入れる

3 [自動同期]のチェックボックスにチェックを入れる

4 Googleアカウント（[g]）をタップする

5 自動同期する同期項目をタップする

❖注意

- 「バックグラウンドデータ」にチェックを入れると、FOMA端末にインストールされているすべてのアプリケーションおよびアカウントを設定したTwitter、Facebookなどのオンラインサービスとの間で自動的にデータ通信を行うことを許可します。また「自動同期」にチェックを入れると、Googleアカウントでの Gmail、カレンダー、連絡先などのデータ、およびオンラインサービスで設定した「友人」などが公開しているプロフィールの情報を自動的に同期することを許可します。これらの通信は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。

Google Syncの同期を中止する

1 同期中（ステータスバーに が表示中）に［メニュー］を押す

2 ［同期をキャンセル］をタップする

データの転送と移動

画像やミュージックなどのデータは、転送および移動できます。一部の著作権で保護されたデータのやり取りは許可されていない場合もあります。

microUSBケーブルを使用する

FOMA端末とパソコンをmicroUSBケーブルで接続すると､FOMA端末のmicroSDカードがパソコンのリムーバブルディスクとして認識され、データをドラッグ＆ドロップできるようになります。

❖**お知らせ**

- FOMA端末でmicroSDカードを使うアプリケーションを実行している場合は､アプリケーションを閉じてから手動でmicroSDカードをパソコン上にマウントする必要があります。
- 次の場合に、パソコン側でmicroSDカードがマウントされないことがあります。
  - microSDカードが装着されていない場合
  - ステータスバーが表示されないようなフルスクリーンで画面表示するアプリケーションが起動している場合

microUSBケーブルでFOMA端末とパソコンを接続する

1 FOMA端末をmicroUSBケーブルでパソコンに接続する

2 ［本体を接続する］をタップする

- microSDカードがパソコンにマウントされます。
- 「PC Companionのインストール」をタップすると､PC Companionをインストールして、FOMA端末のソフトウェアを更新することができます。詳細については､「パソコンに接続して更新する」（P.242）をご参照ください。
- 「充電する」をタップすると、充電のみでの接続になります。

microUSBケーブルを安全に取り外す

- データ転送中にmicroUSBケーブルを取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

1 ステータスバーを下へドラッグする

2 ［USBストレージをOFFにする］をタップする

3 ［OFF］をタップする

4 microUSBケーブルを取り外す

ファイルの操作

FOMA端末のmicroSDカードとパソコンのMicrosoft Windows Explorerを使って、データをドラッグ＆ドロップできます。

FOMA端末とパソコンでデータをドラッグ＆ドロップする

1 microUSBケーブルでFOMA端末とパソコンを接続する

2 ステータスバーを下方向にドラッグして、[USB接続] ▶ [マウント] をタップする

- パソコン上でmicroSDカードがリムーバブルディスクとして表示されるまで待ちます。

3 FOMA端末とパソコンの間で、選択したデータをドラッグ＆ドロップする

❖お知らせ

- microSDカードがパソコンにマウントされると、FOMA端末からはmicroSDカードにアクセスできなくなるため、カメラなどFOMA端末の機能やアプリケーションは利用できなくなる場合があります。
- USB大容量記憶インターフェースをサポートしているほとんどのデバイスと以下のオペレーティングシステム（OS）で、microUSBケーブルを使用してファイルを転送できます。
  - Microsoft Windows 7
  - Microsoft Windows Vista
  - Microsoft Windows XP

microSDカードをフォーマットする

1 ホーム画面で [田] を押し、[設定] をタップする

2 [SDカードと端末容量] ▶ [SDカードのマウント解除] をタップする

3 [SDカードをフォーマット] をタップする

4 再度 [SDカードをフォーマット] をタップし、[すべて消去] をタップする

❖お知らせ

- フォーマットを行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

メモリを管理する

microSDカード、端末内部の空き容量を確認する

1 ホーム画面で、[田] を押し、[設定] をタップする

2 ［SDカードと端末容量］をタップする

- 画面上部にmicroSDカードの合計容量と空き容量、画面下部に端末内部メモリの空き容量が表示されます。

アプリケーションキャッシュとデータをクリアする

1 ホーム画面で、［田］を押し、［設定］をタップする

2 ［アプリケーション］▶［アプリケーションの管理］をタップする

- アプリケーションの一覧が表示されます。
- アプリケーションの一覧で［田］を押し、［フィルタ］をタップすると、キャッシュやデータを消去するアプリケーションを、「すべて」、「実行中」、「ダウンロード済み」から絞り込んで選択することができます。

3 アプリケーションをタップし、［データを消去］／［キャッシュを消去］をタップする

Androidマーケット以外から入手したアプリケーションをアンインストールする

1 ホーム画面で、［田］を押し、［設定］をタップする

2 ［アプリケーション］▶［アプリケーションの管理］をタップする

3 アンインストールするアプリケーションをタップする

4 ［アンインストール］をタップする

❖お知らせ

- FOMA端末にプレインストールされているアプリケーションはアンイストールできません。

端末内部またはmicroSDカードの空き容量を増やす

端末メモリが少ない場合、次の操作を行うことができます。

- ブラウザで、すべての一時インターネットファイルとブラウザ履歴情報をクリアします。詳細については、「履歴を消去する」（P.102）をご参照ください。
- すでに使用していない Android マーケットからダウンロードしたプログラムをアンインストールします。詳細については、「返金とアプリケーションの削除」（P.169）をご参照ください。

Bluetooth機能を利用する

Bluetooth機能によって、Bluetoothデバイス（ハンズフリーデバイスなど）にワイヤレス接続できます。障害物のない10メートル以内の範囲での使用を推奨します。別のBluetoothデバイスと通信するには、Bluetooth機能をオンにする必要があります。FOMA端末と別のBluetoothデバイスのペアリングを行う必要がある場合もあります。

❖**お知らせ**

- 初期設定では、Bluetooth機能はオフです。オンにしてFOMA端末の電源を切ると、Bluetooth機能もオフになります。電源を再度入れると、Bluetooth機能は自動的にオンになります。
- 使用しない場合は電池の消耗を抑えるためにBluetooth機能をオフにしてください。また飛行機の中や病院など、無線機器の使用が禁止されている場所では、Bluetooth機能をオフにしてください。

■ 無線LAN対応機器との電波干渉について

本FOMA端末のBluetooth機能と無線LAN対応機器は、同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LAN対応機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- Bluetooth対応機器と無線LAN対応機器は、10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Bluetooth対応機器または無線LAN対応機器の電源を切ってください。

※ すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。Bluetooth DUNには対応しておりません。本FOMA端末をモデムとしてパソコンからダイアルアップ接続することはできませんのでご注意ください。

Bluetooth機能をオンにしてFOMA端末を検出可能にする

1 ホーム画面で、[⊞]を押す

2 ［設定］▶［無線とネットワーク］をタップする

3 ［Bluetooth］のチェックボックスにチェックを入れ、オンにする

- [Bluetoothアイコン]が、ステータスバーに表示されます。

4 ［Bluetooth設定］をタップする

5 ［検出可能］のチェックボックスにチェックを入れる

- FOMA端末が、別のBluetoothデバイスに120秒間検出可能になります。

FOMA端末の名前

Bluetooth機能を使用するときに、別のBluetoothデバイスに表示されるFOMA端末の名前を入力できます。

FOMA端末の名前を入力する

1. **Bluetooth機能がオンになっていることを確認する**
2. **ホーム画面で、[田]を押す**
3. **［設定］▶［無線とネットワーク］▶［Bluetooth設定］▶［端末名］をタップする**
4. **名前を入力する**
5. **［OK］をタップする**

他のBluetoothデバイスとのペアリング

FOMA端末と別のBluetoothデバイスのペアリングを行うことによって、FOMA端末をBluetoothハンズフリーヘッドセットなどに接続し、これらのデバイスを使用して発着信できるようになります。

一度FOMA端末とBluetoothデバイスのペアリングを行うと、ペアリング情報は記憶されます。FOMA端末と他のBluetoothデバイスのペアリングを行うときに、パスコード（PIN）を入力する必要がある場合があります。FOMA端末は、自動的にパスコード「0000」を試行します。この試行でうまくいかない場合は、Bluetoothデバイスの取扱説明書をご参照ください。ペアリングを行ったBluetoothデバイスに次回接続するときは、パスコードを再入力する必要はありません。

2つのBluetoothヘッドセットとペアリングするという使い方はできませんが、同じBluetoothプロファイルを使用していない状態で、複数のBluetoothデバイスとペアリングを行うことはできます。本FOMA端末では、HSP、HFP、A2DP、AVRCP、PBAP、およびOPPのBluetoothプロファイルがサポートされています。

他のBluetoothデバイスとペアリングする

1 **ホーム画面で、[⊞]を押す**

2 **［設定］▶［無線とネットワーク］▶［Bluetooth設定］をタップする**

3 **［端末のスキャン］をタップする**

- 検出されたBluetoothデバイスが、一覧表示されます。

4 **FOMA端末とペアリングを行うBluetoothデバイスを選択する**

5 **必要な場合は、パスコード（PIN）を入力する**

- ペアリングを行ったBluetoothデバイスを使用できます。ペアリングと接続の状態は、Bluetoothデバイスリストの Bluetoothデバイス名の下に表示されます。
- Bluetooth デバイスによっては、ペアリング完了後、続けて接続まで行うデバイスがあります。

❖お知らせ

- ペアリングを行うデバイス側で、Bluetooth機能が有効になっていることとBluetooth検出機能がオンになっていることを確認してください。
- セキュアシンプルペアリング（SSP）機能に対応したBluetoothデバイスとペアリングを行う場合は、画面にパスキーが表示されます。表示されたパスキーが正しいことを確認した後、ペアリングします。

他のBluetoothデバイスと接続する

1 **ホーム画面で、[⊞]を押す**

2 **［設定］▶［無線とネットワーク］▶［Bluetooth設定］をタップする**

3 **Bluetoothデバイスリストで、接続するデバイスを長くタッチする**

4 **［ペアに設定して接続］をタップする**

Bluetoothデバイスの接続を解除する

1 **ホーム画面で、[⊞]を押す**

2 **［設定］▶［無線とネットワーク］▶［Bluetooth設定］をタップする**

3 **Bluetoothデバイスリストで、接続中のBluetoothデバイス名を長くタッチする**

4 **［接続を解除］をタップする**

Bluetoothデバイスのペアリングを解除する

1 **ホーム画面で、[⊞]を押す**

2 **［設定］▶［無線とネットワーク］▶［Bluetooth設定］をタップする**

3 Bluetoothデバイスリストで、接続中のBluetoothデバイス名を長くタッチする

4 ［切断してペアを解除］をタップする

❖お知らせ

- Bluetoothデバイスとペアリングのみの状態（接続していない）の場合は、［ペアを解除］と表示されます。

Media Go

Media Goは、FOMA端末とパソコンのメディアコンテンツの転送および管理を支援するパソコンのアプリケーションです。本FOMA端末に付属のmicroSDカードからパソコンにアプリケーションをインストールできます。
Media Goを使用するには、以下のいずれかのオペレーティングシステムが必要です。

- Microsoft Windows 7
- Microsoft Windows Vista
- Microsoft Windows XP、Service Pack 3以降

❖お知らせ

- ファイルの転送をできるようにするために、最初にFOMA端末とパソコンをmicroUSBケーブルで接続してパソコン上にmicroSDカードをマウントさせておく必要があります。
- Media Goの使用方法の詳細については、Media Goのメインメニューのヘルプをご参照ください。
- FOMA端末でmicroSDカードを使うアプリケーションを実行している場合は、アプリケーションを閉じてから手動でmicroSDカードをパソコン上にマウントする必要があります。詳細については、「microUSBケーブルを使用する」（P.157）をご参照ください。

Media Goをインストールする

1 microUSBケーブルでFOMA端末をパソコンに接続する

2 ［PC Companionのインストール］をタップする

- パソコンの画面に自動再生画面が表示されます。

3 パソコンの自動再生画面で［インストール］をクリックする

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

4 インストール完了後、パソコンに表示される「Sony Ericsson PC Companion」画面で「Media Go」をインストールする

❖お知らせ

- Media Goは、http://www.sonyericsson.co.jp/mediago/からダウンロードして入手することもできます。

Media GOを使ってデータを転送する

1 **microUSBケーブルでFOMA端末をパソコンに接続する**

2 **ステータスバーを下にドラッグして、[USB接続]をタップする**

3 **[マウント]をタップする**

4 **パソコンのスタートメニューからMedia Goを選択して、Media Goを起動する**

- Media Goで、FOMA端末とパソコンの間でファイルを移動できます。

アプリケーション

Androidマーケットを利用する

Androidマーケットを利用すると、便利なアプリケーションや楽しいゲームに直接にアクセスでき、FOMA端末にダウンロード、インストールすることができます。また、アプリケーションのフィードバックや意見を送信したり、好ましくないアプリケーションや本FOMA端末と互換性がないアプリケーションを不適切なコンテンツとして報告することができます。

- Androidマーケットのご利用には、Googleアカウントの設定が必要となります。
→P.50

Androidマーケットを開く

1 ホーム画面で、▦をタップし、[マーケット]をタップする

2 Androidマーケットを初めて開くとサービス規約ウィンドウが表示されるので、[同意する]をタップする

❖お知らせ

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、弊社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有料修理となります。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより自己または第三者への不利益が生じた場合、弊社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。手動でパケット通信を切断するには、ホーム画面で[田]を押し、[設定]▶[無線とネットワーク]▶[モバイルネットワーク]で[データ送受信]をタップしてチェックを外します。
- アプリケーションによっては、自動的にアップデートが実行される場合があります。

ヘルプ

Androidマーケットについてヘルプが必要なときや質問がある場合は、[田]を押し、[ヘルプ]をタップします。ブラウザよりAndroidマーケットヘルプウェブページに進みます。

アプリケーションを検索する

Androidマーケットホームページには、複数のアプリケーション検索方法があります。ホームページには、注目のアプリケーション、カテゴリごとに分類したアプリケーションアイテムの一覧、ゲーム一覧、検索へのリンク、マイダウンロードへのリンクが表示されます。

注目のアイテムを縦方向にスクロールするか、内容を検索するカテゴリを選択し、サブカテゴリを選択します。各サブカテゴリ内では、アイテムを［有料］、［無料］または［新着］で分類して表示することができます。

アプリケーションをインストールする

アプリケーションをインストールして開く

1 ダウンロードするアイテムを検索し、タップする

2 アイテム詳細画面で、価格、総合評価、ユーザーの意見などアプリケーションの詳細を確認する

❖**注意**

- 本FOMA端末でこのアイテムがアクセスできる機能およびデータを表示するには、［田］を押し、［セキュリティ］をタップしてください。

3 アイテムをインストールするには、［インストール］（無料アイテムの場合）または［購入］のいずれか表示される方をタップする

- アプリケーションの購入方法については「アプリケーションを購入する」（P.168）をご参照ください。

❖**注意**

- アプリケーションがFOMA端末のデータや機能にアクセスする必要がある場合、そのアプリケーションがどの機能を利用するのか表示します。

次ページへつづく

■ 必ずお読みください！

- 多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションには特にご注意ください。この画面で［OK］を選択すると、本FOMA端末でのこのアプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。アプリケーションの使用条件に同意する場合は［OK］をタップします。

4 ダウンロードの進捗状況を確認するには、通知ウィンドウを開く

- アプリケーションの多くは数秒でインストールされます。アイテムのダウンロードを停止したい場合は、［ダウンロードをキャンセル］をタップします。

5 アイテムをダウンロードしFOMA端末へのインストールが完了したら、コンテンツダウンロードアイコンがステータスバーの通知領域に表示される

6 Androidマーケット画面で、［マイアプリ］をタップする

7 一覧からインストール済みアプリケーションをタップし、［開く］をタップする

❖お知らせ

- アプリケーション一覧にもインストールしたアプリケーションのアイコンが表示されます。

アプリケーションを購入する

アプリケーションが購入制の場合は、ダウンロードする前に購入してください。規定の時間試用することができます。購入後規定の時間内に返金を請求しない場合は、そのままクレジットカードより料金が支払われます。

- アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後のアンインストールと再ダウンロードには料金はかかりません。
- 同じGoogleアカウントを使用しているAndroidデバイスが複数ある場合、購入したアプリケーションは他のデバイスすべてに無料でダウンロードすることができます。

1 購入するアプリケーションをタップする

2 アプリケーションの画面で［￥xxx］（購入）▶［OK］をタップする

3 支払い方法を選択する

- 「NTT DOCOMOの利用料金と一緒に支払い」または「クレジットカードを追加」をタップして、画面に従って操作します。クレジットカードを追加すると、Google Checkoutのサービスを利用できるようになります。
- Google Checkoutアカウントを持っていない場合はフォームに記入してください。Google CheckoutはFOMA端末からアイテムを購入するための高速、安全、便利な購入手段です。

❖**注意**

- Google CheckoutはGoogleのサービスです。
- FOMA端末にはGoogle Checkoutパスワードが記憶されるため、画面ロックを設定しFOMA端末のセキュリティを確保してください。詳細は「画面ロック」(P.76)をご参照ください。

4 お持ちのGoogle Checkoutアカウントに複数のクレジットカードアカウントを使用している場合は、いずれかのアカウントを選択する

5 払い戻しポリシー、Google Checkoutの請求とプライバシーポリシーのリンクを選択し、文書を読み、終了したら[戻る]を押す

6 Google Checkoutのサービス条項に同意したら画面下の［今すぐ購入］をタップする

- Androidがアプリケーションのダウンロードを行い、Android マーケットホームページに戻ります。ダウンロードとインストールが完了したら、ステータスバーには[アイコン]が表示されます。

返金要求

アプリケーションに満足しない場合、購入後規定の時間内であれば返金を要求することができます。アプリケーションは削除され、料金は請求されません。なお、返金要求は、各アプリケーションに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリケーションに対して返金要求をし、同じアプリケーションを再度購入した場合には、返金要求はできません。

返金とアプリケーションの削除

1 Androidマーケットホームページで、［マイアプリ］をタップする

2 アンインストールするアプリケーションをタップする

3 ［アンインストールと払い戻し］ダイアログボックスで［アンインストール］をタップする

- ダイアログボックスが表示されない場合、試用期間が終了しています。

4 質問フォームより、理由に最も当てはまる回答を選択し、［OK］をタップする

Androidマーケットからダウンロードしたアプリケーションを管理する

Androidマーケットホームページより、［マイアプリ］をタップしてダウンロードしたアイテムを表示します。いずれかのAndroidマーケット画面より、[器]を押し［マイアプリ］をタップして画面に進みます。

ドコモマーケットを利用する

ドコモマーケットでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリケーションに簡単にアクセスすることができます。

ドコモマーケットを開く

1 ホーム画面で、▦をタップし、［ドコモマーケット］をタップする

- ブラウザが起動し、「ドコモマーケット」が表示されます。

❖**お知らせ**

- ドコモマーケットのご利用には、パケット通信（3G/GPRS）もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- ドコモマーケットへの接続およびドコモマーケットで紹介しているアプリケーションのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリケーションによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- ドコモマーケットで紹介しているアプリケーションには、一部有料のアプリケーションが含まれます。
- ドコモマーケットで紹介しているサイト、または、そこから取得された情報によって生じたいかなる損害についても、ドコモは責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ドコモマーケットで紹介しているアプリケーションの動作内容、使用目的への適合性、信頼性に関してドコモは責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行うアプリケーションによっては、お客様のFOMA端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報やFOMA端末に登録された個人情報などが、インターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用されるアプリケーションなどの提供元および動作の状況について十分にご確認の上ご利用ください。

- 本サイト上に掲載されている著作物（文書・写真・イラスト・動画・音声・ソフトウェアなど）の著作権は、ドコモまたは第三者が保有しており、著作権法その他の法律ならびに条約により保護されております。私的使用目的の複製、引用など著作権法上認められている範囲を除き、著作権者の許諾なしに、これらの著作物を複製、翻案、公衆送信などすることはできません。

アプリケーションを管理する

インストールされたアプリケーションを表示したり、設定を調整したりできます。多くのアプリケーションにインストールを補助するウィザードが付属しています。

提供元不明のアプリケーションのダウンロードを許可する

提供元不明のアプリケーションをダウンロードする前に、本体の設定でダウンロードを許可する必要があります。
ダウンロードするアプリケーションは発行元が不明な場合もあります。お使いのFOMA端末と個人データを保護するため、Androidマーケットなどの信頼できる発行元からのアプリケーションのみダウンロードしてください。

1 ホーム画面で［▦］を押し、［設定］▶［アプリケーション］をタップする

2 ［提供元不明のアプリ］チェックボックスにチェックを入れる

3 表示される注意文を読み、［OK］をタップする

ダウンロードしたアプリケーションを表示する

1 ブラウザ画面から［▦］を押し、［その他］▶［ダウンロード履歴］をタップする

❖**お知らせ**

- Androidマーケット、ドコモマーケットからダウンロードしたアプリケーションは表示されません。

FOMA端末のアプリケーションに許可されている動作を表示する

1 ホーム画面で［▦］を押し、［設定］をタップする

2 ［アプリケーション］▶［アプリケーションの管理］をタップする

3 表示したいアプリケーションをタップする

4 スクロールして許可されている動作を表示する

- すべての許可されている動作が表示されていない場合は、［すべて表示］をタップします。

アプリケーションを強制停止する

1 アプリケーションが応答しないというポップアップウインドウが表示されたときには、[強制停止] をタップする

❖お知らせ

- アプリケーションを強制停止したくないときには、[キャンセル] をタップしてアプリケーションの応答を待ってください。

アプリケーションのすべてのデータを消去する

- インストールされたアプリケーションのすべてのデータを消去する前に、アプリケーション内に保存されているデータも含めて、そのアプリケーションに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。

1 ホーム画面で [⊞] を押し、[設定] をタップする

2 [アプリケーション] ▶ [アプリケーションの管理] をタップする

3 データを消去したいアプリケーションをタップする

4 [データを消去] をタップする

5 [OK] をタップする

インストールされたアプリケーションを削除する

- インストールされたアプリケーションを削除する前に、アプリケーション内に保存されているデータも含めて、そのアプリケーションに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。
- いくつかのアプリケーションは削除できません。

1 ホーム画面で [⊞] を押し、[設定] をタップする

2 [アプリケーション] ▶ [アプリケーションの管理] をタップする

3 削除したいアプリケーションをタップする

4 [アンインストール] をタップする

5 [OK] をタップする

❖お知らせ

- Androidマーケットからダウンロード、インストールしたアプリケーションはすべてアンインストールすることができます。

その他のアプリケーション

Moxierメールを利用する

本FOMA端末では、Moxier同期を介して、アプリケーション画面の［Moxier メール］、［Moxierカレンダー］、［Moxierのタスク］、［Moxier連絡先］をタップするだけで、それぞれの情報を表示できるようになります。

1 ホーム画面で、▦をタップする

2 ［Moxierメール］をタップする

- Moxierメールの説明文が表示されますので、 > をタップしてください。

3 画面の指示に従って、必要な情報を入力する

❖お知らせ

- 詳しくは、http://www.sonyericsson.co.jp/so-01b/index.htmlをご参照ください。

OfficeSuite

OfficeSuiteを利用して、FOMA端末本体や、microSDカードからWord、Excelなどのファイルを閲覧できます。

OfficeSuiteを起動する

1 ホーム画面で、▦をタップする

2 ［OfficeSuite］をタップする

OfficeSuiteが起動します。

❖お知らせ

- 詳しくは、http://www.sonyericsson.co.jp/so-01b/index.htmlをご参照ください。

Quadrapop

Quadrapopは画面の上部から落ちてくるキャラクターから同じものを4つ集めて消すゲームです。
なお、日本語には対応しておりませんので、ご了承ください。

Quadrapopを起動する

1 ホーム画面で、▦をタップする

2 ［Quadrapop］をタップする

Quadrapopが起動します。

❖お知らせ

- 詳しくは、http://www.sonyericsson.co.jp/so-01b/index.htmlをご参照ください。

ポケット羅針盤

ポケット羅針盤を利用する

ポケット羅針盤は、本FOMA端末搭載の電子コンパス・モーションセンサー・GPSを利用した、多機能なアプリケーションです。
コンパス、ランドマーク、水平器、星空の4つの機能があります。

アイコン	機能	機能説明
	コンパス機能	• 電子コンパスを利用して東西南北を表示する機能です。
	ランドマーク機能	• 現在地からランドマークまでの距離と方角を知ることができます。 • プリセットされた国内外のランドマーク約100件のほか、お好みの場所をマイランドマークとして登録することができます。 • ランドマークをターゲット表示することができます。ターゲット表示では、現在地からのランドマークの方角を示すことができます。 • Googleマップを利用し、地図および航空写真上にランドマークを表示することもできます。
	水平器機能	• モーションセンサーを利用してFOMA端末本体の水平を測ることができます。 • 水平を測りながら写真を撮影することができるカメラモードを備えています。
	星空機能	• 現在の位置・時刻で鑑賞可能な星空を表示することができます。 • 星座の検索（ナビゲーション）を行うことができます。 • ウェブブラウザと連携し、星座の情報を表示することができます。

❖注意

- 電子コンパスは、地球の微小な磁場を感知して方位を算出しています。以下の場所では、計測の障害になったり、誤差が大きく発生する場合がありますので、それらがない場所に移動してから計測してください。
  - 建物（特に鉄筋コンクリート造り）、大きな金属の物体（電車、自動車）、高圧線、架線など
  - 金属（鉄製の机、ロッカーなど）、家庭電化製品（テレビ、パソコン、スピーカーなど）、永久磁気（磁気ネックレスなど）
- 地磁気の弱い場所では方位計測に影響する場合があります。

- 以下の場合は、方位計測の精度に影響を及ぼす恐れがありますので、電子コンパスの調整を行ってください。また、定期的に電子コンパスの調整を行うことをおすすめします。
  - ポケット羅針盤の起動直後や、FOMA端末を強い磁力に近づけた場合
  - 急激な温度変化をともなう環境に長時間置いた場合
  - FOMA端末が磁気を帯びた場合
- 電子コンパスを調整するには、FOMA端末を10秒程度、手首を返しながら大きく8の字に動かしてください。
- 以下の機能を利用する場合、データ接続可能な状態（3G/GPRS）にあるか、Wi-Fi接続が必要です。
  - ランドマーク機能でマップ表示／サテライト表示を利用する場合
  - 星空機能で詳細情報表示（ブラウザ起動）を利用する場合
- GPS機能をオンにすると、より高い精度での測位を行うことができます。ただし、これには視界が良好である必要があり、電力も多く要します。電池の消費を節約する場合はオフにしてください。GPS機能をオンにする方法の詳細は「GPS機能を有効にする」（P.189）をご参照ください。
- 「現在の地域」は、取得した位置情報をもとに自動で地域カテゴリを判別します。
  位置情報が取得できない場合は、最後に取得した位置情報をもとに判別されます。
- 水平器機能でカメラを使用する場合、撮影を行う前にmicroSDカードを挿入してください。FOMA端末で撮影した写真はすべてmicroSDカードに保存されます。microSDカードを挿入する方法の詳細は「microSDカードを取り付ける」（P.43）をご参照ください。

ポケット羅針盤を起動する

1 ホーム画面で、▦をタップする

2 ［羅針盤］をタップする

- 初回起動時はコンパス機能、2回目以降は前回終了時の機能が起動します。

機能を選択する

ポケット羅針盤では、回転式のメニュー（リボルバー）で機能を選択します。

1 画面をタップして、リボルバーメニューを表示する

2 リボルバーメニューにタップして、リボルバーを表示する

3 リボルバーをスライドで回転させ、利用する機能のアイコンにタップする

リボルバーメニュー

リボルバー

次ページへつづく

リボルバーをスライドで回転させ、利用する機能のアイコンをタップします。

電子コンパスを調整する

電子コンパスの動作が不安定な場合、調整方法の説明ダイアログが表示されます。

コンパス機能

電子コンパスを利用して東西南北を表示する機能です。アナログ表示とデジタル表示の2種類があります。

コンパス機能を起動する

1 リボルバーでコンパスアイコンにタップする

表示を切り替える

1 ⊞を押し、［デジタル］（デジタル表示中は［スタンダード］）にタップする

スタンダードコンパス

デジタルコンパス

ランドマーク機能

現在地からランドマークまでの距離と方角を表示する機能です。Googleマップを利用し、地図および航空写真上にランドマークを表示することもできます。

ランドマーク機能を起動する

1 リボルバーでランドマークアイコンにタップする

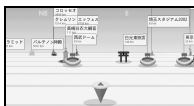
- 現在地の測位終了後、ランドマーク機能が起動します。

表示モードを選択する

1 **〔⊞〕を押し、［表示モード］をタップする**

2 **選択する表示モードをタップする**

- 以下の3種類から選択することができます。

ランドマーク表示モード	
パノラマ	現在地からランドマークまでの距離と方角を360度視点で表示します。
マップ	Googleマップを利用し、地図上に現在地とランドマークを表示します。
サテライト	Googleマップを利用し、航空写真上に現在地とランドマークを表示します。

パノラマ

マップ

サテライト

❖**お知らせ**

- パノラマ表示は横画面表示固定です。FOMA端末を横向きにしてご利用ください。
- マップ表示中およびサテライト表示中はリボルバーでの機能切替が利用できません。機能を切り替える場合、〔↩〕を押し、パノラマ表示モードに戻ってからリボルバーで機能を切り替えてください。
- マップ表示およびサテライト表示はGoogleマップを利用しており、場合によっては正しい位置を表示できない場合があります。また、一部地域では地図および航空写真が表示できません。

表示するランドマークを選択する

登録済みのランドマークから、お好みのカテゴリのランドマークを選択して表示することができます。

- 初期状態では、［マイランドマーク］、［最果ての地］、［海外］、「現在の地域」が表示されます。
- 同時に表示できるカテゴリは最大5つです。
- カテゴリが5つ選択されている場合、「現在の地域」の自動設定は行いません。

1 **〔⊞〕を押し、［ランドマーク選択］をタップする**

2 **[表示ON/OFF] アイコンをタップして、表示するランドマークカテゴリをオンに設定する**

表示 ON/OFF アイコン

ランドマークカテゴリ選択画面

ランドマークをターゲットに設定する

登録済みのランドマークから、お好みのランドマークをターゲット表示することができます。ターゲット表示では現在地とランドマークが直線で結ばれ、ランドマークの方角がわかりやすく表示されます。

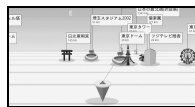
1 **[器] を押し、[ランドマーク選択] をタップする**

2 **お好みのランドマークカテゴリをタップする**

3 **ターゲット設定するランドマークを選択し、タップする**

- パノラマ画面に戻り、選択したランドマークがターゲット表示されます。
- ターゲット設定を解除するには、[器] を押し、[選択解除] をタップします。

カテゴリ選択画面

マイランドマーク選択画面

パノラマ画面

マイランドマークを登録する

お好みの場所を地図上で指定して、マイランドマークとして登録することができます。マイランドマークは最大20件の登録が可能です。

1 **[器] を押し、[マイランドマーク追加] をタップする**

2 **登録画面でピンをドラッグしてお好みの場所に移動し、［この位置に登録］をタップする**

3 **編集画面で各種情報を編集し、［マイランドマークへ登録］をタップする**

マイランドマーク編集項目	
マイランドマーク名称	各画面で表示されるマイランドマークの名称です。 最大20文字の入力が可能です。
マイランドマーク詳細	マイランドマークにタッチした際に表示される、ランドマークの説明文です。 最大500文字の入力が可能です。
ターゲットモードで表示する	チェックを入れてマイランドマークを登録すると、登録完了時に自動でターゲット表示されます。

マイランドマーク登録　マイランドマーク編集

マイランドマークを編集する

登録済みのマイランドマークの編集を行うことができます。

1 **を押し、［ランドマーク選択］をタップする**

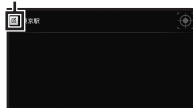
2 **［マイランドマーク］をタップする**

3 **編集するランドマークを表示し、編集アイコンをタップする**

4 **［編集］をタップする**

5 **「マイランドマークを登録する」同様、ランドマーク位置の登録および各種項目の編集を行い、［マイランドマークへ登録］をタップする**

カテゴリ選択

編集アイコン

ランドマーク選択

マイランドマークを削除する

登録済みのマイランドマークの削除を行うことができます。

1　⊞を押し、[ランドマーク選択]をタップする

2　[マイランドマーク]をタップする

3　編集するランドマークを表示し、編集アイコンをタップする

4　[削除]をタップする

5　[はい]をタップする

地図検索を行う（マップ／サテライト表示時）

マップ表示中／サテライト表示中は、任意の文字列を入力して地図検索を行うことができます。

1　⊞を押し、[検索]をタップする

2　検索する場所の住所・名称などを入力し、検索ボタンをタップする

- 検索した結果、ヒットした場所に検索結果ピンが表示されます。
- 検索した結果、候補が複数存在した場合、表示対象を選択する画面が表示されます。

水平器機能

モーションセンサーを利用して水平を測ることができる機能です。
カメラモードでは、水平を測りながら写真を撮影することができます。

水平器機能を起動する

1　リボルバーで水平器のアイコンをタップする

表示モードを選択する

1 **⊞を押し、[カメラモード]（カメラモード中は［シンプルモード]）をタップする**

水平器表示モード	
シンプルモード	気泡管水平器をイメージした水平器です。
カメラモード	カメラの映像に、モーションセンサーで取得した計測値を重ねて表示した水平器です。水平を測りながら写真撮影を行うことができます。

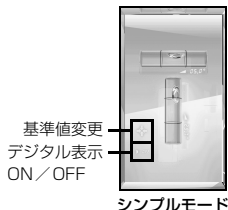
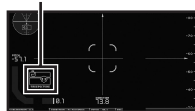
■ **シンプルモード**

基準値変更アイコンをタップすると、水平基準を変更することができます。
アイコンタップ時の本体の傾きが水平基準（傾き0度）にセットされます。

- ⊞ を押し、［リセット］をタップすると、水平基準をリセットすることができます。

■ **カメラモード**

画面左下のカメラアイコンをタップすると、画像を撮影することができます。
撮影した画像はmicroSDカードの/DCIM/ポケット羅針盤/内に保存されます。

シンプルモード

カメラモード

星空機能

現在の位置・時刻で鑑賞可能な星空を表示する機能です。

- 星空機能は横画面表示固定です。FOMA端末を横向きにしてご利用ください。

星空機能を起動する

1 リボルバーで星空のアイコンをタップする

- 現在地の測位終了後、星空機能が起動します。
- 画面をタップすると、各種機能のアイコンが表示されます。

星空画面の基本アイコン		
Slide	Slideモード切替	Autoモード中に表示され、タップするとSlideモードに切り替わります。Slideモードでは画面をスライドしてお好みの方角の星空を自由に表示できます。
Auto	Autoモード切替	Slideモード中に表示され、タップするとAutoモードに切り替わります。AutoモードではFOMA端末本体の向きを検知し、本体の向きに応じた方角の星空を表示します。
W	ズームアウト	タップするとズームアウトし、より広い範囲の星空を表示します。
T	ズームイン	タップするとズームインし、星座を大きく表示します。

- 画面に表示されている星座／恒星／星雲・星団をタップすると、タップした星座に関連する機能のアイコンが表示されます。

星座／恒星／星雲・星団をタップした際のアイコン表示		
i	詳細情報表示（ブラウザ起動）	タップするとウェブブラウザを起動し、選択した星についてWikipediaで検索した結果を表示します。
	写真表示※	タップすると選択した星雲・星団・銀河の実際の画像（写真）を表示します。 ※ 一部の星雲・星団・銀河のみ
	検索	タップすると選択した星座の検索を開始します。 星座検索の詳細については「星座検索」（P.185）をご参照ください。

星座検索

お好みの星座／恒星／星雲・星団の位置をナビゲーションする機能です。

1 **⊞を押し、［検索］をタップする**

2 **探したい星座／恒星／星雲・星団を選択する**

- 選択肢には現在の位置・時刻で鑑賞可能な星座／恒星／星雲・星団のみ表示されます。

3 **ナビゲーションアイコンが表示され、検索対象の星座／恒星／星雲・星団の見える方角が通知される**

- 本体の向き・傾きを変え、検索対象の星座が画面上に表示されると、ナビゲーションアイコンが消え検索が終了します。
- 検索を中断するには、ナビゲーションアイコン表示中に⊞を押し、［検索解除］をタップします。
- 星空表示中にお好みの星座／恒星／星雲・星団をタップし、検索アイコン🔍を選択しても検索を開始することができます。

ナビゲーションアイコン

星座検索中画面

便利な機能

位置情報サービス

カレンダー

アラーム

バックアップと復元

位置情報サービスについて

現在地の測位には、モバイルネットワークとWi-Fi（ワイヤレスネットワーク）またはGPSを使用する2つの方法があります。ワイヤレスネットワークでは、スピーディに現在地が測位されますが、正確さにばらつきがある場合があります。GPSを使用すると、多少時間がかかることはありますが、正確な現在地が測位されます。現在地を測位するときに、ワイヤレスネットワークとGPSの両方を有効にして、両方のメリットを得ることができます。

GPS機能

本FOMA端末には、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。いくつかのGPS機能は、インターネットを使用します。データの転送には、課金が発生する場合があります。

現在地の測位にGPS受信機を必要とする機能を使用するときは、空を広く見渡せることを確認してください。数分経ってもGPS受信機で現在地を測位できない場合は、別の場所に移動する必要があります。測位しやすくするために、動かず、GPSアンテナを覆わないようにしてください。GPS機能を初めて使用するときは、現在地の測位に最大で10分程度かかることがあります。

- GPSアンテナ位置

- GPSシステムのご利用には十分注意してください。システムの異常などにより損害が生じた場合、弊社では一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。
- FOMA 端末の故障、誤動作、異常、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、弊社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FOMA 端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、弊社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、弊社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 車の日よけに金属が使用されていると、GPSを受信しにくくなることがあります。
- 衛星利用測位（GPS）は、米国防省により構築され運営されています。同省がシステムの精度や維持管理を担当しています。このため、同省が何らかの変更を加えた場合、GPSシステムの精度や機能に影響が出る場合があります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確でない場合があります。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- 建物の中や直下
- かばんや箱の中
- 密集した樹木の中や下
- 自動車、電車などの室内
- FOMA 端末の周囲に障害物（人や物）がある場合
- 地下やトンネル、地中、水中
- ビル街や住宅密集地
- 高圧線の近く
- 大雨、雪などの悪天候

❖注意

- 一部、または全部のGPS機能を使用できない場合は、契約内容にインターネットの利用が含まれていることをご確認のうえ、「ネットワークの接続設定」（P.55）をご参照ください。
- 弊社はナビゲーションサービスに限らず、いずれの位置情報サービスの正確性も保証しません。

GPS機能を有効にする

1 ホーム画面で[メニュー]を押し、［設定］をタップする

2 ［現在地情報とセキュリティ］をタップする

3 ［GPS機能を使用］のチェックボックスにチェックを入れる

4 注意文を読んで［同意する］をタップする

ワイヤレスネットワークでの現在地検索を有効にする

- モバイルネットワークとWi-Fiを使った現在地検索を有効にします。

1 ホーム画面で[メニュー]を押し、［設定］をタップする

2 ［現在地情報とセキュリティ］をタップする

3 [ワイヤレスネットワークを使用]のチェックボックスにチェックを入れる

4 注意文を読んで[同意する]をタップする

5 位置情報についての注意文を読んで、[同意する]をタップする

- ワイヤレスネットワークを利用した位置情報は個人を特定しない形で収集されます。なお、アプリケーションが起動していない場合でも位置情報を収集することがあります。

地図を使用する

Googleマップで、現在地の表示、別の場所の検索、および経路の検索を行うことができます。Googleマップを起動すると、近くの基地局からの情報によって、おおよその現在地が表示されます。GPS受信機が現在地を測位すると、現在地はより正確な場所に更新されます。

❖お知らせ

- 現在地を取得する前に位置の設定を有効にしてください。
- FOMA端末を横向きにしても自動的に画面の向きが変わらないときは[設定]▶[サウンド&画面設定]をタップして[画面の向き]のチェックボックスにチェックを入れます。
- Googleマップを利用するには、データ接続可能な状態(3G/GPRS)にあるか、Wi-Fi接続が必要です。
- Googleマップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。
- 3G/Wi-Fiの接続のみでは、現在位置が検出されない場合があります。
- Googleにより最新のサービス、機能が提供される場合があります。

Googleマップを使用する

1 ホーム画面で、▦をタップする

2 [マップ]をタップする

地図上で現在地を検出する

1 マップ画面で[MENU]を押し、[現在地]をタップする

- 現在地が地図上で青い矢印の点滅で表示されます。

ストリートビューを見る

- ストリートビューは対応していない地域もあります。

1 マップ画面でストリートビューが見たい地点を長くタッチする

2 表示された吹き出しをタップする

3 （ストリートビュー）をタップする

- ストリートビュー表示中に［MENU］を押して、[コンパスモード] をタップするとFOMA端末の地磁気コンパスとストリートビューで表示される方角が連動します。

興味のある場所を検索する

1 **マップ画面で［MENU］を押し、［検索］をタップする**

2 **検索ボックスに検索する場所を入力する**

- 住所、都市、ビジネスの種類や施設（例えば、ロンドン　美術館）を入力できます。
- 情報を入力すると、以前に検索または参照したすべての場所のリストが画面に表示されます。メニューで住所をタップし、地図上でその位置を表示することもできます。

3 **をタップする**

- 画面上のアイコンをタップして表示することもできます。

4 **地図上のをタップしてリストを表示させ、目的の場所をタップする**

- 地図上に吹き出しがついている場所が目的の場所である場合は、吹き出しをタップしてもオプションを表示できます。
- 検索結果が1件だけのときは、リストは表示されません。

5 **オプションをタップする**

- ［地図で見る］［経路を検索］［電話をかける］［連絡先に追加］などが利用できます。また、［レビュー］タブ、［詳細］タブも利用できます。場所によって利用できるオプションは異なります。

❖**お知らせ**

- アプリケーションの「プレイス」を利用すると、現在地を中心にして「レストラン」「コーヒー」「バー」「ホテル」「アトラクション」「ATM」「ガソリン」のカテゴリを選択して検索し、地図表示できます。検索カテゴリは追加することもできます。

地図を拡大／縮小する

1 **をタップして拡大／縮小する**

❖**お知らせ**

- 画面をダブルタップして拡大／縮小することもできます。

レイヤを変更する

地図上に重ねる情報を選択できます。

1 **マップ画面で[田]を押し、[レイヤ]をタップする**

2 **[渋滞状況][航空写真][地形][バズ][Latitude]のいずれかをタップする**

- [マイマップ][Wikipedia][路線図]を選ぶときは[その他のレイヤ]をタップします。
- 渋滞状況と路線図は提供地域が限定されています。

渋滞状況	渋滞状況を表示します。
航空写真	航空写真を表示します。
地形	地形を表示します。
バズ	その地点からのつぶやき(バズ)を表示します。
Latitude	Latitudeに参加します。
マイマップ	パソコンで作成したマイマップを閲覧できます。マイマップは本FOMA端末からは閲覧するだけで作成できません。
Wikipedia	Wを表示します。 Wをタップするとその場所に関するWikipediaの記事を閲覧できます。
路線図	路線情報を表示します。

道案内を取得する

Googleマップを利用して、目的地への詳しい道案内を取得できます。

1 **マップ画面で[田]を押し、[経路]をタップする**

2 **上のテキストボックスに出発地を入力し、下のテキストボックスに目的地を入力する**

- テキストボックス右の☆をタップして[現在地][連絡先][地図上の場所]から出発地、目的地を選択することもできます。

3 **移動の方法を[車](自動車)[電車](公共交通機関)[徒歩](徒歩)のいずれかをタップして選択する**

4 **[実行]をタップする**

- 目的地への道案内がリスト表示されます。

5 **公共交通機関で検索した場合には、リストの中から好みの経路をタップする**

- [より早い時刻][より遅い時刻]をタップして前後の時間の経路を検索できます。
- [その他のオプション]をタップして[時刻][料金][乗換回数]での並び替えや、有料特急や空路の利用を設定できます。

- 自動車や徒歩で経路検索した場合は、経路が表示されています。

6 ［地図で見る］をタップする

- 経路が地図で表示されます。
- ［地図で見る］の下に表示される項目をタップすると乗換や方向転換などの経路上のポイントが地図で表示されます。
- 地図表示上で▤をタップするとリスト表示に戻ります。
- 道案内の表示や探索を終了したら、マップ画面で⊞を押して［レイヤ］をタップし、表示されている経路をタップしてチェックを外すか、［地図をクリア］をタップします。

❖**お知らせ**

- アプリケーションの「ナビ」を利用すると、現在地を出発点にした経路検索が簡単にご利用いただけます。

地図をクリアする

表示されたレイヤや経路検索結果などを消去します。

1 マップ画面で⊞を押し、［レイヤ］をタップする

2 ［地図をクリア］をタップする

- クリアする内容がない場合には［地図をクリア］はタップできません。

Google Latitudeで友人の現在地を確認する

Google Latitudeを利用すると、地図上で友人と位置を確認しあったり、ステータスメッセージを共有したりできます。Latitude上では、メッセージ（SMS）やEメールを送ったり、電話をかけたり、友人の現在地への経路を検索したりできます。
位置情報は自動的に共有されません。Latitudeに参加して自分の位置情報を提供する友人を招待するか、友人からの招待を受ける必要があります。

Latitudeに参加する

1 地図の表示中に⊞を押し、［Latitudeに参加］をタップする

- 初めてLatitudeに参加するときは、Googleのプライバシーポリシーに同意するか同意しないかを確認するメッセージが表示されます。
- 一度Latitudeに参加すると、メニュー項目は［Latitude］に変わります。

Latitudeを開く

Latitudeに参加すると、画面を開いて友人の現在地や更新情報を確認することができます。

1 地図の表示中に［メニュー］を押し、［Latitude］をタップする

友人を招待して位置情報を共有する

Latitudeに参加すると、自分の位置情報を友人と共有することができます。自分が招待した友人や自分を招待した友人にだけ位置情報を見せることができます。

1 Latitudeを開いて［メニュー］を押し、［友人を追加］をタップする

2 メニュー画面で［連絡先から選択］または［メールアドレスから追加］をタップする

- ［連絡先から選択］をタップすると、すべての連絡先がリスト表示されスクロールすることができます。招待したい相手の連絡先をいくつでも選ぶことができます。
- ［メールアドレスから追加］をタップすると、招待したい友人のEメールアドレスを1つまたは複数入力できます(アドレスが複数の場合はカンマで区切ります)。

3 画面下の［友人を追加］をタップする

- 共有リクエストの送信確認ダイアログボックスが開きます。
  ［メールアドレスから追加］をタップしたときは、確認なしに共有リクエストが送信されます。

4 共有リクエストを送信する相手にチェックが入っていることを確認して［はい］をタップする

- 共有リクエストを送信したくない相手はタップしてチェックを外します。
- 友人がすでに Latitude を利用している場合は、友人はLatitude上でEメールリクエストや通知を受け取ります。Latitudeに参加していない場合は、友人は、GoogleアカウントでLatitudeに参加するよう招待するEメールリクエストを受け取ります。

招待に応じる

友人からLatitudeで位置情報を共有する招待を受けたときは、次の中から回答を選ぶことができます。

受け入れて自分の現在地も教える	お互いの位置情報を見ることができます。
受け入れるが自分の所在地は教えない	自分は友人の位置情報を見ることができますが、友人からは自分の位置情報を見ることができません。

承認しない	お互いの位置情報は共有されません。

友人の現在地を確認する

友人の現在地を、地図かリストで確認することができます。
マップを開くと、友人の現在地が表示されます。友人はそれぞれ写真アイコンで表示され、おおよその位置に矢印が示されます。友人が都市レベルの位置情報の共有を選択している場合は、その友人のアイコンには矢印がなく、都市の中央にアイコンが表示されます。
友人がGoogle トークを利用している場合は、友人の写真の下に丸いアイコンが現れ、オンラインステータス（オンライン、取り込み中など）が表示されます。詳細は、「Google トーク（チャット）」（P.92）をご参照ください。
友人のプロフィールを見たり接続したりするには、写真をタップします。友人の名前が吹き出しに表示されます。吹き出しをタップすると、画面が開いて、友人の詳細情報や接続オプションを見ることができます。
Latitudeを開くと、Latitudeの友人リストが、最後に取得された位置情報、ステータスなどの概要とともに表示されます。リストの友人をタップすると、画面が開いて、友人の詳細情報や接続オプションを見ることができます。

友人との接続と接続の管理

地図上で友人の連絡先情報の吹き出しをタップするか、リスト表示された友人をタップして、友人のプロフィールを開きます。プロフィール画面で、友人と通信したりプライバシー設定をしたりすることができます。

（地図で見る）	友人の現在地を地図上で表示します。
（経路を検索）	友人の現在地までの経路を検索します。
（ストリートビュー）	友人の現在地をストリートビューで表示します。
共有オプション	「最新の現在地を共有」「都市レベルの現在地のみ共有」「この友人に現在地を教えない」から選択します。 「都市レベルの現在地のみ共有」を選択すると、都市レベルの現在地のみ共有し、ストリートレベルでは共有しません。友人側では、写真アイコンは現在地の都市の中央に表示されます。
この友人を削除	友人をリストから削除し、位置情報の共有を完全に停止します。

共有情報を管理する

友人への見え方や見える時間を管理することができます。Googleアカウントには、Latitudeに最後に送られた位置情報だけが保存されます。Latitudeを停止したり、情報を非公開にしている場合は、位置情報は保存されません。

1 Latitudeを開いて、自分の名前をタップし、[プライバシー設定を編集]をタップする

プライバシー設定は次の中から選択できます。

現在地を自動検出	移動すると、Latitudeが位置を自動的に検出し位置情報を更新します。更新の頻度は、電池パックの充電レベルやいつ移動したかなど、いくつかの要素をもとに決められます。
現在地を設定	アドレスを入力したり連絡先から選んだりした相手と共有する位置情報を設定します。地図上の地点を指定するか、Latitudeで再度現在地情報の共有を行います。
現在地を非表示	すべての友人に位置情報を公開しません。
Latitudeを停止	Latitudeを停止し、位置情報やステータスの共有を停止します。Latitudeにはいつでも再び参加できます。

カレンダーについて

本FOMA端末にはスケジュールを管理するカレンダーが内蔵されています。Googleアカウントを持っている場合は、FOMA端末のカレンダーとウェブカレンダーを同期することができます。「Google Sync」(P.156)をご参照ください。

- カレンダーを起動する前に、Googleアカウントの登録が必要です。→P.50
  Googleアカウントの登録前にカレンダーを起動するとGoogleアカウントの登録確認画面が表示されます。画面の表示に従ってアカウントを登録してください。

カレンダー表示を設定する

1 ホーム画面で、▦をタップし、[カレンダー]をタップする

2 [MENU]を押し、[日]、[週]をタップして選択する

- 「日」の表示中には[週]、[月]を選択でき、「週」の表示中には[日]、[月]を選択できます。

複数のカレンダーを表示する

1 **ホーム画面で、▦をタップし、［カレンダー］をタップする**

2 **[⊞]を押し、［その他］▶［マイカレンダー］をタップする**

3 **表示するカレンダーのチェックボックスにチェックを入れる**

カレンダーの予定を作成する

1 **ホーム画面で、▦をタップし、［カレンダー］をタップする**

2 **[⊞]を押し、［予定を作成］をタップする**

3 **予定のタイトル、日時、場所、および内容を入力する**

4 **複数のカレンダーアカウントを持っている場合は、目的のカレンダーを選択する**

5 **必要に応じて、予定の繰り返し間隔を選択する**

6 **予定の通知間隔を選択する**

- 予定に新しい通知を追加するには、⊕をタップします。

7 **［完了］をタップする**

カレンダーの予定を表示する

1 **ホーム画面で、▦をタップし、［カレンダー］をタップする**

2 **表示する予定をタップする**

- 月表示では上下にフリックすると、前後の月を表示します。日表示、週表示では左右にフリックすると前後の日、週を表示します。

予定のリマインダーを解除またはスヌーズを設定する

1 **ステータスバーにリマインダーアイコン（1）が表示されたら、ステータスバーを下にドラッグする**

- 通知パネルが開きます。
- リマインダーアイコンは通知を設定した時刻になると表示されます。

2 **目的の予定をタップする**

3 **［通知を消去］または［すべてスヌーズ］をタップする**

- 該当の予定のほかにも保留中の予定がある場合、それらの予定も同じ画面に表示されます。
- すべてスヌーズにタッチすると、5 分後にすべてのカレンダーをスヌーズします。
（スヌーズとは、いったんアラームのスイッチを切ってもしばらくするとアラームが鳴るようにする機能です。）

カレンダーの設定を変更する

カレンダーの表示、リマインダーの通知方法、着信音、バイブレーション、通知間隔を設定します。

1 **ホーム画面で、▦をタップし、[カレンダー]をタップする**

2 **[⊞]を押し、[その他] ▶ [設定]をタップする**

3 **変更する設定を選択する**

アラームについて

FOMA端末をアラームとして使用できます。アラーム音やバイブレーションを設定できます。

アラーム画面を開く

1 **ホーム画面で、▦をタップする**

2 **[アラーム]をタップする**
アラーム画面が表示されます。

アラームをオンにする

1 **アラーム画面で使用するアラームのチェックボックスにチェックを入れる**

アラームを設定する

1 **アラーム画面で設定するアラームをタップする**

2 **[時刻]をタップする**

3 **＋または－にタッチして、時刻を合わせる**

4 **[午前]をタップして[午後](または反対)に変更する**
- 時間形式の設定(P.53)が24時間表示の場合には、午前、午後の設定は不要です。

5 **[設定]をタップする**

6 **[完了]をタップする**

アラーム音を設定する

1 **アラーム画面で設定するアラームをタップする**

2 **[アラーム音]をタップする**

3 **アラーム音を選択する**

4 **[OK]をタップする**

アラームのバイブレーションをオンにする

1 **アラーム画面で設定するアラームをタップする**

2 **［バイブレーション］にチェックを入れる**

アラームを繰り返す

1 **アラーム画面で設定するアラームをタップする**

2 **［繰り返し］をタップする**

3 **アラームを鳴らす曜日にチェックを入れる**

4 **［OK］をタップする**

❖**お知らせ**

- 繰り返しでいずれの曜日も設定しない場合、「繰り返しなし」と表示され、アラームは1回のみで終了となります。

アラーム名を設定する

1 **アラーム画面で設定するアラームをタップする**

2 **［ラベル］をタップする**

3 **名前を入力する**

4 **［OK］をタップする**

アラームをオフにする

1 **アラーム画面でオフにするアラームのチェックを外す**

アラームをサイレントモードに設定する

マナーモード中にアラーム音を鳴らさないように設定します。

1 **アラーム画面で、［メニューキー］を押す**

2 **［設定］をタップする**

3 **［マナーモード中のアラーム］のチェックを外す**

アラームの音量を設定する

1 **アラーム画面で、［メニューキー］を押す**

2 **［設定］をタップする**

3 **［アラームの音量］をタップする**

4 **スライダをタップもしくはドラッグして音量を選択する**

5 **［OK］をタップする**

スヌーズ間隔を設定する

アラームの繰り返し間隔の設定をします。

1 アラーム画面で、[メニュー]を押す

2 [設定] をタップする

3 [スヌーズ間隔] をタップする

4 スヌーズする間隔をタップする

アラームが鳴っているときのサイドボタンの動作を設定する

1 アラーム画面で、[メニュー]を押す

2 [設定] をタップする

3 [サイドボタンの動作] をタップする

4 [なし] [スヌーズ] [解除] のいずれかをタップする

- [なし] は動作なし、[スヌーズ] はスヌーズ動作、[解除] はスヌーズの解除をします。

アラームを削除する

1 アラーム画面で削除するアラームをタップする

2 アラーム設定画面で、[メニュー]を押す

3 [アラームを削除] をタップする

❖お知らせ

- アラームでスヌーズが登録されているとき、そのアラームを無効または削除にしても、スヌーズは解除されません。

アラームのカスタマイズ

アラーム画面の時計の表示を変更してカスタマイズすることができます。

1 アラーム画面で、時計をタップする

- 表示可能な時計が画面下部に表示されます。

2 画面下部の時計の上を左右にフリックして選択する時計を表示する

3 選択する時計をタップする

❖お知らせ

- 時計を非表示にするには、アラーム画面で [メニュー] を押し、[時計を隠す] をタップします。
- 設定したアラームの日時表示を変更するには、「日付と時刻の設定」(P.52)をご参照ください。

アラームが鳴っているときにアラームを止める

1 アラームが鳴っているときのダイアログボックスで [停止] または [スヌーズ] をタップする

- [停止] ではアラームが止まります。[スヌーズ] ではアラームを一定時間止めて、再度鳴らします。

データのバックアップと復元

本FOMA端末の「Marketのアプリケーション」「システム設定」「ブックマーク」「メッセージ」「通話ログ」「連絡先」のデータのすべて、または選択してバックアップファイルとして保存・復元できます。バックアップファイルはmicroSDカードに保存されます。

バックアップファイルを保存する

1　ホーム画面で、▦をタップし、[バックアップと復元] をタップする

2　[バックアップ] ▶ [新規追加] をタップする

バックアップファイルのファイル名入力画面が表示されます。

3　ファイル名を入力して、[続行] をタップする

バックアップするデータの選択画面が表示されます。

4　バックアップするデータにチェックを入れる

Marketのアプリケーション	Androidマーケットからダウンロードしたアプリケーションなどをバックアップします。
システム設定	アラームやユーザー辞書などをバックアップします。
ブックマーク	Webブラウザのブックマークをバックアップします。
メッセージ	メッセージ（SMS）をバックアップします。
通話ログ	電話の発着信履歴や不在着信の履歴をバックアップします。
連絡先	連絡先をバックアップします。

5　[続行] をタップする

バックアップが実行され、完了すると「OK」と表示されます。もう一度［続行］をタップすると、「バックアップと復元」のメニューに戻ります。

定期的にバックアップするように設定する

バックアップを定期的に実行するように設定できます。毎日／毎週（曜日を選択）／毎月（日にちを選択）いずれかのバックアップ期間を選択して、「バックアップ開始時刻」を設定します。

1　ホーム画面で、▦をタップし、[バックアップと復元] をタップする

2　[スケジュール] をタップする

次ページへつづく

3 バックアップのスケジュールを設定する

中止	設定したバックアップのスケジュールを中止します。
毎日	毎日決まった時刻にバックアップファイルを作成します。
毎週	曜日にチェックを入れて毎週同じ曜日（複数選択可）にバックアップファイルを作成します。
毎月	日付カレンダーで選択した日（複数選択可）にバックアップファイルを作成します。
バックアップ開始時刻	毎日／毎週／毎月で設定した日のバックアップ開始時刻を設定します。

4 ［続行］をタップする

5 バックアップするデータにチェックを入れ、［続行］をタップする

バックアップファイルを復元する

1 ホーム画面で、▦をタップし、［バックアップと復元］をタップする

2 ［復元］をタップする

バックアップファイルの一覧画面が表示されます。

3 復元するバックアップファイルをタップする

4 復元する内容にチェックを入れて［続行］をタップする

注意画面が表示されます。［データの復元］をタップすると復元を開始します。復元が完了すると「OK」と表示されます。もう一度［続行］をタップして「バックアップと復元」のメニューに戻ります。

■ Marketアプリケーションを復元する場合

手順4の後、［データの復元］をタップし、復元するアプリケーションにチェックを入れ、［復元］をタップします。

- Market アプリケーションを復元する場合、アプリケーションの一覧画面が表示されます。復元するアプリケーションを選択し、［復元］をタップすると「マーケット」アプリケーションが起動され、アプリケーションをダウンロードし、インストールできます。

❖お知らせ

- 本体にバックアップを復元する際、最後にバックアップを実施してから行った変更はすべて上書きされます。

文字入力

ソフトウェアキーボードの文字入力

メッセージの作成や電話帳の登録など、文字入力欄をタップすると、タッチパネルにソフトウェアキーボードが表示されます。本FOMA端末の日本語入力では、12キーとQWERTYの2種類のソフトウェアキーボードのスタイルを切り替えて使用できます。

■ 12キーソフトウェアキーボード

日本語を「かな入力」で行う場合に使用します。

縦画面での12キーソフトウェアキーボード

横画面での12キーソフトウェアキーボード

■ QWERTYソフトウェアキーボード

日本語を「ローマ字入力」で行う場合に使用します。

縦画面でのQWERTYソフトウェアキーボード

横画面でのQWERTYソフトウェアキーボード

❖お知らせ

- 上記はPOBox Touch（日本語キーボード）のソフトウェアキーボードです。キー表示は入力画面や文字種により変わります。

キーボードを切り替える

1 **文字入力画面で、文字種アイコン 文字あAa12 を長くタッチする**

2 **／ をタップする**

- ：12キーソフトウェアキーボードを表示します。
- ：QWERTYソフトウェアキーボードを表示します。

❖**お知らせ**

- 文字入力画面から戻るときは、[戻る]を押します。
- お買い上げ時は、QWERTYソフトウェアキーボードに設定されています。その他、「予測変換」「入力ミス補正」「自動スペース入力」のオプション設定がオンに設定されています。

12キーソフトウェアキーボードでの文字入力

日本語入力を「かな入力」で行う場合は、12キーソフトウェアキーボードを使用します。

■ 各タッチキーの主な機能（12キーソフトウェアキーボード）

12キーソフトウェアキーボード画面で表示されている次のアイコンをタップすると、文字種の変更など、入力操作の切り替えを行うことができます。

アイコン	機　能
[文字 あAa12]	12：半角数字入力 あ：ひらがな入力 Aa：半角英字入力
[文字 あAa12] **長くタッチ**	文字種切替ウィンドウを表示します。 **文字種切り替え**：[全]（全角）、[半]（半角） **キーボード切り替え**：[12キー]／[QWERTY]
[☺]	タップするたびに半角記号・全角記号・顔文字の一覧を表示します。
[☺] **長くタッチ**	プラグインアプリの一覧を表示し、「定型文」を起動すると、「インターネット」「あいさつ」「ビジネス」「返事」「プライベート」の各カテゴリから定型文を選択して入力できます。
[↺]	1つ前の文字を表示（逆順）します。
[Undo]	変換確定後に表示され、変換前の表示に戻ります。
[◀]	カーソル移動：左へ移動します。タッチしたままで連続移動します。変換時は変換範囲を変更します。
[▶]	カーソル移動：右へ移動します。タッチしたままで連続移動します。変換時は変換範囲を変更します。 未確定文字列があり、かつカーソルが右端にある状態でタップすると、最後尾と同一文字を入力します。
[確定]	入力文字、変換文字を確定します。入力・変換が確定している場合は、カーソル位置で改行します。
[⌫]	カーソル位置の前の文字を削除します。長くタッチしたままで連続して削除できます。
[␣]	直変換候補の1つ目に表示されている候補を表示します。文字未入力時にスペースを入力します。

※ 入力した文字がある場合、入力した文字列の目的の箇所をタッチするだけでカーソルを移動できます。

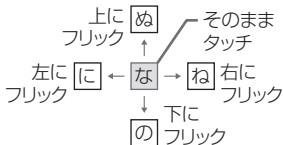
■ 12キーソフトウェアキーボードでの文字入力

同じキーに配列された文字を続けて入力するには、次のように操作します。

- 「あお」と入力する場合
  ①「あ」を1回タップする
  ② ▸ をタップして「あ」を5回タップする
- 「ca」と入力する場合
  ①「ABC」を3回タップする
  ② ▸ をタップして「ABC」を1回タップする

■ フリック入力

フリック入力では、タップを繰り返さずに上下左右にフリックして各行の文字を入力できます。

- **例：「な」行を入力する場合**
  「な」は指をフリックせずタッチだけで入力できます。「に」は左、「ぬ」は上、「ね」は右、「の」は下にそれぞれフリックして入力できます。

- 大文字／小文字の切り替えや濁点の付加は、大⇔小をタップして行います。
- フリック入力は、お買い上げ時の状態で利用できるように設定されています。ご利用にならない場合は、次の操作であらかじめ解除できます。
  ① ホーム画面で ⊞ を押し、［設定］をタップする
  ②［言語とキーボード］→［POBox Touch］をタップする
  ③［フリック入力］のチェックボックスのチェックを外す
- フリック入力時にフリックせずに繰り返しタップ（トグル）しても入力できるように設定することができます。
  ① ホーム画面で ⊞ を押し、［設定］をタップする
  ②［言語とキーボード］→［POBox Touch］をタップする
  ③［トグル入力］のチェックボックスにチェックを入れる

QWERTYソフトウェアキーボードでの文字入力

日本語入力を「ローマ字入力」で行う場合は、QWERTYソフトウェアキーボードを使用します。

■ 各タッチキーの主な機能（QWERTYソフトウェアキーボード）

QWERTYソフトウェアキーボード画面で表示されている次のアイコンをタップすると、文字種の変更など、入力操作の切り替えを行うことができます。

アイコン	機　能
文字あAa12	12：半角数字入力 あ：ひらがな入力 Aa：半角英字入力
文字あAa12 長くタッチ	文字種切替ウィンドウを表示します。 **文字種切り替え**：全（全角）、半（半角） **キーボード切り替え**：／
☻	タップするたびに半角記号・全角記号・顔文字の一覧を表示します。
☻ 長くタッチ	プラグインアプリの一覧を表示し、「定型文」を起動すると、「インターネット」「あいさつ」「ビジネス」「返事」「プライベート」の各カテゴリから定型文を選んで入力できます。
、。？！	句読点、？、！を入力します。 左右にフリックして、（スペース）・～…「」（）を入力できます。
◀	カーソル移動：左へ移動します。変換時は変換範囲を変更します。
▶	カーソル移動：右へ移動します。変換時は変換範囲を変更します。 未確定文字列があり、かつカーソルが右端にある状態でタップすると、最後尾と同一文字を入力します。
確定	入力文字、変換文字を確定します。入力・変換が確定している場合は、カーソル位置で改行します。
⌫	カーソル位置の前の文字を削除します。長くタッチしたままで連続して削除します。
／変換／⇧	日本語（ローマ字）入力時に、をタッチすると、「各種設定」「キーボード種別変更」の設定を変更できます。ローマ字入力でかな入力して変換をタッチすると漢字変換候補を表示できます。 英字入力時に⇧をタッチすると、大文字／小文字を切り替えて表示できます。 数字入力時に⇧をタッチすると、キー入力できる記号を切り替えて表示できます。

※ 入力した文字がある場合、入力した文字列の目的の箇所をタッチするだけでカーソルを移動できます。

■ 表示するキーや記号をカスタマイズする

日本語入力でQWERTYソフトウェアキーボードに使用頻度の低いキー（Q、X、Cなど）を表示しないようにしたり、、。？！に表示される記号（12個）をよく使うものに入れ替えたりすることができます。

- 使用頻度の低いキーを表示しないようにするには、次の操作で設定します。
  ① QWERTYソフトウェアキーボードで文字入力時に をタップする
  ② ［各種設定］→［表示キー選択］をタップする

  ③ 表示しないキーのチェックボックスのチェックを外す
  ④ ［OK］をタップする
- キーに表示される12個の記号を入れ替えるには次の操作を行います。
  ① QWERTYソフトウェアキーボードで文字入力時に をタップする
  ② ［各種設定］→［アシスト記号変更］をタップする
  QWERTYソフトウェアキーボードに表示される12個の記号の一覧が表示されます。

  ③ 表示させたい記号を表示させたい位置に入力する
  上から順にフリックして表示される記号グループ（4個×3段）になります。
  ④ ［OK］をタップする

文字種を切り替える

文字入力画面で をタップするたびに、「ひらがな漢字」→「半角英字」→「半角数字」の順に文字種が切り替わります。また、 を長くタッチして文字種メニューを表示すると、ソフトウェアキーボードの選択と「全角」「半角」の変換を選択できます。

❖お知らせ

- 文字入力画面によっては、特定の文字種のみに限定されたり、選択できる文字種が制限されていたりする場合があります。

テキストの編集

文字入力中にテキストボックスを長くタッチして「テキストを編集」メニューを表示できます。入力した文字のコピー、切り取り、貼り付けなどができます。

文字入力の設定

入力方法の選択

本FOMA端末では、入力方法（キーボード種別変更）を「スタンダードキーボード」、「POBox Touch」、「Chinese keyboard」、「韓国語キーボード」、「Androidキーボード」から選択できます。日本語入力をする場合は、「POBox Touch」を選択します。お買い上げ時は「POBox Touch」（日本語入力）に設定されています。
「Androidキーボード」は、おもに英語入力する場合に、「スタンダードキーボード」は、日本語・英語以外の言語で入力する場合に選択します。
入力方法（キーボード種別変更）は、文字入力中に変更することができます。

1 文字入力画面でテキストボックスを長くタッチする

2 ［入力方法］▶［スタンダードキーボード］／［POBox Touch］／［Chinese keyboard］／［韓国語キーボード］／［Androidキーボード］をタップする

❖お知らせ

- 入力言語を変更するには、ホーム画面で [MENU] を押して、［設定］▶［言語とキーボード］▶［スタンダードキーボード］▶［入力言語］をタップして、使用する言語を選択します。
- 入力方法の選択は、QWERTYソフトウェアキーボードで文字入力中に [設定アイコン] をタップして、［キーボード種別変更］をタップして選択することもできます。

アシストキーボードを選択する

QWERTYソフトウェアキーボードでひらがな漢字入力する場合に、よく使用するキーの表示幅を大きく、タップしやすくするようにアシストキーボードを変更することができます。

1 ホーム画面で [MENU] を押し、［設定］▶［言語とキーボード］をタップする

2 ［POBox Touch］▶［アシストキーボード選択］をタップする

3 ［ワイド］／［ハイライト］／［ダイナミック］／［ノーマル］のいずれかをタップする

ワイド
入力時によく使うキーの幅を広くタップしやすく表示します。

次ページへつづく

ハイライト

入力時によく使うキーの幅を広くして、次に入力が予測されるキーをハイライト表示します。

ダイナミック

次に入力が予測されるキーの幅をさらに広くタップしやすくして、ハイライト表示します。

ノーマル

キーの幅を均等に表示します。

❖お知らせ

- QWERTY ソフトウェアキーボードの文字入力画面から、キーボードタイプを変更することもできます。文字種が「ひらがな漢字」のキーボードで、 をタップし、［各種設定］▶［アシストキーボード選択］をタップします。

その他のソフトウェアキーボード設定

キーボード種別ごとに、キー操作音やキー操作バイブなど入力に伴う各種設定を行うことができます。

1. **ホーム画面で を押し、［設定］▶［言語とキーボード］をタップする**
2. **［POBox Touch］／［Chinese keyboard］／［Androidキーボード］／［韓国語キーボード］をタップする**
3. **［キー操作音］／［キー操作バイブ］／［キーポップアップ］／［自動大文字変換］などにチェックを入れるまたはチェックを外す**
   - 設定できる項目は、キーボードの種類により異なります。

❖お知らせ

- 「キー操作音」は、キーをタップしたときに音を出すか出さないかを設定します。「キー操作バイブ」は、キーをタップしたときに振動させるかしないかを設定します。「キーポップアップ」は、キーをタップしたときにどのキーをタップしたか確認できるポップアップを表示するかしないかを設定します。
- 「自動大文字変換」は、英字入力時に文頭の文字を自動的に大文字にして入力できる機能です。

予測変換について

予測変換機能では、日本語・英語ともに入力した文字列に対して予測される変換候補を表示します。また、予測変換設定のチェックボックスにチェックを入れると、「入力ミス補正」「自動スペース入力」のオプション設定ができるようになり、設定により文字入力の手間を軽減することができます。
「入力ミス補正」は、QWERTYソフトウェアキーボードで半角英字で入力した変換前の文字列に入力ミスがあった場合に、入力ミスを補正して変換候補を表示します。
「自動スペース入力」は、英語予測候補選択時に入力文字の後ろにスペースを入力します。ただし、メールアドレスやウェブアドレスしか入力できない入力欄では、自動スペースは入力されません。その他の文字入力欄で、自動的にスペースを入力されないようにしたい場合は、「自動スペース入力」のチェックを外してください。

予測変換を設定する

1 ホーム画面で[田]を押し、[設定]▶[言語とキーボード]をタップする

2 [POBox Touch]をタップする

3 [予測変換]にチェックを入れる

- 「予測変換」にチェックが入っていると、「入力ミス補正」「自動スペース入力」のオプションにチェックを入れる／外すことができます。「予測変換」にチェックが入っていない場合は、設定できません。

❖お知らせ

- 半角英字（英語モード）で予測変換を利用して「自動スペース入力」にチェックを入れた場合は、確定時に自動的にスペースが入力されます。メールアドレスやウェブアドレスしか入力できない入力欄以外でメールアドレスやウェブアドレスを入力する際は、手動でスペースを削除する必要があります。
- 学習により表示されるようになる変換候補が不要になった場合に、表示されないようにすることができます。削除できる変換候補は、候補学習で自動学習された候補です。

ユーザー辞書

ユーザー辞書には「日本語ユーザー辞書」（かな漢字）と「英語ユーザー辞書」（半角英字）の2種類があります。登録した単語は変更候補として優先的に表示されます。

ユーザー辞書に登録する

1 ホーム画面で[田]を押し、[設定]▶[言語とキーボード]をタップする

2 [POBox Touch]をタップする

3 [日本語ユーザー辞書]をタップする

4 （メニューキー）を押して、[追加] をタップする

5 「読み」の文字入力欄をタップして、読みを入力する

6 「表記」の文字入力欄をタップして、単語を入力する

7 [保存] をタップする

❖**お知らせ**

- 英語ユーザー辞書も同様に単語を追加・編集できます。

学習辞書を設定する

1 ホーム画面で（メニューキー）を押し、[設定] ▶ [言語とキーボード] をタップする

2 [POBox Touch] ▶ [学習辞書] をタップする

3 [入力した語句を自動学習] にチェックを入れる

- 「学習辞書リセット」▶ [OK] をタップすると、すでに学習した内容をリセットします。

プラグインアプリの「定型文」を利用する

文字入力時に／を長くタッチしてプラグインアプリの「定型文」を呼び出し、引用することができます。引用できる定型文は、あらかじめ「インターネット」「あいさつ」「ビジネス」「返事」「プライベート」の5つのカテゴリに分けて保存されています。カテゴリも定型文も新規追加したり、削除したりして編集できます。

定型文のカテゴリを追加する

新しいカテゴリを作成し、定型文を登録します。

1 ホーム画面で、をタップし、[定型文] をタップする

カテゴリの一覧が表示されます。

2 （メニューキー）を押し、[カテゴリー追加] をタップする

3 カテゴリ名称を入力し、[OK] をタップする

4 [新規追加] をタップし、定型文を入力する

5 [OK] をタップする

❖お知らせ

- 各カテゴリをタップすると、登録されている定型文の一覧が表示されます。定型文をタップして、編集／削除できます。
- カテゴリの一覧で[メニュー]を押して、［初期化］をタップすると、定型文を追加・削除する前の状態に戻します。

プラグインアプリを追加する

プラグインアプリをインストールして、文字入力時に呼び出せるプラグインアプリを追加できます。

1 ホーム画面で[メニュー]を押し、［設定］▶［言語とキーボード］をタップする

2 ［POBox Touch］▶［アプリケーションを管理］をタップする

3 情報画面で［OK］をタップする

プラグイン設定の画面が表示されます。

4 ［新しいプラグインのダウンロード］をタップする

Googleアカウントを設定していない場合は、設定画面が表示されます。登録ウィザードに従ってGoogleアカウントを作成／設定してください。

5 アプリをタップして、画面の指示に従って操作する

❖お知らせ

- プラグイン設定の画面でチェックの入っているプラグインアプリが、文字入力画面で呼び出すことができます。

ネットワークサービス

利用できるネットワークサービス

FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。各サービスの概要やご利用方法については、以下の表の参照先をご覧ください。

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用いただけません。
- ネットワークサービスについて詳しくは、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編)』をご覧ください。
- お申し込み、お問い合わせについては、取扱説明書裏面の「ドコモ・スマートフォン・ケア」までお問い合わせください。

サービス名	月額使用料	お申し込み	参照先
留守番電話サービス	有料	必要	P.216
キャッチホン	有料	必要	P.218
転送でんわサービス	無料	必要	P.220
発信者番号通知サービス	無料	不要	P.222

❖お知らせ

- 本書では各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。

留守番電話サービス

電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、音声電話でかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わってメッセージをお預かりするサービスです。

- 留守番電話サービスを「サービス中」にしているときに、かかってきた音声電話に応答しなかった場合には、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記録され、（不在着信あり）がステータスバーに表示されます。

❖お知らせ

- 本FOMA端末にはFOMA端末内にメッセージを保存する伝言メモの機能はありません。留守番電話サービスをご利用ください。

留守番電話サービスの基本的な流れ

留守番電話サービスを開始する

▼

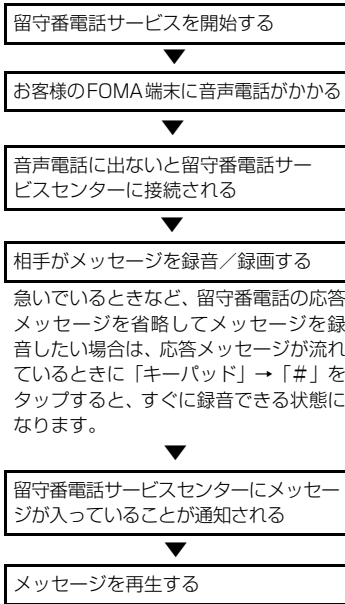
お客様のFOMA端末に音声電話がかかる

▼

音声電話に出ないと留守番電話サービスセンターに接続される

相手がメッセージを録音／録画する

急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略してメッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに「キーパッド」→「#」をタップすると、すぐに録音できる状態になります。

留守番電話サービスセンターにメッセージが入っていることが通知される

メッセージを再生する

❖お知らせ

- メッセージは1件あたり最長3分、最大20件まで録音でき、最長72時間保存されます。
- 留守番メッセージの件数表示は、すべてのメッセージを再生するまで表示したままです。

留守番電話サービスを設定する

1 ホーム画面で ⊞ を押し、［設定］をタップする

2 ［通話設定］▶［ネットワークサービス設定］をタップする

3 ［留守番電話］をタップする

- 以下から利用したい項目を選択します。

留守番電話サービス開始	［OK］をタップすると、留守番電話サービスを開始します。
留守番呼び出し時間の設定	呼び出し時間（0～120秒）を入力します。 呼び出し時間のみを変更します。
留守番電話サービス停止	［OK］をタップすると、留守番電話サービスを停止します。
留守番設定確認	現在のサービスの設定内容を確認します。
留守番メッセージ再生※	［OK］をタップすると、留守番電話サービスセンターに電話がかかります。この後は音声ガイダンスの指示に従ってメッセージを再生します。
留守番サービス設定※	［OK］をタップすると、音声ガイダンスで留守番電話の設定を変更します。留守番電話サービスセンターに電話がかかります。この後は音声ガイダンスの指示に従って設定してください。

次ページへつづく

メッセージ問い合わせ※	メッセージがあるかどうか確認します。問い合わせ後、問い合わせが完了したことを通知するメッセージが表示されます。
メッセージ通知の鳴動設定	新しいメッセージをお預かりしたときに、音を鳴らしたり、バイブレータを振動させたりするかどうか設定します。
着信通知開始	電源が入っていないときや圏外のときに着信があった場合、その着信の情報（着信日時や発信者番号）を、再び電源を入れたときや圏内に入ったときにメッセージ（SMS）でお知らせします。 ［全着信］を選択すると、すべての着信を通知します。 ［発信者番号あり］を選択すると、番号を通知している着信のみ通知します。
着信通知停止	着信通知開始中に、本項目をタップすると着信通知を停止することができます。
着信通知設定確認	着信通知の設定を確認します。

※ 操作終了後、「NTT DoCoMo VM:XX」というSMSが受信されます。

❖お知らせ

- 留守番電話サービスセンターでメッセージをお預かりしている場合、ホーム画面に（情報あり）と（留守番電話あり）が表示されます。（留守番電話あり）は、すべてのメッセージを再生すると消去されます。
- 着信通知設定および通知（メッセージ（SMS）の受信）にかかる料金は無料です。

メッセージを再生する

1 「NTT DoCoMo VM:XX」という通知画面が表示されたら通知パネルから［留守番メッセージ］をタップする

- 通知パネル→P.38
- 録音されたメッセージが再生されます。

2 音声ガイダンスに従って操作する

キャッチホン

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができます。また、通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手へ電話をかけることもできます。

❖お知らせ

- 保留中も、電話を発信した方に通話料金がかかります。

キャッチホンを設定する

1 ホーム画面で［⊞］を押し、［設定］をタップする

2 ［通話設定］▶［ネットワークサービス設定］をタップする

3 ［キャッチホン］をタップする

次の操作を選択できます。

キャッチホンサービス開始	［OK］をタップすると、キャッチホンサービスを開始します。
キャッチホンサービス停止	［OK］をタップすると、キャッチホンサービスを停止します。
キャッチホンサービス設定確認	現在のサービスの設定内容を確認します。

❖お知らせ

- 通話を保留中に電話がかかってきたときには、［応答］をタップすると最初の相手との通話は自動的に保留となり、あとからかかってきた通話を受けます。

通話中の電話を保留にして、かかってきた電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら［応答］をタップする

最初の相手との通話は自動的に保留となり、あとからかかってきた電話を受けます。

- 本FOMA端末は三者間通話には対応していません。右上の をタップすると、「通話に参加できません」と表示されます。
- ［着信拒否］をタップすると、かかってきた電話を留守番電話サービスセンターへ接続します。

2 最初の相手との通話に切り替える

- あとからかかってきた相手との通話を終了する場合は、［通話を終了］をタップします。
  あとからかかってきた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。
- あとからかかってきた相手との通話を保留にする場合は、［この通話に切り替える］をタップします。
  あとからかかってきた相手との通話が保留となり、最初の相手との通話に切り替わります。［この通話に切り替える］をタップするたびに通話相手が切り替わります。

通話中の電話を終了して、かかってきた電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら［現在の通話を終了して応答］をタップする

- 最初の相手との通話が終了し、あとからかかってきた電話を受けます。

❖お知らせ

- 「ププ…ププ…」という音は2回で止まりますが、呼び出しは続いています。

通話中の電話を保留にして、別の相手に電話をかける

通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手に電話をかけることができます。

1 通話中に［連絡先］／［ダイヤルキー］をタップする

2 相手の電話番号を入力して通話をタップする

- 最初の相手との通話は自動的に保留となり、新しくかけた相手との通話に切り替わります。「連絡先」や［通話履歴］をタップして相手を検索して電話をかけることもできます。

3 最初の相手との通話に切り替える

- 新しくかけた相手との通話を終了する場合は、[通話を終了]をタップします。新しくかけた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。
- 新しくかけた相手との通話を保留にする場合は、[この通話に切り替える]をタップします。
新しくかけた相手との通話が保留となり、最初の相手との通話に切り替わります。[この通話に切り替える]をタップするたびに通話相手が切り替わります。

転送でんわサービス

電波が届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼び出し時間内に応答がなかったときなどに、音声電話を転送するサービスです。

- 転送でんわサービスを「サービス中」にしているときに、かかってきた電話に応答しなかった場合には、「着信履歴」には「不在履歴」として記録され、「不在着信あり」がステータスバーに表示されます。

転送でんわサービスの基本的な流れ

転送先の電話番号を登録する

▼

転送でんわサービスを開始に設定する

お客様のFOMA端末に音声電話がかかる

音声電話に出ないと自動的に指定した転送先に転送される

転送でんわサービスの通話料について

発信者

発信者に通話料がかかります。

転送でんわサービスのご契約者

転送でんわサービスのご契約者に通話料がかかります。

転送先

❖**お知らせ**

- 転送でんわサービスを「サービス中」に設定していても、着信音が鳴っている間に応答すればそのまま通話できます。

転送でんわサービスを設定する

1 **ホーム画面で を押し、[設定] をタップする**

2 **[通話設定] ▶ [ネットワークサービス設定] をタップする**

3 **[転送でんわ] をタップする**

- 利用したい項目を選択します。

項目	説明
転送サービス開始	転送先の番号や呼び出し時間を入力し、[OK] をタップすると、転送でんわサービスを開始します。
転送先を変更する	チェックボックスにチェックを入れて転送先の電話番号を入力します。
呼び出し時間を変更する	チェックボックスにチェックを入れて呼び出し時間（0～120秒）を入力します。 呼び出し時間を0秒に設定した場合、かかってきた電話は「着信履歴」に記録されません。
転送サービス停止	転送でんわサービス開始中に本項目をタップして、[OK] をタップすると、転送でんわサービスを停止することができます。
転送先変更	転送先の番号を変更します。転送先の電話番号を入力し、[OK] をタップします。
転送でんわを開始する	チェックボックスにチェックを入れて転送先の番号変更と同時に転送でんわを開始します。
転送先通話中時設定※	転送先が通話中のとき、かかってきた音声電話を留守番電話サービスセンターに接続します。[接続する] をタップすると設定がオンになり、[接続しない] をタップすると設定がオフになります。
転送サービス設定確認	現在のサービスの設定内容を確認します。

※「留守番電話サービス」のご契約が必要です。

転送ガイダンスの有無を設定する

1 **ホーム画面で［電話］をタップする**

2 **［1］［4］［2］［9］▶［発信］をタップする**

- 音声ガイダンスに従って設定してください。詳しくは『ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)』をご覧ください。

発信者番号通知

電話をかけたときに相手の電話機のディスプレイへお客様の電話番号をお知らせすることができます。電話番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際にはご注意ください。

- 圏外（ ）が表示されているところで、発信者番号通知の操作はできません。
- 相手の電話機が発信者番号表示が可能なときだけ有効です。
- 電話をかけたときに、発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知を設定するか186を付けてからおかけ直しください。

1 **ホーム画面で［ ］を押し、［設定］をタップする**

2 **［通話設定］▶［ネットワークサービス設定］をタップする**

3 **［発信者番号通知］をタップする**

- 利用したい項目を選択します。

発信者番号通知開始	ネットワーク暗証番号を入力し、［OK］をタップする。 電話をかけた相手にお客様の電話番号を通知します。
発信者番号通知停止	ネットワーク暗証番号を入力し、［OK］をタップする。 お客様の電話番号の通知を停止します。
発信者番号通知設定確認	現在の設定内容を確認します。

海外利用

国際ローミングサービス（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用しているFOMA端末を電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと連携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用いただけるサービスです。音声電話、SMS、Eメールは設定の変更なくご利用になれます。

❖注意

- 本端末と FOMA カード（緑色）の一部との組み合わせにてご利用の際、一部海外事業者ネットワークにおいて、音声通話およびパケット通信ができなくなる状態になることがあります。海外でご利用いただく際、FOMAカード（緑色）をご利用のお客様は、無料でFOMAカードを交換させていただきますので、最寄りのドコモショップへご来店ください。

■ 対応エリアについて

本FOMA端末は3GネットワークおよびGSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHz/GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。

海外で本FOMA端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。

- 「ご利用ガイドブック（国際サービス編）」
- ドコモの「国際サービスホームページ」

❖お知らせ

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号は、「ご利用ガイドブック（国際サービス編）」またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

海外で利用できる通信サービス

海外で利用できる通信サービスは次のとおりです。

- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は、日本国内とは異なります。

通信サービス	説　明
音声電話	日本国内で利用している電話番号のまま、滞在国内での発着信や、日本や滞在国外への国際電話発信が可能です。
ウェブブラウザ	海外でもインターネット接続が可能です。
Eメール	日本国内で使用しているEメールアドレスのまま、海外でもEメールの送受信が可能です。
メッセージ（SMS）	海外でも同じ携帯電話番号のまま、メッセージ（SMS）の送受信ができます。
ポケット羅針盤	海外でもポケット羅針盤をご利用になれます。 また、ランドマークおよび星空の一部機能でインターネット接続を利用した情報取得が可能です。

通信サービス	説　明
GPSの現在地確認※	海外でもGPS機能を利用して現在地確認ができます。

※ あらかじめ日付・時刻を正しく設定しておいてください。

❖お知らせ

- 使用する通信事業者やネットワークにより、利用できないサービスがあります。接続可能な国・地域および通信事業者などの情報については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

海外でご利用になる前の確認

- 海外で利用する場合は、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』または、ドコモの『国際サービスホームページ』もあわせてご覧ください。
- 海外でのご利用料金は毎月のご利用料金と合わせてご請求させていただきます。ただし、海外の通信事業者の都合で請求が1ヶ月程度、遅れる場合がございます。
- お買い上げ時は、海外でFOMA端末の電源を入れると自動的にネットワークが検索され滞在先の利用できる通信事業者に接続し直されます。
- お買い上げ時には「データローミング」がオフになっています。海外でご利用になる際には必ずデータローミングの設定を行ってください。→P.227
- 海外では、パケ・ホーダイ ダブル／パケ・ホーダイ シンプルをご利用になれません。スマートフォン定額対応アクセスポイント以外への接続をご利用ください。→P.227
- 本FOMA端末は、最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信やサーバーとの接続を維持する通信など一部自動的に通信を行う仕様となっております。また、アプリケーションによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。海外利用における通信料が高額になる場合がありますので、ご注意ください。手動でパケット通信を切断するには、ホーム画面で[田]を押し、［設定］▶［無線とネットワーク］▶［モバイルネットワーク］で［データ送受信］をタップしてチェックを外します。

海外でのお問い合わせについて

- FOMA端末やFOMAカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の「ドコモ・スマートフォン・ケア」をご覧ください。
  なお、紛失、盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますので、ご注意ください。

- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

出発前の準備

- 海外の通信事業者によっては、ネットワークサービスの設定や確認ができない場合があります。

充電について

- ACアダプタケーブルの取り扱い上のご注意について→P.17
- ACアダプタケーブルでの充電方法について→P.45

ディスプレイの表示、日付・時刻について

国際ローミング中は、接続している通信事業者名はキーロックスクリーン、ステータスバーの詳細表示、およびホーム画面でを押して、［設定］▶［端末情報］▶［端末の状態］▶［ネットワーク］で確認できます。

- を押し、［設定］▶［日付と時刻］をタップして、［自動］のチェックボックスにチェックを入れておけば、自動的に滞在先の時刻を表示します。任意の地域を選ぶときには、［自動］のチェックを外し、［タイムゾーンの選択］をタップして、表示されるリストから地域を選択してください。
- ステータスバーに表示されるアイコンにつきましては、「ステータスバー」（P.36）をご参照ください。

海外利用に関する設定を行う

国際ローミング開始時や利用中のネットワークが圏外になったとき、利用可能なネットワークに接続し直します。お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定してあります。

ネットワーク接続の自動選択を解除する

1 ホーム画面でを押し、［設定］をタップする

2 ［通話設定］▶［ネットワークオペレーター］をタップする

3 使用するネットワークをタップする

❖お知らせ

- ネットワークを手動で設定した場合、圏外に移動しても、別のネットワークに自動的に接続されません。利用可能なネットワークに自動的に接続するには、「自動選択」を有効にしてください。

ネットワーク接続の自動選択を有効にする

1 **ホーム画面で[⊞]を押し、[設定]をタップする**

2 **[通話設定]▶[ネットワークオペレーター]をタップする**

3 **[自動選択]をタップする**

現在接続しているネットワークの種類を確認する

1 **ホーム画面で[⊞]を押し、[設定]をタップする**

2 **[端末情報]▶[端末の状態]をタップする**

3 **[モバイルネットワークの種類]でネットワークの種類を確認する**

接続の詳細設定

ネットワークモードを変更する

1 **ホーム画面で[⊞]を押し、[設定]をタップする**

2 **[無線とネットワーク]▶[モバイルネットワーク]▶[ネットワークモード]をタップする**

3 **優先的に使用するネットワークモードを選択する**

- [WCDMAのみ]、[GSMのみ]、[GSM/WCDMA(優先)]から選択できます。[GSM/WCDMA(優先)]を選択すると、GSMとWCDMAのどちらも利用できます。

データローミング

データローミングを有効にするには

1 **ホーム画面で[⊞]を押し、[設定]をタップする**

2 **[無線とネットワーク]▶[モバイルネットワーク]をタップする**

3 **[データローミング]にチェックを入れる**

4 **[OK]をタップする**

アクセスポイントを変更する

「mopera U(スマートフォン定額)」「mopera U設定」は、海外ではご利用いただけないため、アクセスポイントの設定変更が必要となります。

- 「spモード」は、海外ご利用時も同一のアクセスポイントを利用して通信することができますが、パケット通信料が高額になるおそれがあります
  http://www.nttdocomo.co.jp/service/provider/spmode/notice/

- アクセスポイントの変更を行うと、従量制のアクセスポイントでの接続になるためパケット通信が高額になる可能性があります。

1 **ホーム画面で［⊞］を押し、［設定］をタップする**

2 **［無線とネットワーク］▶［モバイルネットワーク］▶［アクセスポイント名］をタップする**

3 **［⊞］を押し、［新しいAPN］をタップする**

4 **「名前」に任意の名前を入力し、「APN」に「mopera.net」と入力する**

5 **［⊞］を押し、［保存］をタップする**

6 **［アクセスポイント名］をタップし、作成したアクセスポイントのラジオボタンにチェックを入れる**

❖お知らせ

- アプリケーションによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。手動でパケット通信を切断するには、ホーム画面で［⊞］を押し、［設定］▶［無線とネットワーク］▶［モバイルネットワーク］で［データ送受信］をタップしてチェックを外します。

滞在先での電話のかけかた／受けかた

海外に到着後、FOMA端末の電源を入れると、利用可能な通信事業者が自動的に設定されます。

- 電池の残量および受信レベルが十分であることを確認してください。
- 通信事業者によっては、発信者番号通知を設定していても、発信者番号が通知されなかったり、正しく番号表示されないことがあります。
  この場合、着信履歴画面から電話をかけることはできません。

滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、海外から音声電話をかけることができます。

- 先頭に「+」を付けてから相手先の国番号と電話番号を入力すると、滞在先から日本、または他の国へ簡単に国際電話をかけることができます。

1 **ホーム画面で［電話］をタップする**

2 ＋（［0］を1秒以上タッチする）▶国番号▶地域番号（市外局番）▶相手先電話番号の順に入力する

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要になる場合があります。
- 電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、国番号として「81」（日本）を入力してください。

3 ［発信］をタップする

滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかける操作と同様に、相手の一般電話や携帯電話の番号を入力するだけで電話をかけることができます。

1 ホーム画面で［電話］をタップする

2 相手の電話番号を入力する

- 一般電話にかける場合は、地域番号（市外局番）＋相手先電話番号を入力します。

3 ［発信］をタップする

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

相手が国際ローミング中の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

滞在先で電話を受ける

海外でも国際ローミングサービスを利用して、電話を受けることができます。

1 電話がかかってきたら［応答］をタップする

2 会話が終了したら、［通話を終了］をタップする

❖お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

■ 自分にかけてもらう方法

- 日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合
  日本国内の一般電話、携帯電話から滞在先のFOMA端末に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルしてもらうだけで電話をかけることができます。

- 日本以外から滞在先に電話をかけてもらう場合
  滞在先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、発信国の国際電話アクセス番号および「81」（日本の国番号）をダイヤルしてもらう必要があります。
  発信国の国際電話アクセス番号 - 81 - 90（または80）- XXXX - XXXX

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にネットワークが検索され、FOMAネットワークに接続されます。

- FOMAネットワークに設定されない場合は、ネットワークの種類を設定してください。
  ホーム画面で[⊞]を押し、[設定]▶[通話設定]▶[ネットワークオペレーター]をタップして、利用可能なネットワークを検索します。[NTT DOCOMO]が表示されていることを確認してタップしてください。
- アクセスポイント設定を「mopera U設定」（mopera.net）従量制から、「mopera U（スマートフォン定額）」（mpr2.bizho.net）定額制へ変更してください。設定を変更されないと国内でも従量制のまま課金されパケット通信料が高額になる場合があります。

❖お知らせ

- 帰国されると自動的にネットワークが検索され、FOMAネットワークに接続されますので、帰国前にアクセスポイント設定を変更されるのをおすすめします。

付録／外部機器連携

FOMA端末から利用できるサービス

電話案内サービス（有料：案内料＋通話料） ※ 電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません。	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料＋通話料）	（局番なし）106

❖お知らせ

- コレクトコール（106）をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円（税込み94.5円）がかかります（2010年9月現在）。
- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込み105円）に加えて通話料がかかります。目や上肢などが不自由な方には、無料でご案内しております。詳しくは、一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください（2010年9月現在）。
- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、118番、119番などの緊急通報をおかけになった場合、発信場所の情報が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。
  お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらずに、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、電話番号と、明確な現在位置を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないよう、移動せずに行い、通報後はすぐに電源を切らずに10分程度は着信できる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されないことがあります。接続されないときは、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- 一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で転送先を本FOMA端末に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって本FOMA端末が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼び出し音が聞こえることがあります。

- 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください（一般電話または公衆電話から、FOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話はご利用できます）。

オプション・関連機器のご紹介

本FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。
なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。
詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- リアカバー SO13
- 電池パック SO04
- ACアダプタケーブル SO01
- 補助充電アダプタ02※

※ 本FOMA端末を充電するには、microUSBケーブルが必要です。

トラブルシューティング

故障かな？と思ったら、まずチェック

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→P.241
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

症状	チェック項目
FOMA端末の電源が入らない	• 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P.46 • 電池切れになっていませんか。→P.44

症状	チェック項目
充電ができない（通知LEDが点灯しない、電池アイコンが充電中に変わらない）	• 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P.46 • ACアダプタケーブルの電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。→P.47 • ACアダプタケーブルとFOMA端末が正しくセットされていますか。→P.47 • 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇して電池の状態アイコンが充電中にならない場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。
通知LEDが赤色に点滅し、操作ができない。	電池残量が少ない場合は電池パックを充電してください。 →P.44
操作中・充電中に熱くなる	操作中や充電中、また、充電しながら動画撮影などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、ACアダプタケーブルが熱くなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。

症状	チェック項目
電池の使用時間が短い	• 圏外の状態で長い時間放置されるようなことはありませんか。 圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 • 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 • 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回の使用時間が次第に短くなっていきます。 十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。
電源断・再起動が起きる	• 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。
本体上のキーを押しても動作しない	• 画面ロックを設定していませんか。→P.76
ボタンを押したときの画面の反応が遅い	• FOMA端末に大量のデータが保存されているときや、FOMA端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやり取りしているときなどに起きる場合があります。

症状	チェック項目
FOMAカードが認識されない	• FOMAカードを正しい向きで挿入していますか。→P.42
ダイヤルボタンを押しても発信できない	• SIM カードロックを設定していませんか。→P.75 • 機内モードを設定していませんか。→P.78
着信音が鳴らない	• 音量設定の電話着信音量を最小にしていませんか。→P.54 • マナーモードに設定していませんか。→P.54 • 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼び出し時間を「0秒」にしていませんか。→P.217、P.221
通話ができない（場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	• 電源を入れ直すか、電池またはFOMAカードを入れ直してください。→P.48 • 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状況を示すアンテナマークが4本表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 • 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。
ディスプレイが暗い	• 画面バックライト消灯時間を設定していませんか。→P.55 • 画面の明るさ調整を変更していませんか。→P.54 • 電池残量が少なくなっていませんか。→P.29、P.44
通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	• 音量設定の受話音量を変更していませんか。→P.61
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	• 近くの被写体を撮影するときは、接写撮影に切り替えてください。→P.147 • カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。 • 人物を撮影するときは、顔検出機能を設定してください。→P.144 • 手ブレ補正を使って撮影してください。→P.149、P.154

症状	チェック項目
圏外が表示され、国際ローミングサービスが利用できない	• 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。 • 利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などの国際サービスガイドで確認してください。 • ネットワーク接続の設定でサービスに対応している通信事業者を検索してください。 →P.226 • 日本国内から海外へ移動した後にWCDMA/GSM切替を「自動」または対応しているネットワークに切り替えてください。（P.226）日本国内で「自動」にしていた場合は、FOMA端末の電源を入れ直してください。
海外で利用中に突然、発信や着信ができなくなった	• ドコモ インフォメーションセンター※で、ご利用累積額をご確認ください。「国際ローミングサービス（WORLD WING）」のご利用には、あらかじめご利用停止目安額が設定されています。超過するとサービスがすべて停止します。ご利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を清算していただくことで、サービスを再開します。 ※「ドコモ インフォメーションセンター」については取扱説明書裏表紙をご覧ください。 • ネットワークの設定を確認してください。「自動」に設定されていると、特定のネットワークを受信し、利用できなくなる場合があります。設定を「手動」に切り替え、滞在中の国や地域に対応するネットワーク（WCDMAまたはGSM）に変更してください。 →P.226

症状	チェック項目
相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	• 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、FOMA端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。
データ転送が行われない	• USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
microSDカードに保存したデータが表示されない	• カードを差し直してください。→P.43
画像表示しようとすると「×」が表示される または　デモやプレビューで「×」が表示される	• 画像データが壊れている場合は「×」が表示される場合があります。

症状	チェック項目
Bluetooth通信対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない	• Bluetooth通信対応機器（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、FOMA端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器（市販品）、FOMA端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。→P.161
カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態でFOMA端末から発信できない	• 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

エラーメッセージ

通信サービスなし

- サービスエリア外か、電波の届かない場所にいるため利用できません。電波の届く場所まで移動してください。
- FOMAカードが正しく機能していません。FOMAカードを別の端末に挿入してください。機能するのであれば、問題の原因は本FOMA端末にあると考えられます。この場合は、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先にご連絡の上、ご相談ください。
  FOMAカードを抜き差しすることで改善する可能性があります。

SIMカードがロックされています

PINコード（P.75）を正しく入力してください。

SIMカードはPUKでロックされています

PUK（PINロック解除コード）（P.75）を正しく入力してください。

メモリ不足です

空き容量がありません。不要なアプリケーションを削除（P.172）して容量を確保してください。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申しつけください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって連絡先などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、連絡先などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。

アフターサービスについて

調子が悪い場合は

取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時は必ず保証書をご持参ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。
- お買い上げ後の液晶画面・コネクタなどの損傷の場合は、有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります。

- 故障受付窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（microUSB接続端子（ヘッドセット接続端子）・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）
  - 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。
ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先へお問い合わせください。

お願い

- FOMA端末および本体付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
- 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。
  ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
  以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
  - 液晶部やボタン部にシールなどを貼る。
  - 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す。
  - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど。
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
  - FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
    銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。
  キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：スピーカー、受話口部
- FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（連絡先機能）およびダウンロード情報などについて

- お客様ご自身でFOMA端末などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。

FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手することができます。

❖**ご注意**

- モバイルネットワーク接続を使用して FOMA 端末からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。
- 更新の前にFOMA端末の中のすべてのデータを確実にバックアップしてください。
- ソフトウェア更新後に初めて起動したときは、データ更新処理のため、数分から数十分間、動作が遅くなる場合があります。所要時間は本端末内のデータ量により異なります。通常の動作速度に戻るまでは電源を切らないでください。

❖**お知らせ**

- 詳しくは、http://www.sonyericsson.co.jp/updateservice/をご覧ください。

ワイヤレスでソフトウェア更新をダウンロードする

ソフトウェアをダウンロードして更新する

モバイルネットワーク接続またはWi-Fiネットワーク接続を使用し、インターネット経由で、FOMA端末から直接ワイヤレスで更新をダウンロードできます。

1 ホーム画面で［⊞］を押し、［設定］をタップする

2 ［端末情報］▶［ソフトウェア更新］をタップする

3 ［今すぐ更新］をタップする

4 ［OK］をタップする

5 ［OK］をタップする

- FOMA端末が、ソフトウェア更新を検索します。

❖ご注意

- ソフトウェア更新をWi-Fiのみでダウンロードする場合、ホーム画面で［⊞］▶［設定］▶［端末情報］▶［ソフトウェア更新］▶［ネットワーク］▶［Wi-Fiのみ］をタップします。［Wi-Fiとモバイルネットワーク］の場合、Wi-Fi通信が不安定になると自動的に3G通信に切り替わり、パケット通信料が発生することがありますのでご注意ください。
- モバイルネットワーク（2G/3Gネットワーク接続）でソフトウェアの更新をする場合「パケ・ホーダイ・ダブル」などのパケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。（なお「パケ・ホーダイ・ダブル」ご契約の場合、短期間で上限額に達します。）
- 海外でローミングサービスをご利用の際は、モバイルネットワーク（2G/3Gネットワーク接続）でのソフトウェア更新の検索やダウンロードはできません。

最新のソフトウェア更新を自動検索する

最新のソフトウェア更新を定期的に自動検索します。更新がある場合、ステータスバーにが表示されます。

1 ホーム画面で［⊞］を押し、［設定］をタップする

2 ［端末情報］▶［ソフトウェア更新］をタップする

3 ［自動検索］のチェックボックスにチェックを入れる

❖注意

- 自動検索するためにパケット通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。

パソコンに接続して更新する

本FOMA端末に付属のmicroSDカードからパソコンにインストールできるアプリケーションを使ってソフトウェアを更新することができます。

❖お知らせ

- FOMA端末上でmicroSDカードを使うアプリケーションを実行している場合は、アプリケーションを閉じてから手動でmicroSDカードをパソコン上にマウントする必要があります。詳細については、「microUSBケーブルを使用する」（P.157）をご参照ください。

PC Companionをご利用のパソコンにまだインストールしていない場合

1 microUSBケーブルでFOMA端末をパソコンに接続する

2 FOMA端末上で［PC Companionのインストール］をタップする

- パソコン上でPC Companionのインストーラが起動します。

3 パソコンの画面の指示に従ってインストールを行う

- インストール完了後、パソコン上でPC Companionが起動します。さらにソフトウェアの更新がある場合は自動的に通知されますので、パソコンの画面の指示に従って操作を行ってください。

PC Companionがご利用のパソコンにすでにインストールされている場合

1 パソコン上でPC Companionが起動しているかどうかを確認し、起動していない場合はスタートメニューからPC Companionを起動する

2 microUSBケーブルでFOMA端末をパソコンに接続する

3 FOMA端末上で［本体を接続する］をタップする

4 パソコンの画面の指示に従って操作を行う

- ソフトウェアの更新がある場合は自動的に通知されます。

主な仕様

■ 本体

品名		SO-01B
サイズ		高さ約119mm×幅約63mm×厚さ約13.1mm
質量		約139g（電池パック装着時）
メモリ		ROM　1GB（Flashメモリ） RAM　384MB（SRAM）
外部メモリ		microSD 2GBまで microSDHC 32GBまでに対応（2010年9月現在）
連続待受時間	FOMA／3G	静止時（自動）：約300時間 移動時（自動）：約190時間 移動時（3G固定）：約200時間
	GSM	約230時間（静止時）
連続通話時間	FOMA／3G	約290分
	GSM	約270分
ACアダプタケーブルでの充電時間		約140分

液晶部	方式	TFT65,536色
	サイズ	約4.0inch
	ドット数	480ドット×854ドット（フルワイドVGA）
撮像素子	種類	カメラ：CMOS
	サイズ	カメラ：1/3.2 inch
カメラ画素数		カメラ：有効画素数約810万画素 (記録画素数約810万画素）
静止画撮影サイズ		3264×2448 (8MP 4:3) 3264×1836 (6MP 16:9) 1632×1224 (2MP 4:3) 1920×1080 (2MP 16:9)
動画記録サイズ		1280×720 (HD 720p) 864×480 (フルワイドVGA) 640×480（VGA) 320×240（QVGA)
フレームレート		最大30fps
音楽再生	Windows Media Audio (WMA) ファイル	連続再生時間 約1080分（バックグラウンド再生対応）
	MP3ファイル	連続再生時間 約1080分（バックグラウンド再生対応）
動画再生	WMVファイル	連続再生時間 約280分（microSDカードから再生時） 約240分（Wi-Fiストリーミング再生時）
無線LAN		IEEE802.11b/g準拠
Bluetooth	対応Bluetoothバージョン	Bluetooth標準規格Ver.2.1＋EDRに準拠※1
	出力	Bluetooth標準規格Power Class 1
	見通し通信距離※2	約10m以内
	対応Bluetoothプロファイル※3	A2DP　AVRCP HFP　HSP　OPP PBAP

※1 本FOMA端末を含むすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しております。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやり取りができない場合があります。

※2 通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。

※3 Bluetooth対応機器どうしの使用目的に応じた仕様で、Bluetoothの標準規格です。

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での目安です。

  なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場所）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。

- インターネット接続を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。
  また、通話やインターネット接続をしなくてもメールを作成したり、カメラやアプリケーションを起動すると通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間は、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。

■ 電池パック

使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	DC3.6V
公称容量	1500mAh

ファイル形式

本FOMA端末は以下のファイル形式の表示・再生に対応しています。

種　類	ファイル形式
Audio	MP3、3GPP、AMRWB、WMA、SMF、XMF、WAV、iMelody、RTTTL/RTX、OTA、Ogg vorbis
Image	JPEG、GIF、PNG、BMP
Video	3GPP、MP4、WMV

静止画は次に示すファイル形式で保存されます。

種　類	ファイル形式
静止画	JPEG

■ 静止画の撮影枚数（目安）

解像度	microSDカード（64MB）に保存できる撮影枚数
2MP	約101枚

■ 動画の撮影時間（目安）

解像度	microSDカード（64MB）に保存できる撮影時間
320×240（QVGA）	最大約17分（1件あたり、合計とも）

携帯電話機の比吸収率などについて

Mobile Phone GSM/GPRS/EGPRS 850/900/1800/1900＆UMTS JP/EU/US

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種FOMA SO-01Bの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR:Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機FOMA SO-01BのSARの値は0.916W/kgです。
この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。
総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
FCC IDへのリンク
http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/
ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社のホームページ
http://www.sonyericsson.co.jp/product/SAR/

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

Radio Wave Exposure and Specific Absorption Rate (SAR) Information

United States & Canada

THIS PHONE MODEL HAS BEEN CERTIFIED IN COMPLIANCE WITH THE GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.
The SO-01B mobile phones have been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. Your wireless phone is a radio transmitter and receiver. It is designed to not exceed the limits* of exposure to radio frequency (RF) energy set by governmental authorities. These limits establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by international scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a safety margin designed to assure the safety of all individuals, regardless of age and health.
The radio wave exposure guidelines employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). Tests for SAR are conducted using standardized methods with the phone transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands. While there may be differences between the SAR levels of various phone models, they are all designed to meet the relevant guidelines for exposure to radio waves. For more information on SAR, please refer to the safe and efficient use chapter in the User Guide. The highest SAR value as reported to the authorities for this phone model when tested for use by the ear is 1.43 W/kg*, and when worn on the body is 0.97 W/kg* for speech and 1.13 W/kg* for data calls. Body worn measurements are made while the phone is in use and worn on the body with a Sony Ericsson accessory supplied with or designated for use with this phone. It is therefore recommended that only Ericsson and Sony Ericsson original accessories be used in conjunction with Sony Ericsson phones.
** Before a phone model is available for sale to the public in the US, it must be tested and certified by the Federal Communications Commission (FCC) that it does not exceed the limit established by the government-adopted requirement for safe exposure*. The tests are performed in positions and locations (i.e., by the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The FCC has granted an Equipment Authorization for this phone model with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. While there may be differences between the SAR levels of various phones, all mobile phones granted an FCC equipment authorization meet the government requirement for safe exposure. SAR information on this phone model is on

file at the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea after searching on FCC ID PY7A3880074. Additional information on SAR can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at http://www.ctia.org/.

* In the United States and Canada, the SAR limit for mobile phones used by the public is 1.6 watts/kilogram (W/kg) averaged over one gram of tissue. The standard incorporates a margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

** This paragraph is only applicable to authorities and customers in the United States.

Europe

This mobile phone model SO-01B has been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. These requirements are based on scientific guidelines that include safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The radio wave exposure guidelines employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. Tests for SAR are conducted using standardized methods with the phone transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands.
While there may be differences between the SAR levels of various phone models, they are all designed to meet the relevant guidelines for exposure to radio waves.

For more information on SAR, please refer to the safety chapter in the User's Guide.
SAR data information for residents in countries that have adopted the SAR limit recommended by the International Commission of Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is 2 W/kg averaged over ten (10) gram of tissue (for example European Union, Japan, Brazil and New Zealand):
The highest SAR value for this model phone tested by Sony Ericsson for use at the ear is 1.28 W/kg (10g).

Radio Frequency (RF) Exposure and SAR

Your mobile phone is a low-power radio transmitter and receiver.
When it is turned on, it emits low levels of radio frequency energy (also known as radio waves or radio frequency fields).
Governments around the world have adopted comprehensive international safety guidelines, developed by scientific organizations, e.g. ICNIRP (International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection) and IEEE (The Institute of Electrical and Electronics Engineers Inc.),

through periodic and thorough evaluation of scientific studies. These guidelines establish permitted levels of radio wave exposure for the general population. The levels include a safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health, and to account for any variations in measurements.
Specific Absorption Rate (SAR) is the unit of measurement for the amount of radio frequency energy absorbed by the body when using a mobile phone. The SAR value is determined at the highest certified power level in laboratory conditions, but the actual SAR level of the mobile phone while operating can be well below this value.
This is because the mobile phone is designed to use the minimum power required to reach the network.
Variations in SAR below the radio frequency exposure guidelines do not mean that there are variations in safety. While there may be differences in SAR levels among mobile phones, all Sony Ericsson mobile phone models are designed to meet radio frequency exposure guidelines.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed in positions and locations (that is, at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. For body worn operation, this phone has been tested and meets FCC RF exposure guidelines when the handset is positioned a minimum of 15 mm from the body without any metal parts in the vicinity of the phone or when used with the original Sony Ericsson body worn accessory intended for this phone. Use of other accessories may not ensure compliance with FCC RF exposure guidelines.
SAR information for this mobile phone model is included with the material that comes with this mobile phone. This information can also be found, together with more information on radio frequency exposure and SAR, on: http://www.sonyericsson.co.jp/product/SAR/

Guidelines for Safe and Efficient Use

Please follow these guidelines. Failure to do so might entail a potential health risk or product malfunction. If in doubt as to its proper function, have the product checked by a certified service partner before charging or using it.

Recommendations for care and safe use of our products

- Handle with care and keep in a clean and dust-free place.
- **Warning!** May explode if disposed of in fire.
- Do not expose to liquid or moisture or excess humidity.

- For optimum performance, the product should not be operated in temperatures below +5°C (+41°F) or above +35°C(+95°F). Do not expose the battery to temperatures above +60°C(+140°F).
- Do not expose to flames or lit tobacco products.

- Do not drop, throw or try to bend the product.
- Do not paint or attempt to disassemble or modify the product. Only Sony Ericsson authorised personnel should perform service.
- Consult with authorised medical staff and the instructions of the medical device manufacturer before using the product near pacemakers or other medical devices or equipment.
- Discontinue use of electronic devices, or disable the radio transmitting functionality of the device, where required or requested to do so.
- Do not use where a potentially explosive atmosphere exists.
- Do not place the product, or install wireless equipment, in the area above an air bag in a car.
- **Caution:** Cracked or broken displays may create sharp edges or splinters that could be harmful upon contact.
- Do not use the Bluetooth Headset in positions where it is uncomfortable or will be subject to pressure.

Children

Warning! Keep out of the reach of children. Do not allow children to play with mobile phones or accessories. They could hurt themselves or others. Products may contain small parts that could become detached and create a choking hazard.

Power supply (Charger)

Connect the charger to power sources as marked on the product. Do not use outdoors or in damp areas. Do not alter or subject the cord to damage or stress. Unplug the unit before cleaning it. Never alter the plug. If it does not fit into the outlet, have a proper outlet installed by an electrician. When a power supply is connected there is a small drain of power. To avoid this small energy waste, disconnect the power supply when the product is fully charged. Use of charging devices that are not Sony Ericsson branded may pose increased safety risks.

Battery

New or idle batteries can have short-term reduced capacity. Fully charge the battery before initial use. Use for the intended purpose only. Charge the battery in temperatures between +5°C(+41°F) and +35°C(+95°F). Do not put the battery into your mouth. Do not let the battery contacts touch another metal object. Turn off the product before removing the battery.

Performance depends on temperatures, signal strength, usage patterns, features selected and voice or data transmissions. Only Sony Ericsson service partners should remove or replace built-in batteries. Use of batteries that are not Sony Ericsson branded may pose increased safety risks. Replace the battery only with another Sony Ericsson battery that has been qualified with the product per the standard IEEE-1725. Use of an unqualified battery may present a risk of fire, explosion, leakage or other hazard.

■ Personal medical devices

Mobile phones may affect implanted medical equipment. Reduce risk of interference by keeping a minimum distance of 22 cm(8.7 inches) between the phone and the device. Use the phone at your right ear. Do not carry the phone in your breast pocket. Turn off the phone if you suspect interference. For all medical devices, consult a physician and the manufacturer.

■ Driving

Some vehicle manufacturers forbid the use of phones in their vehicles unless a handsfree kit with an external antenna supports the installation. Check with the vehicle manufacturer's representative to be sure that the mobile phone or Bluetooth handsfree will not affect the electronic systems in the vehicle. Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

■ GPS/Location based functions

Some products provide GPS/Location based functions. Location determining functionality is provided "As is" and "With all faults". Sony Ericsson does not make any representation or warranty as to the accuracy of such location information.

Use of location-based information by the device may not be uninterrupted or error free and may additionally be dependent on network service availability. Please note that functionality may be reduced or prevented in certain environments such as building interiors or areas adjacent to buildings.

Caution: Do not use GPS functionality in a manner which causes distraction from driving.

■ Emergency calls

Calls cannot be guaranteed under all conditions. Never rely solely upon mobile phones for essential communication. Calls may not be possible in all areas, on all networks, or when certain network services and/or phone features are used.

次ページへつづく

Antenna

Use of antenna devices not marketed by Sony Ericsson could damage the phone, reduce performance, and produce SAR levels above the established limits. Do not cover the antenna with your hand as this affects call quality, power levels and can shorten talk and standby times.

Radio Frequency (RF) exposure and Specific Absorption Rate (SAR)

When the phone or Bluetooth handsfree is turned on, it emits low levels of radio frequency energy. International safety guidelines have been developed through periodic and thorough evaluation of scientific studies. These guidelines establish permitted levels of radio wave exposure. The guidelines include a safety margin designed to assure the safety of all persons and to account for any variations in measurements.

Specific Absorption Rate (SAR) is used to measure radio frequency energy absorbed by the body when using a mobile phone. The SAR value is determined at the highest certified power level in laboratory conditions, but because the phone is designed to use the minimum power necessary to access the chosen network, the actual SAR level can be well below this value. There is no proof of difference in safety based on difference in SAR value.

Products with radio transmitters sold in the US must be certified by the Federal Communications Commission (FCC). When required, tests are performed when the phone is placed at the ear and when worn on the body. For body-worn operation, the phone has been tested when positioned a minimum of 15 mm from the body without any metal parts in the vicinity of the phone or when properly used with an appropriate Sony Ericsson accessory and worn on the body.

For more information about SAR and radio frequency exposure, go to: *http://www.sonyericsson.co.jp/product/SAR/*.

Flight mode

Bluetooth and WLAN functionality, if available in the device, can be enabled in Flight mode but may be prohibited onboard aircraft or in other areas where radio transmissions are prohibited. In such environments, please seek proper authorisation before enabling Bluetooth or WLAN functionality even in Flight mode.

Malware

Malware (short for malicious software) is software that can harm the mobile phone or other computers. Malware or harmful applications can include viruses, worms, spyware, and other unwanted programs. While the device does employ security measures to resist such efforts, Sony Ericsson does not warrant or represent

that the device will be impervious to the introduction of malware. You can however reduce the risk of malware attacks by using care when downloading content or accepting applications, refraining from opening or responding to messages from unknown sources, using trustworthy services to access the Internet, and only downloading content to the mobile phone from known, reliable sources.

■ Accessories

Use only Sony Ericsson branded original accessories and certified service partners. Sony Ericsson does not test third-party accessories. Accessories may influence RF exposure, radio performance, loudness, electric safety and other areas. Third-party accessories and parts may pose a risk to your health or safety or decrease performance.

■ Disposal of old electrical and electronic equipment

Electronic equipment and batteries should not be included as household waste but should be left at an appropriate collection point for recycling. This helps prevent potential negative consequences for the environment and human health. Check local regulations by contacting your local city office, your household waste disposal service, the shop where you purchased the product or calling a Sony Ericsson Contact Center. Do not attempt to remove internal batteries. Internal batteries shall be removed only by a waste treatment facility or trained service professional.

■ Disposing of the battery

Check local regulations or call a Sony Ericsson Contact Center for information. Never use municipal waste.

■ Memory card

If the product comes complete with a removable memory card, it is generally compatible with the handset purchased but may not be compatible with other devices or the capabilities of their memory cards. Check other devices for compatibility before purchase or use. If the product is equipped with a memory card reader, check memory card compatibility before purchase or use.

Memory cards are generally formatted prior to shipping. To reformat the memory card, use a compatible device. Do not use the standard operating system format when formatting the memory card on a PC. For details, refer to the operating instructions of the device or contact customer support.

Warning!

If the device requires an adapter for insertion into the handset or another device, do not insert the card directly without the required adapter.

■ Precautions on memory card use

- Do not expose the memory card to moisture.
- Do not touch terminal connections with your hand or any metal object.
- Do not strike, bend, or drop the memory card.
- Do not attempt to disassemble or modify the memory card.
- Do not use or store the memory card in humid or corrosive locations or in excessive heat such as a closed car in summer, in direct sunlight or near a heater, etc.
- Do not press or bend the end of the memory card adapter with excessive force.
- Do not let dirt, dust, or foreign objects get into the insert port of any memory card adapter.
- Check you have inserted the memory card correctly.
- Insert the memory card as far as it will go into any memory card adapter needed. The memory card may not operate properly unless fully inserted.
- We recommend that you make a backup copy of important data. We are not responsible for any loss or damage to content you store on the memory card.
- Recorded data may be damaged or lost when you remove the memory card or memory card adapter, turn off the power while formatting, reading or writing data, or use the memory card in locations subject to static electricity or high electrical field emissions.

■ Protection of personal information

Erase personal data before disposing of the product. To delete data, perform a master reset. Deleting data from the phone memory does not ensure that it cannot be recovered. Sony Ericsson does not warrant against recovery of information and does not assume responsibility for disclosure of any information even after a master reset.

Loudness warning!

Avoid volume levels that may be harmful to your hearing.

FCC Statement for the USA

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

(1) This device may not cause harmful interference, and

(2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Any change or modification not expressly approved by Sony Ericsson may void the user's authority to operate the equipment.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Industry Canada Statement

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Cet appareil numérique de la classe B est conforme á la norme NMB-003 du Canada.

This device complies with RSS-210 of Industry Canada.

Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Declaration of Conformity for SO-01B

We, **Sony Ericsson Mobile Communications AB** of Nya Vattentornet
SE-221 88 Lund, Sweden
declare under our sole responsibility that our product
Sony Ericsson type AAD-3880074-BV
and in combination with our accessories, to which this declaration relates is in conformity with the appropriate standards EN 301 511:V9.0.2, EN 301 908-1:V3.2.1, EN 301 908-2:V3.2.1, EN 300 440-1:V1.4.1, EN 300 440-2:V1.2.1, EN 300 328:V1.7.1, EN 301 489-7:V1.3.1, EN 301 489-17:V2.1.1, EN 301 489-24:V1.4.1, EN 301 489-3:V1.4.1 and EN 60 950-1:2006 following the provisions of, Radio Equipment and Telecommunication Terminal Equipment directive **1999/5/EC**.

CE 0682 ⓘ

Lund, December 2009

Rikko Sakaguchi,
Corporate Vice President and Head of Creation & Development
われわれはR&TTE指令の要求事項を満たしています（1999/5/EC）

We fulfil the requirements of the R&TTE Directive (1999/5/EC).

End User Licence Agreement／エンドユーザーライセンス契約

End User Licence Agreement

Software delivered with this device and its media is owned by Sony Ericsson Mobile Communications AB, and/or its affiliated companies and its suppliers and licensors.
Sony Ericsson grants you a non-exclusive limited licence to use the Software solely in conjunction with the Device on which it is installed or delivered. Ownership of the Software is not sold, transferred or otherwise conveyed.
Do not use any means to discover the source code or any component of the Software, reproduce and distribute the Software, or modify the Software. You are entitled to transfer rights and obligations to the Software to a third party, solely together with the Device with which you received the Software, provided the third party agrees in writing to be bound by the terms of this Licence.
This licence exists throughout the useful life of this Device. It can be terminated by transferring your rights to the Device to a third party in writing.

Failure to comply with any of these terms and conditions will terminate the licence immediately.
Sony Ericsson and its third party suppliers and licensors retain all rights, title and interest in and to the Software. To the extent that the Software contains material or code of a third party, such third parties shall be beneficiaries of these terms.
This licence is governed by the laws of Sweden. When applicable, the foregoing applies to statutory consumer rights.
In the event Software accompanying or provided in conjunction with your device is provided with additional terms and conditions, such provisions shall also govern your possession and usage of the Software.

エンドユーザーライセンス契約

本製品及び付属のメディアに含まれるソフトウェア（以下「本ソフトウェア」という）は、Sony Ericsson Mobile Communications AB（以下「ソニー・エリクソン」という）及び／又はその子会社、サプライヤー、ライセンサーがその権利を有するものとします。
ソニー・エリクソンは、お客様に対し、本ソフトウェアについて、本製品と共に使用する場合に限り、非独占、限定的なライセンス（以下「本ライセンス」という）を許諾します。
本ソフトウェアの権利は、何ら販売、移転、その他の方法で譲渡されるものではありません。
お客様は、いかなる手段を用いても、本ソフトウェアのソースコード及びコンポーネントを解読してはならず、また、本ソフトウェアを複製、頒布、修正することは出来ません。
お客様が本ソフトウェアについての権利及び義務を第三者に譲渡出来るのは、本ソフトウェアを本製品と共に第三者に譲渡し、かつ、当該第三者が、本ライセンスの条件を遵守することにつき書面をもって合意した場合に限られます。
本ライセンスは、お客様の本製品使用期間中、有効に存続します。
本ライセンスは、お客様の権利を本製品と共に第三者に書面により譲渡することによって終了することが出来ます。
お客様が、本契約のいずれかの条項に違反した場合、本ライセンスは直ちに取り消されます。
本ソフトウェアに関する全ての権利、権原、権益は、ソニー・エリクソン、サプライヤー、及びライセンサーに帰属するものとします。
本ソフトウェアに、サプライヤー又はライセンサーが権利を有する素材又はコードが含まれている場合は、その限りにおいて、かかるサプライヤー又はライセンサーは本契約における受益者となるものとします。
本契約の準拠法は、スウェーデン法とします。上記準拠法は、適用可能な場合には、消費者の法定の権利にも適用されるものとします。
本ソフトウェアにつき追加的な条件が付された場合は、かかる条件は、本契約の各条項に

次ページへつづく

加えて、お客様の本ソフトウェアの保有及び使用について適用されるものとします。

輸出管理規制について

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省へお問合せください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「spモード」「WORLD WING」「WORLD CALL」「mopera」「mopera U」「パケ・ホーダイ」「Biz・ホーダイ」「公共モード」「エリアメール」および「FOMA」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「Bluetooth」は、Bluetooth SIG. Inc.の登録商標であり、ソニー・エリクソンはライセンスに基づいて使用しています。
- 「Wi-Fi」は、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- 「Liquid Identity」ロゴ、「Xperia」「PlayNow」「Timescape」および「TrackID」は、Sony Ericsson Mobile Communications ABの商標または登録商標です。

- 「TrackID」では、Gracenote Mobile MusicIDの技術を使用しています。「Gracenote」および「Gracenote Mobile MusicID」は、Gracenote, Inc.の商標または登録商標です。
- 「Media Go」は、Sony Electronics Inc.の商標または登録商標です。
- 「POBox」はソニー株式会社の登録商標です。
- 「POBox」は株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所とソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社が共同開発した技術です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- 「Twitter」はTwitter, Incの商標または登録商標です。
- 「Moxier」は Emtrace Technologies USA, Inc の商標または登録商標です。
- 「3GPP」は ETSI の商標または登録商標です。
- 「Google」「Google Maps」「YouTube」および「YouTube」ロゴは、Google, Inc.の商標または登録商標です。
- 「Facebook」は、Facebook, Inc.の商標または登録商標です。
- 「Ericsson」は、Telefonaktiebolaget LM Ericssonの商標または登録商標です。
- mixi, mixiロゴは、株式会社ミクシィの登録商標です。
- 「Microsoft」「Windows」「Outlook」「Windows Vista」「Windows Server」「Explorer」「Windows Media」と「Exchange」および「ActiveSync」は、米国またはその他の国（あるいはその両方）におけるMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。
- 本製品は、Microsoftの知的所有権によって保護されています。本製品の技術を、Microsoftのライセンス許可を受けずに使用または配布することは禁止されています。
- コンテンツの所有者は、Windowsメディアデジタル著作権管理技術（WMDRM）によって、著作権を含む知的財産を保護しています。本製品では、WMDRMソフトウェアを使用してWMDRMで保護されたコンテンツにアクセスしています。WMDRMソフトウェアがコンテンツを保護できない場合、コンテンツ所有者が、WMDRMを使って保護されたコンテンツを再生またはコピーする機能を失効させるようMicrosoftに依頼する場合があります。この失効は、保護されていないコンテンツには影響しません。保護されたコンテンツにアクセスするためのライセンスをダウンロードするときは、Microsoftがライセンスに失効リストを含める場合があることに同意する必要があります。コンテンツ所有者の要請により、コンテンツにアクセスするためにWMDRMのアップグレードが必要な場合があります。アップグレードしない場合、

次ページへつづく

アップグレードが必要なコンテンツにはアクセスできません。

- 本製品は、MPEG-4ビジュアルおよびAVC特許ポートフォリオライセンスのもとで、消費者が商業目的以外で個人的に使用するために提供されており、次の用途に限定されます。(i) MPEG-4ビジュアル標準(以下「MPEG-4ビデオ」)またはAVC規格(以下「AVCビデオ」)に準拠したビデオのエンコード、および/または(ii)商業目的以外の個人的な活動に従事している消費者によってエンコードされたMPEG-4またはAVCビデオのデコード、および/または、MPEG-4またはAVCビデオの提供をMPEG LAによってライセンス許可されているビデオプロバイダから入手したMPEG-4またはAVCビデオのデコード。その他の用途に対するライセンスは許諾されず、黙示的に許可されることもありません。販売促進目的、内部目的および商業目的の使用およびライセンス許可に関する追加情報は、MPEG LA, L.L.Cより入手できます(http://www.mpegla.comを参照)。MPEGレイヤー3オーディオデコード技術は、Fraunhofer IIS and Thomsonによってライセンス許可されます。

- Java、JavaScriptおよびJavaベースの商標およびロゴは、米国およびその他の国におけるSun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- Sun Java Platform, Micro Editionのエンドユーザーライセンス契約書。
  1. 制限事項:本ソフトウェアはSunが著作権を有する機密情報であり、すべてのソフトウェアの所有権はSunおよび/またはそのライセンサーが保有します。お客様は、本ソフトウェアに対する変更、逆コンパイル、逆アセンブル、複合化、抽出またはその他のリバースエンジニアリングは許可されていません。ソフトウェアの一部または全てに対してリース、割り当て、サブライセンスを適用することはできません。
- その他、本書で登録するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
  なお、本文中では、TM、®マークは表記していません。
- 本書に明示されていないすべての権利は、その所有者に帰属します。

索引

索引

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

英数字

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。
My docomo (http://www.mydocomo.com/) ⇒ 各種お申込・お手続き

※ ご利用になる場合、「docomo ID ／パスワード」が必要となります。
※「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は取扱説明書裏面の「ドコモ・スマートフォン・ケア」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合
携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
・航空機内　　・病院内
※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。
ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 運転中の場合
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
※ やむを得ず電話を受ける場合には、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

【マナーモード】→P.54
ボタン確認音･着信音などFOMA端末から鳴る音を消します。

そのほかにも、留守番電話サービス（P.216）、転送でんわサービス（P.220）などのオプションサービスが利用できます。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収・リサイクルに出しましょう。

SO-01Bに関するお問い合わせ
〈ドコモ・スマートフォン・ケア〉

0120-045-360

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。
受付時間　午前9:30～午後9:00

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）113　（無料）

※一般電話などからはご利用いただけません。
受付時間　24時間（年中無休）

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/

海外での紛失、盗難、精算などについて
〈ドコモ インフォメーションセンター〉
（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 -81-3-6832-6600*（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※SO-01Bから、ご利用の場合は+81-3-6832-6600でつながります。（「+」は「0」を1秒以上タッチします。）

一般電話などからの場合
〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 -800-0120-0151*

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客さまが購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

海外での故障について
〈ネットワークオペレーションセンター〉
（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 -81-3-6718-1414*（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※SO-01Bから、ご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります。（「+」は「0」を1秒以上タッチします。）

一般電話などからの場合
〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 -800-5931-8600*

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

環境保全のため、不要になった電池はNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

’10.10（2.2版）A-DN6-100-06(1)